

令和7年度

「家庭教育に関する調査」報告書

【詳細版】

この報告書は、秋田県教育委員会が令和6年度に実施した「家庭教育に関する調査」の回答と特徴的なデータについて紹介するものです。

令和7年3月に発行した「グラフで見る秋田の家庭教育」とあわせてご活用ください。

秋田県生涯学習センター

目次

1	実施要項	1
2	調査用紙	2
3	回答集	
問1	現在の子どもを取り巻く環境について	8
問2	ご自身の子育てについて	15
問3	ご自身の子育てについて、力を入れていると思うこと	22
問4	家庭の教育（しつけ等）についての悩みや不安について	33
問5	家庭教育への行政の支援について	38
問6	「家庭の教育力が低下しているのではないか」という意見について	45
問7	家庭教育に関する情報の入手先について	49
問8	子どもと一緒に過ごす時間について	60
問9	平日、子どもと一緒に過ごす時間について	62
問10	子どもを含めた家族とのコミュニケーションについて	66
	自由記述	70
	「家庭教育について日頃感じていることや、PTA・地域団体等、 学校教育、行政に対する要望、考えていることや感じていること」	

【付録】グラフでみる秋田の家庭教育（令和7年3月発行）

1 実施要項

家庭教育に関する調査 実施要項

秋田県教育庁生涯学習課

1 調査の目的

近年の家庭環境の多様化に伴い、子育てについての不安や孤立を感じる家庭が増加するなど家庭教育を行う上での課題が指摘されている現状を踏まえ、幼児期から思春期までの家庭教育の状況や、保護者の意識及び実態を把握する。

また、今回の調査結果について、平成18年度、平成24年度及び令和元年度の実施結果と比較し、状況の推移を把握した上で、学校と家庭の連携の在り方、PTAや社会教育団体と家庭教育の連携の在り方、行政の家庭教育支援の方策等について、基礎資料を得ることも目的とする。

2 調査時期及び回数

令和6年10月18日（金）から11月8日（金）までの期間内で1回

3 調査の対象および内容

県内の幼稚園・保育所・認定こども園、小学校、中学校、高等学校の4歳、7歳、10歳、13歳、16歳の幼児・児童・生徒の保護者に対して、家庭教育に関する意識・実態を調査する。

年齢	学校種類（学年）	調査人数
4歳	幼稚園・保育所・認定こども園	120人
7歳	小学校（2年生）	150人
10歳	小学校（5年生）	150人
13歳	中学校（2年生）	180人
16歳	高等学校（2年生）	190人

※「調査人数」は
各年齢人口の
約2.5%

4 調査実施校の抽出方法

(1) 幼稚園・保育所・認定こども園保護者の調査を依頼する園・所は、都市部と農山村部等のバランスを考慮して、幼保推進課と生涯学習課が選定する。

(2) 小・中学校保護者の調査を依頼する学校は、都市部と農山村部等のバランスを考慮して、各教育事務所と生涯学習課が選定する。

	小2	小5	中2
北管内	30名程度	30名程度	40名程度
中央管内	80名程度	80名程度	90名程度
南管内	40名程度	40名程度	50名程度

(3) 高等学校保護者の調査を依頼する学校は、都市部と農山村部等のバランスを考慮して、高校教育課と生涯学習課が選定する。

5 調査依頼及び手順

(1) 対象の幼稚園・保育所・認定こども園、小・中学校、義務教育学校及び高等学校へは、生涯学習センターが依頼文書及び調査票を送付する。

(2) 調査実施園・所及び学校は、幼児及び児童生徒を通じて調査用紙を保護者へ配付し、回収後、生涯学習センターへ提出する。

(3) 集計は、生涯学習センターが行う。

2 調査用紙

家庭教育に関する調査

令和 6 年 10 月
秋田県教育委員会

この調査は、家庭教育支援の充実に向け、県教育委員会の施策を考える上での基礎資料とするために、実施するものです。学校や個人が特定されることはありませんので、安心してご回答ください。

回答は、保護者の方がこの用紙に直接ご記入のうえ、別添の封筒に封入して、11月1日（金）までに学校へ提出してください。

どうぞよろしくお願いいたします。

□はじめに

ご回答くださる方について、それぞれあてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

①回答者は、この調査用紙を持ち帰られたお子様からみてどなたですか。

1) 父親 2) 母親 3) 祖父 4) 祖母 5) 1～4以外の家族

②回答者の年齢は、次のうちどれにあてはまりますか。

1) 20代 2) 30代 3) 40代 4) 50代 5) 60代以上

問1-1 あなたは現在の子どもを取り巻く環境について、総合的に見てどのように感じますか。

次の項目からあてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

- 1) 良い
- 2) どちらかといえば良い
- 3) どちらかといえば良くない
- 4) 良くない
- 5) 分からない

問1-2 現在の子どもを取り巻く環境について、あなたが良いと感じるのは、どのような点ですか。

次の項目からあてはまるものをいくつでも選んで数字に○をつけてください。

- 1) さまざまな学びや体験をする機会・場がたくさん用意されている点
- 2) 経済的に豊かになり、生活が便利になっている点
- 3) 近所の人など、子どもを取り巻く人たちとの関わりがある点
- 4) 学校（園）が子どもに気を配り、きちんと教育してくれている点
- 5) インターネットの普及などで情報化が進み、視野や知識を拡げるのが容易となっている点
- 6) 子育て施設の充実など、環境の整備が進み、子育てがしやすくなっている点
- 7) 父親の子育て参加が奨励されるなど、子育てに対する社会的な意識が高まっている点
- 8) その他（)

問1-3 現在の子どもを取り巻く環境について、あなたが良くないと感じるのは、どのような点ですか。

次の項目からあてはまるものをいくつか選んで数字に○をつけてください。

- 1) 小さいうちから受験勉強に追われざるを得なくなっている点
- 2) 親が子どもに接する時間が十分とれなくなっている点
- 3) 世の中が物騒になり、子どもの安全が脅かされている点
- 4) 子どもの遊び場が制限され、遊ぶ環境が豊かでなくなっている点
- 5) 近所の人や地域の住民が、子どもに無関心になっている点
- 6) 子どもが成長の過程で多様な経験を積むことが難しくなっている点
- 7) 情報やモノが氾濫し、親や学校の価値観が伝わりにくくなっている点
- 8) 少子化の影響で、一緒に遊ぶ兄弟や友達が少なくなっている点
- 9) 経済情勢や少子高齢化など、将来に向けて明るい希望がもちにくくなっている点
- 10) インターネットがより身近になり、子どもが有害情報やネット犯罪の危機にさらされている点
- 11) その他 ()

問2 あなたご自身の子育てについて、次のように思うことがありますか(またはありましたか)。

各項目の思いの程度について、該当する数字に○をつけてください。

	思う	やや 思う	あまり 思わない	思わない
1) 我慢することがたくさんある (あった)	1	2	3	4
2) よくわからないことがたくさんある (あった)	1	2	3	4
3) 楽しく子育てができる (できた)	1	2	3	4
4) 生きがいをもって子育てができる (できた)	1	2	3	4
5) 子育てはもう二度としたくない	1	2	3	4
6) 厳しくしすぎた	1	2	3	4
7) 甘やかしすぎた	1	2	3	4

問3 あなたご自身の子育てについて、力を入れている(または入れてきた)と思うことがありますか。

各項目の思いの程度について、該当する数字に○をつけてください。

	思う	やや 思う	あまり 思わない	思わない
1) なんでも家族でよく話し合う	1	2	3	4
2) 子どもの手本となる生き方や考え方を示す	1	2	3	4
3) 早寝早起き朝ごはんなど、良い生活習慣を身につけさせる	1	2	3	4
4) ルールやきまりの大切さをしっかり教え、守らせる	1	2	3	4
5) 良いことをした時は、しっかりとほめる	1	2	3	4
6) 悪いことをした時は、厳しく叱る	1	2	3	4
7) 一緒に遊んだり出かけたり、家族で一緒に楽しむ時間をもつ	1	2	3	4
8) 本の読みきかせをしたり、勉強を見たりする	1	2	3	4
9) 年中行事や誕生日など、家族の行事を大切にする	1	2	3	4
10) 子どもが将来の夢を叶えられるよう、応援し、励ます	1	2	3	4

問4-1 あなたは家庭での教育(しつけ等)について、悩みや不安がありますか。

次の項目からあてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

- | | | |
|--------------|---|------------------------------|
| 1) 非常にある | } | 1) 2) を選んだ方は、問4-2へ進んでください |
| 2) 多少ある | | |
| 3) あまりない | } | 3) 4) 5) を選んだ方は、問5-1へ進んでください |
| 4) 全くない | | |
| 5) どちらともいえない | | |

問4-2 問4-1で 1)または2)と答えた方にお聞きします。どのような悩みや不安がありますか。

次の項目からあてはまるものをいくつでも選んで数字に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--|
| 1) 早寝早起きの生活習慣のこと | 9) 性格や考え方、人との接し方のこと |
| 2) 子どもの健康・体力、発達のこと | 10) 子どもとのふれあいやコミュニケーション、親子の信頼関係のこと |
| 3) 子どもの友人関係のこと | 11) 配偶者や家族の協力や教育方針のこと |
| 4) 非行や反抗期のこと | 12) テレビ・ゲーム・インターネットといった、メディアとの付き合い方のこと |
| 5) 子どものしつけ方や、マナーのこと | 13) 学校・園や、先生との関係づくりのこと |
| 6) 勉強や進学、将来の進路のこと | 14) その他 () |
| 7) いじめ・引きこもり・不登校のこと | |
| 8) 教育情報の入手や、相談相手のこと | |

問5-1 あなたは、家庭教育について行政の支援は必要だと思いますか。

次の項目からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

家庭教育支援の具体例については「問5-2」の項目を参照してください。

- | | | |
|------------|---|---------------------------|
| 1) 思う | } | 1) 2) を選んだ方は、問5-2へ進んでください |
| 2) ある程度思う | | |
| 3) あまり思わない | } | 3) 4) を選んだ方は、問5-3へ進んでください |
| 4) 思わない | | |
| 5) 何ともいえない | } | 5) を選んだ方は、問6-1へ進んでください |

問5-2 問5-1で 1)または2)と答えた方にお聞きします。どのような支援が必要だと思いますか。

次の項目からあてはまるものをいくつでも選んで数字に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1) 各種施設を開放する | 7) 子どもが日常的に集まれる場をつくる |
| 2) 何でも気軽に相談できる場をつくる | 8) 家庭では体験できない活動の場をつくる |
| 3) 子どもの自由時間を充実させる | 9) 地域の人々が親しくなれる場や機会をつくる |
| 4) 社会環境の浄化に努める | 10) 身近に相談できる人材を確保する |
| 5) 子育て等のサークル活動を充実させる | 11) 家庭教育等の知識を習得できる機会を提供する |
| 6) 子どもが参加できるグループをつくる | 12) その他 () |

問5-3 問5-1で3)または4)と答えた方にお聞きします。支援が必要ないと考える理由について、次の項目からあてはまるものをいくつでも選んで数字に○をつけてください。

- 1) 家庭で行う教育に、行政はあまり関与すべきでないと考えするため
- 2) 育児書やインターネットが普及しており、親が自分で情報を得られる時代であるため
- 3) 家庭教育支援よりも、他に優先して行うべき施策があると考えするため
- 4) 行政で行う支援には、あまり効果が期待できないため
- 5) その他 ()

問6-1 近年、「家庭の教育力が低下しているのではないか」という意見がありますが、あなたはどのように思いますか。次の項目からあてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

- | | | |
|-------------|---|----------------------------|
| 1) そう思う | } | 1) 2) を選んだ方は、問6-2へ進んでください |
| 2) ある程度そう思う | | |
| 3) あまり思わない | } | 3) 4) 5) を選んだ方は、問7へ進んでください |
| 4) 思わない | | |
| 5) 何ともいえない | | |

問6-2 問6-1で1)または2)と答えた方にお聞きします。低下の理由について、次の中であてはまるものをいくつでも選んで数字に○をつけてください。

- 1) テレビ・ゲーム・インターネットなどのメディアによる影響
- 2) 親に対する子どもの信頼感の低下
- 3) 親子がふれあい、一緒に行動する機会の不足
- 4) 子どもが親以外の大人（祖父母や近所の人）とふれあう機会の不足
- 5) 過保護、甘やかしすぎや過干渉な親の増加
- 6) しつけや教育に無関心な親の増加
- 7) しつけや教育に自信をもてない親や、やり方がわからない親の増加
- 8) しつけや教育について、悩んだ時に相談する相手や場が不足
- 9) 学校や塾など外部の教育機関に、しつけや教育を過度に依存する親の増加
- 10) 共働きの増加や長時間の勤務など、親の仕事の多忙化
- 11) 働く親の姿を知る機会の不足
- 12) わからない
- 13) その他 ()

問7 あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報をどこから(または誰から)得ていますか。
記入例にならい、【情報の入手先(選択肢)】から主なものを3つまで選んで記入してください。

- (例) 早寝早起きなどの生活習慣 (い ・ か ・ け)
 1) 早寝早起きなどの生活習慣 (. . .)
 2) あいさつやしつけ、マナー (. . .)
 3) 遊び場や子育て施設の情報 (. . .)
 4) 各種行政サービスの情報 (. . .)
 5) 相談窓口やサークルの情報 (. . .)
 6) 講座や研修会などの学習機会 (. . .)
 7) 勉強、進学、進路 (. . .)
 8) 子どもの健康や体力、医療 (. . .)
 9) 子どもとのコミュニケーション (. . .)
 10) 親子で参加できる行事やイベント (. . .)

- 【情報の入手先(選択肢)】
 あ 夫や妻
 い 友人、知人
 う 祖父母、親族
 え 育児雑誌、書籍
 お 新聞、テレビ、ラジオ
 か インターネット
 き 各種講座、研修会、講演会
 く 学校(園)、教職員、PTA
 け 市町村の広報紙、回覧板
 こ 役場窓口、公民館など公的機関
 さ パンフレットなどの公的発行物
 し 情報を得ていない

問8 あなたが、子どもと一緒に過ごす時間はどれくらいですか。(別室で過ごす時間は除く)
平均的なものを1つ選んで、数字に○をつけてください。

- | | | | |
|------|-----------|------|-----------|
| 【平日】 | 1) ほとんどない | 【休日】 | 1) ほとんどない |
| | 2) 1時間未満 | | 2) 1時間未満 |
| | 3) 1～3時間 | | 3) 1～3時間 |
| | 4) 3～5時間 | | 4) 3～5時間 |
| | 5) 5時間以上 | | 5) 5時間以上 |

問9 あなたが平日、子どもと一緒に過ごす時間としてあてはまるのは、主にどのようなことですか。
次の項目からあてはまるものを3つまで選んで数字に○をつけてください。

- | | | |
|------------------|-----------------|----------------|
| 1) 家族そろっての食事 | 7) 勉強を見る | 13) インターネットの閲覧 |
| 2) 家事を一緒にする | 8) 家族でスポーツ、散歩 | 14) その他 |
| 3) 家族で出かける | 9) 一緒に本を読む | |
| 4) ゲームを一緒にする | 10) 家族団らんの時間 | |
| 5) 携帯・パソコンのメール利用 | 11) ペットの世話 | |
| 6) テレビ等を一緒に見る | 12) 家族共通の趣味を楽しむ | |

問10 あなたは子どもを含め、家族とのコミュニケーションをどのようにとりたいと考えていますか。
当てはまるものをいくつでも選んで数字に○をつけてください。

- | | | |
|------------------|-----------------|----------------|
| 1) 家族そろっての食事 | 7) 勉強を見る | 13) インターネットの閲覧 |
| 2) 家事を一緒にする | 8) 家族でスポーツ、散歩 | 14) その他 |
| 3) 家族で出かける | 9) 一緒に本を読む | |
| 4) ゲームを一緒にする | 10) 家族団らんの時間 | |
| 5) 携帯・パソコンのメール利用 | 11) ペットの世話 | |
| 6) テレビ等を一緒に見る | 12) 家族共通の趣味を楽しむ | |

☆ あなたが家庭教育について日頃感じていることや、PTA・地域団体等、学校教育、行政に対する要望、考えていることや感じていることなど、ご自由にお書きください。

調査は以上で終わりです。

この調査用紙と一緒に配付された封筒に封入して、
11月1日(金)までに園・所や学校へ提出してください。

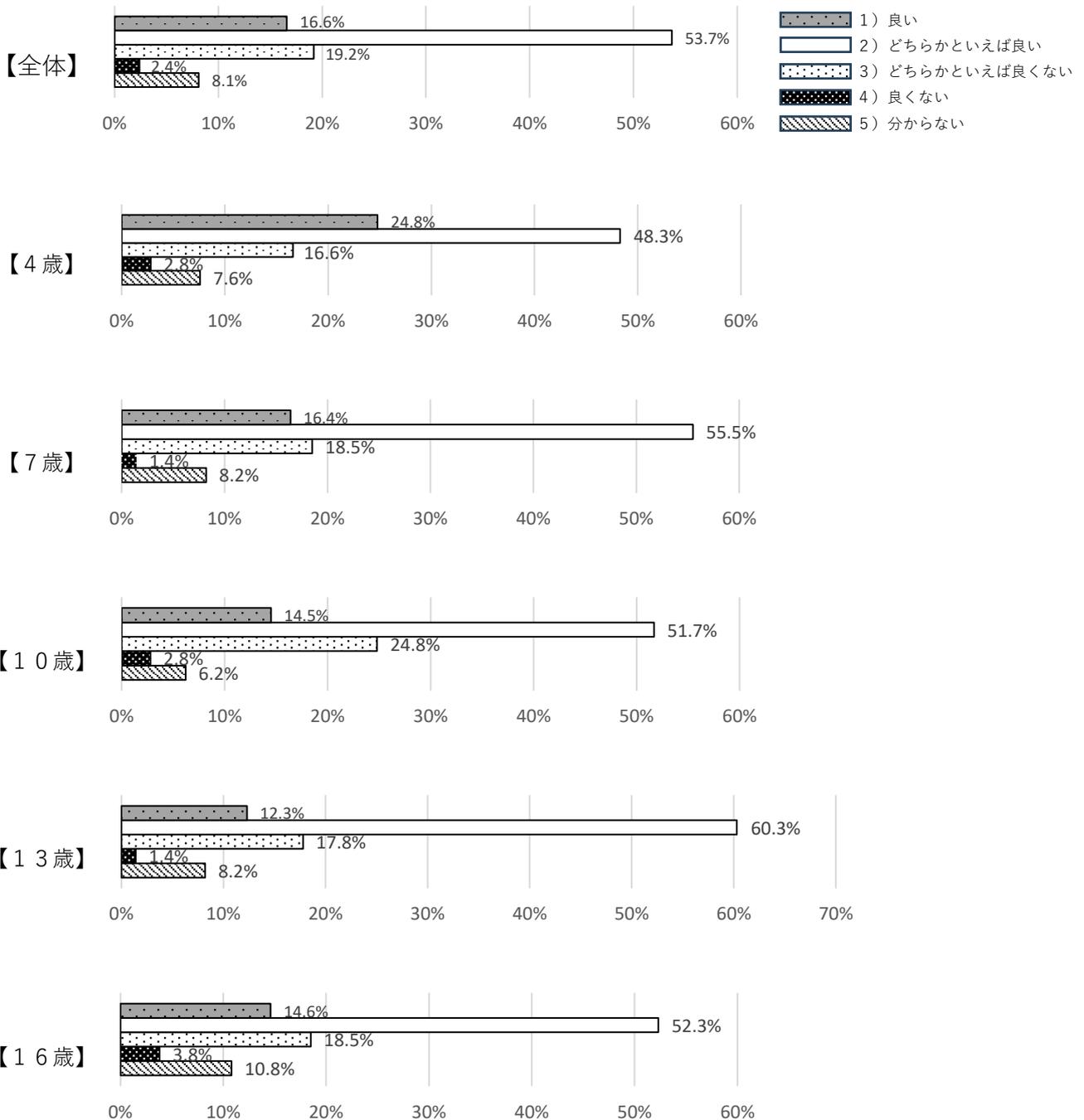
このたびは、ご協力ありがとうございました。

3 回答集

問1-1

あなたは現在の子どもを取り巻く環境について、総合的に見てどのように感じますか。

項目	回答数(人)	割合(%)
1)良い	118	16.6
2)どちらかといえば良い	382	53.7
3)どちらかといえば良くない	137	19.2
4)良くない	17	2.4
5)分からない	58	8.1
合計	712	100



問1-2

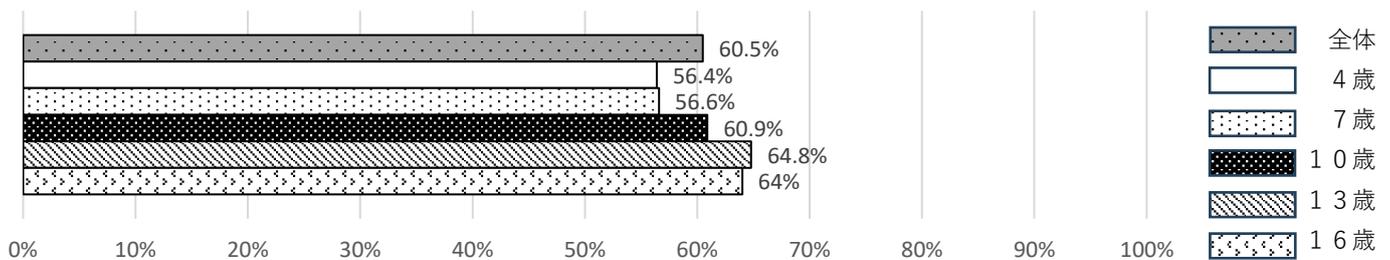
現在の子どもを取り巻く環境について、あなたが良いと感じるのは、どのような点ですか。

(複数回答可)

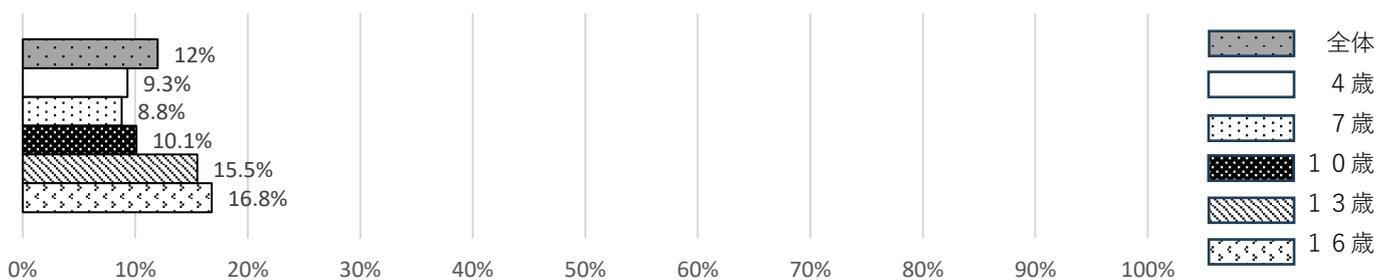
総回答者数：681人

項目	回答数(人)	割合(%)
1) さまざまな学びや体験をする機会・場がたくさん用意されている点	412	60.5
2) 経済的に豊かになり、生活が便利になっている点	82	12.0
3) 近所の人など、子どもを取り巻く人たちとの関わりがある点	139	20.4
4) 学校(園)が子どもに気を配り、きちんと教育してくれている点	268	39.4
5) インターネットの普及などで情報化が進み、視野や知識を拓けるのが容易となっている点	281	41.3
6) 子育て施設の充実など、環境の整備が進み、子育てがしやすくなっている点	100	14.7
7) 父親の子育て参加が奨励されるなど、子育てに対する社会的な意識が高まっている点	123	18.1
8) その他	10	1.5
合計	1415	

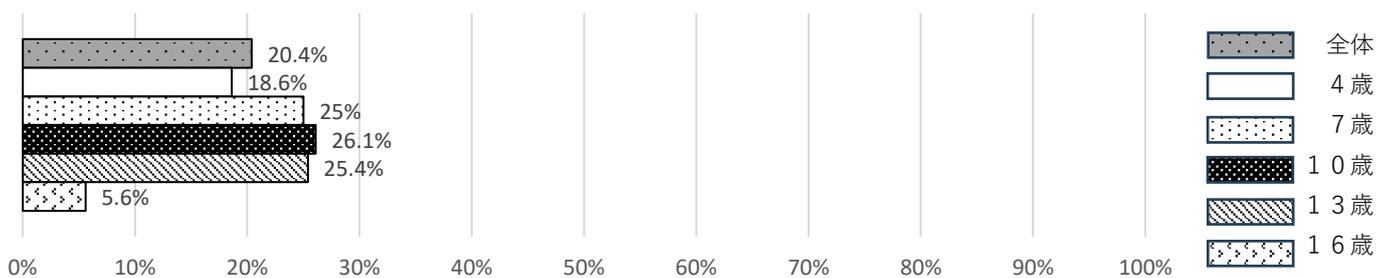
1) さまざまな学びや体験をする機会・場がたくさん用意されている点



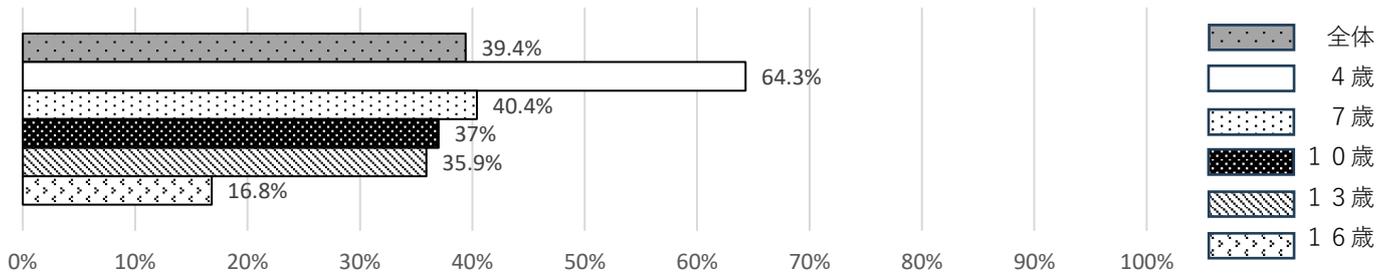
2) 経済的に豊かになり、生活が便利になっている点



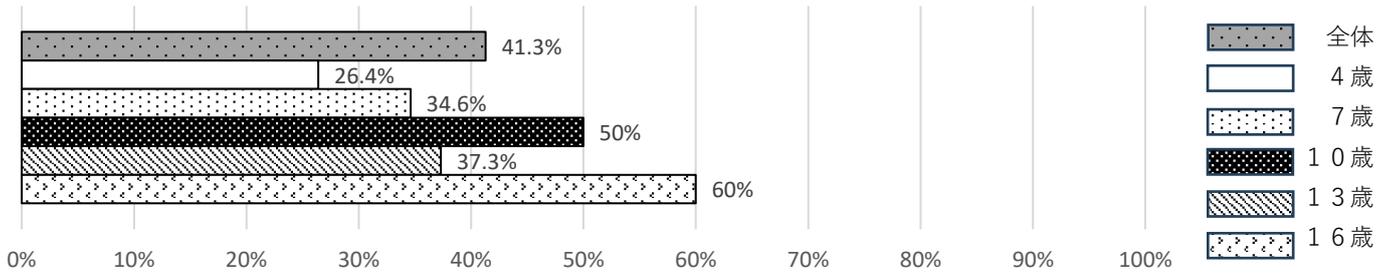
3) 近所の人など、子どもを取り巻く人たちとの関わりがある点



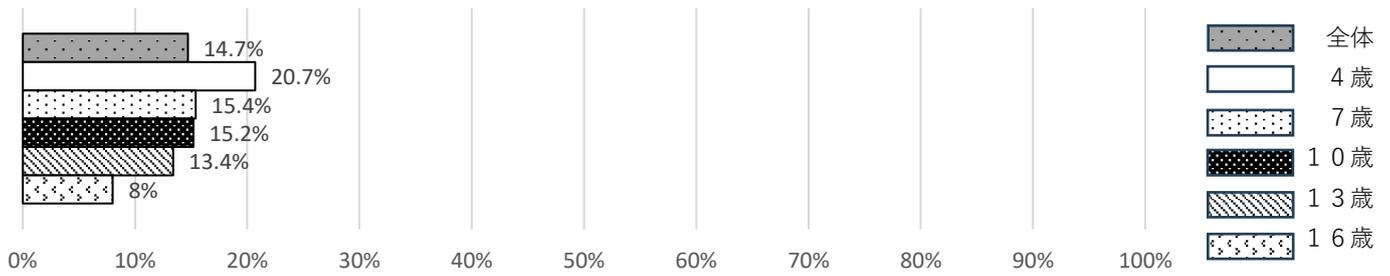
4)学校（園）が子どもに気を配り、きちんと教育してくれている点



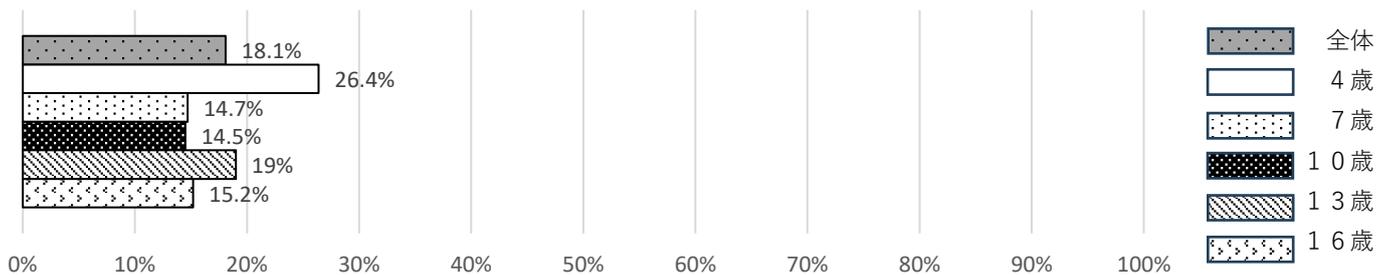
5)インターネットの普及などで情報化が進み、視野や知識を広げることが容易となっている点



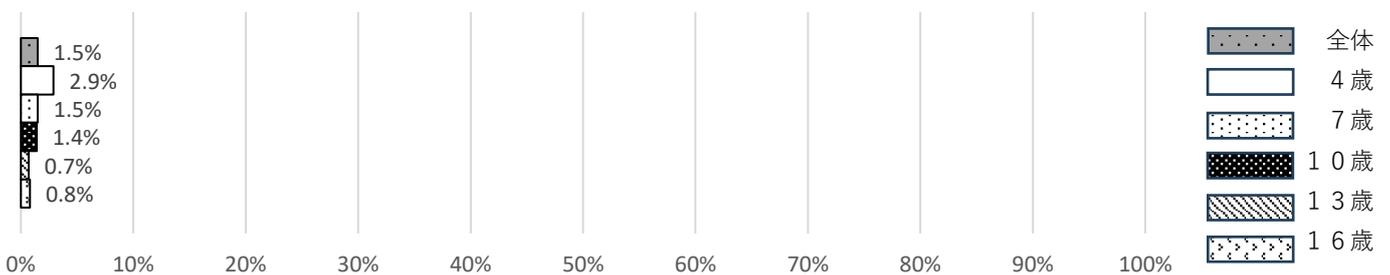
6)子育て施設の充実など、環境の整備が進み、子育てがしやすくなっている点



7)父親の子育て参加が奨励されるなど、子育てに対する社会的な意識が高まっている点



8)その他



【その他】（記述）

- ・子どもの姿を受け止めてくれ、ほめてもらえる場が増えていること。
- ・担任の先生がとても信頼できること。
- ・医療費が無料であること。
- ・やりたいスポ少があること。
- ・特におじいちゃん、おばあちゃんが声かけをしてくれること。子どもも大人に対して声をかけやすい環境だと感じている。
- ・市町村によると思うが、良いと感じる項目がありません。
- ・担任だけでなく、学校の様々な先生が子どもに対応してくれている。学習だけでなく（部活動、教科、養護教諭など生活の悩みなどを。）生徒・先生関係でも合う合わないはあるが、学校全体で支えてくれている。

回答から見える特徴

- 3) 16歳が他の年齢と比べて割合が極端に少ないのは、生活範囲が広域化し近所の人たちとふれあう機会が減少していることが要因と考えられる。

問1-3

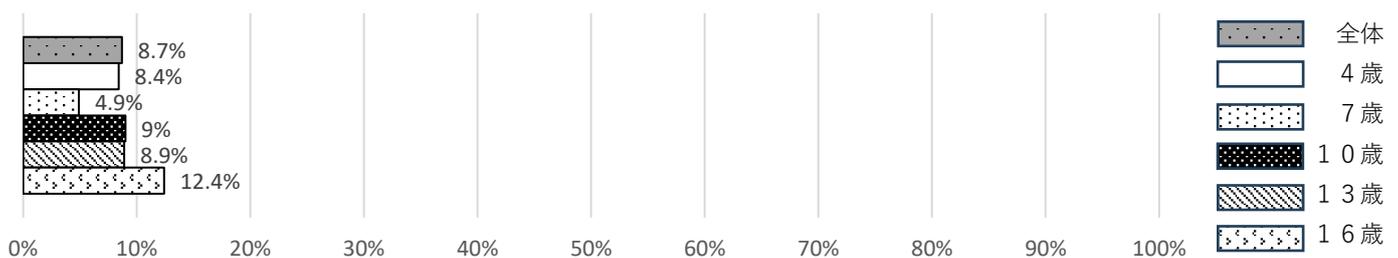
現在の子どもを取り巻く環境について、あなたが良くないと感じるのは、どのような点ですか。

(複数回答可)

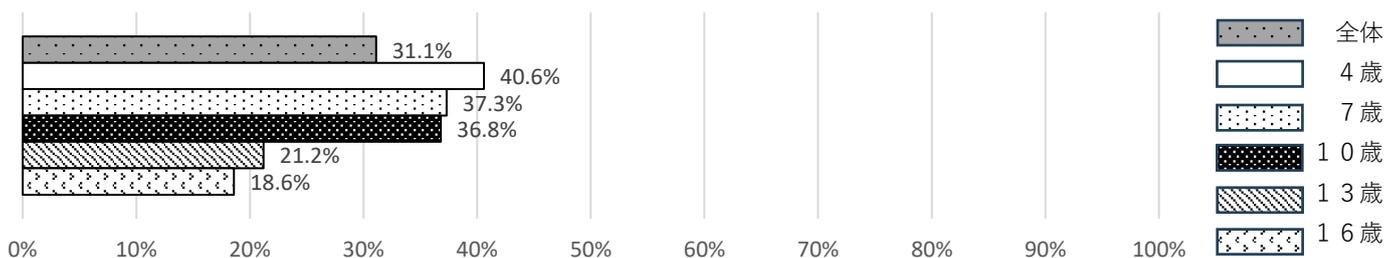
総回答者数：704人

項目	回答数(人)	割合(%)
1) 小さいうちから受験勉強に追われざるを得なくなっている点	61	8.7
2) 親が子どもに接する時間が十分とれなくなっている点	219	31.1
3) 世の中が物騒になり、子どもの安全が脅かされている点	437	62.1
4) 子どもの遊び場が制限され、遊ぶ環境が豊かでなくなっている点	296	42.0
5) 近所の人や地域の住民が、子どもに無関心になっている点	64	9.1
6) 子どもが成長の過程で多様な経験を積むことが難しくなっている点	94	13.4
7) 情報やモノが氾濫し、親や学校の価値観が伝わりにくくなっている点	242	34.4
8) 少子化の影響で、一緒に遊ぶ兄弟や友達が少なくなっている点	218	31.0
9) 経済情勢や少子高齢化など、将来に向けて明るい希望が持ちにくくなっている点	303	43.0
10) インターネットがより身近になり、子どもが有害情報やネット犯罪の危機にさらされている点	479	68.0
11) その他	23	3.3
合計	2436	

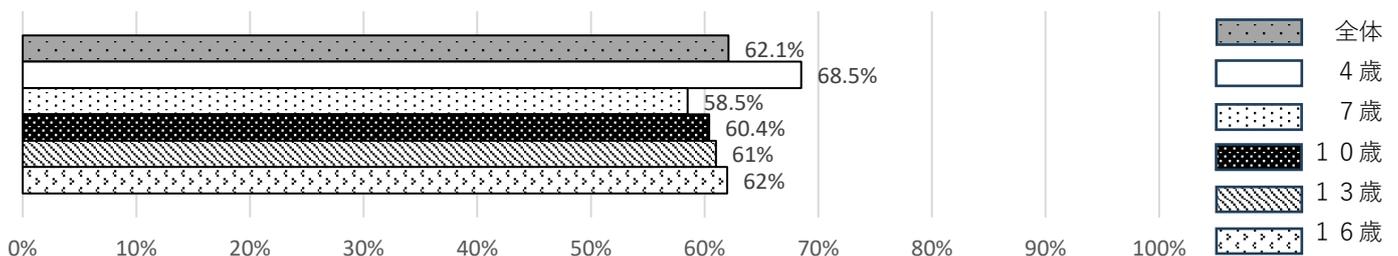
1) 小さいうちから受験勉強に追われざるを得なくなっている点



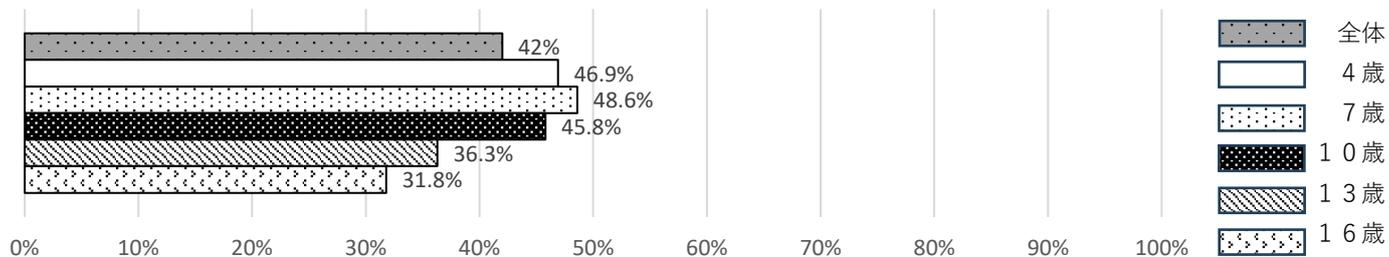
2) 親が子どもに接する時間が十分とれなくなっている点



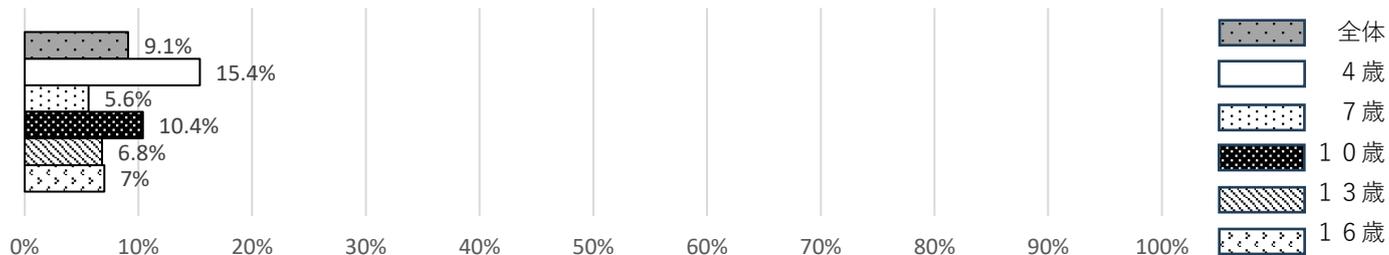
3) 世の中が物騒になり、子どもの安全が脅かされている点



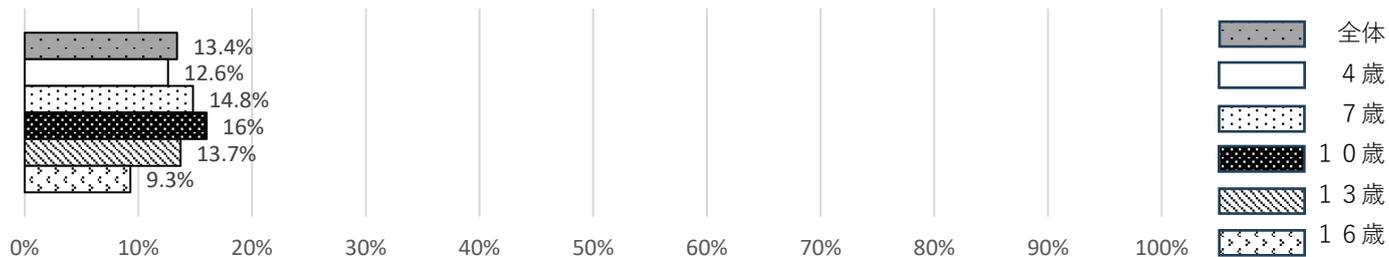
4)子どもの遊び場が制限され、遊ぶ環境が豊かでなくなっている点



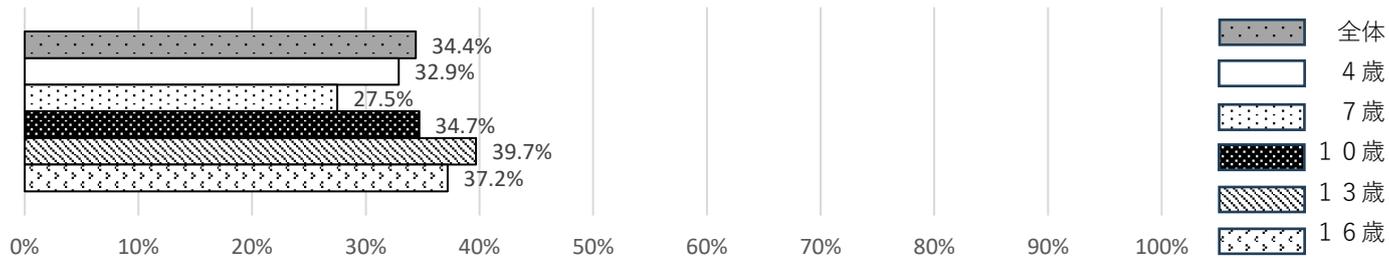
5)近所の人や地域の住民が、子どもに無関心になっている点



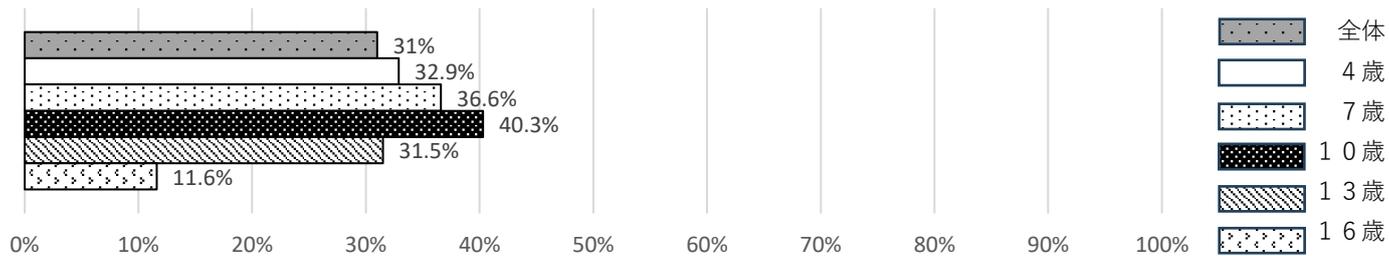
6)子どもが成長の過程で多様な経験を積むことが難しくなっている点



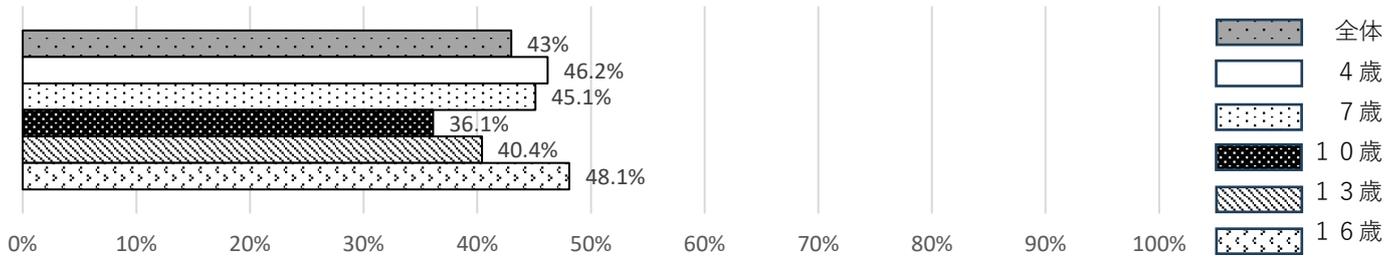
7)情報やモノが氾濫し、親や学校の価値観が伝わりにくくなっている点



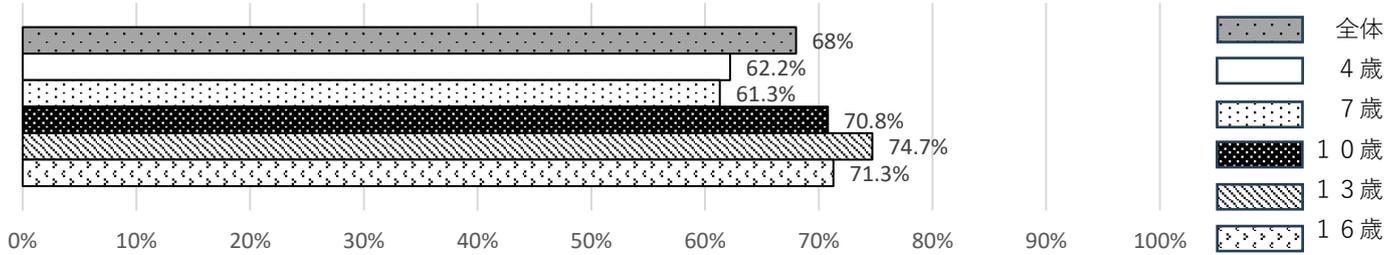
8)少子化の影響で、一緒に遊ぶ兄弟や友達が少なくなっている点



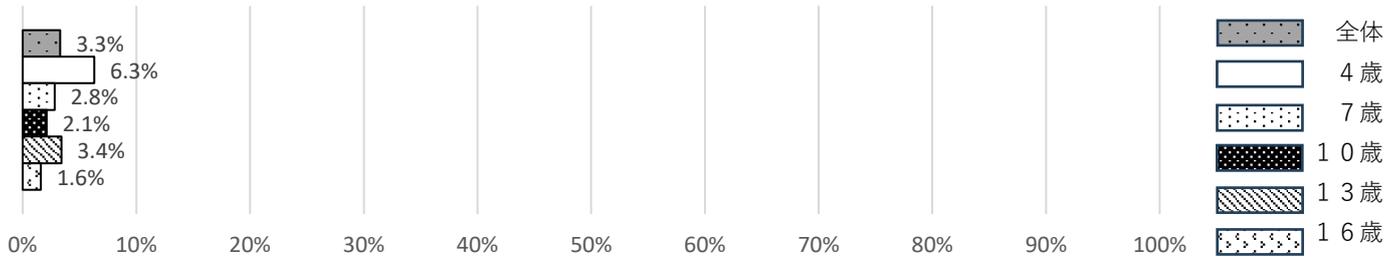
9)経済情勢や少子高齢化など、将来に向けて明るい希望が持ちにくくなっている点



10)インターネットがより身近になり、子どもが有害情報やネット犯罪の危機にさらされている点



11)その他



【その他】（記述）

- ・子どもの心の安定より、親のリフレッシュが優先されること。
- ・学校で遊びが制限されている。放課後に遊べない。宿題が多いため、土日の遊びが十分にできない。
色々な経験をさせてあげたいのに、経済的にそれが叶わない。国の経済が大きく影響している。
- ・教育の地域格差がどんどん広がっていること。
- ・犯罪、事件、事故、不正など暗いニュースが取り上げられることが多く、世の中は暗いことが多いととらえやすくなっていること。
- ・アルバイトが自由にできないため、社会勉強の経験が少ないため、いざ社会に出たときに人間関係等の壁にぶつかるような気がする。仕組みに対応できない。
- ・親が周りにたよることが多すぎる。
- ・クマなどが心配で、外であまり遊べていない。
- ・時代が進み携帯、ゲーム、タブレットなど使う子が多い印象。子どもらしく外でたくさん遊び、日光を浴び、自然に興味を示す子が減ったな、、、と。
- ・生徒の人数が少ないため部活動や陸上、駅伝選手として参加しなければならないこと。
- ・小児科がなくて不便。又、遊具が少ない。
- ・地上波テレビが映らない所に引っ越してしまった。
- ・核家族のため、祖父母等の関わりや交流が少ない。大家族の経験をさせてあげられない。
- ・親の共働き等、原因は様々だと思うが、子どもの睡眠時間の短さ→生活リズムの乱れ。

回答から見える特徴

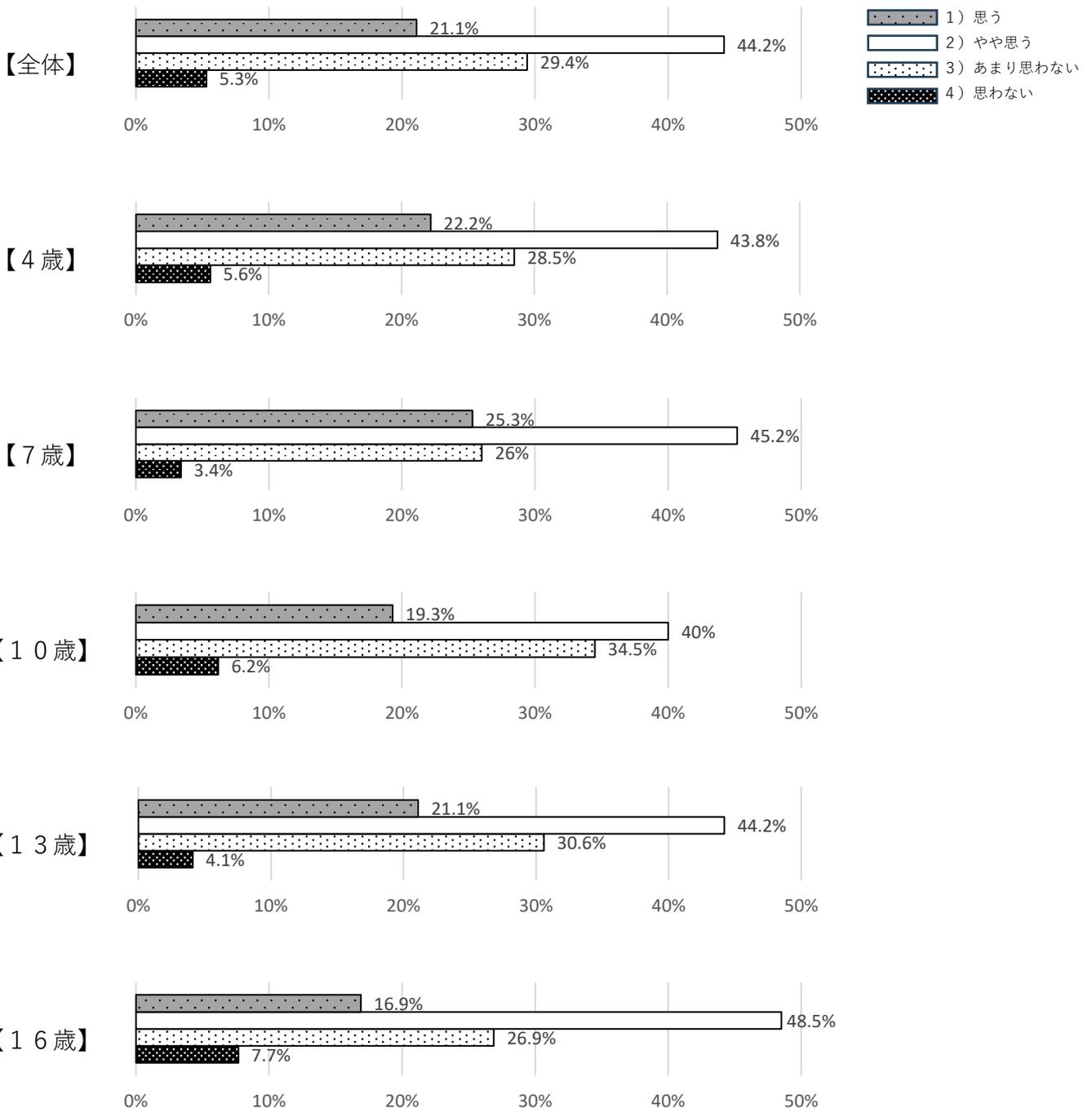
3) 4) の回答から安全安心を求める意識が高いと考えられるが、5) 6) の回答からできることなら保護者としては子どもたちを地域で遊ばせたいと思っていると考えられる。

問2 (1)

あなたご自身の子育てについて、次のように思うことがありますか（またはありましたか）。

1)我慢することがたくさんある（あった）

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	150	21.1
2)やや思う	315	44.2
3)あまり思わない	209	29.4
4)思わない	38	5.3
合計	712	100

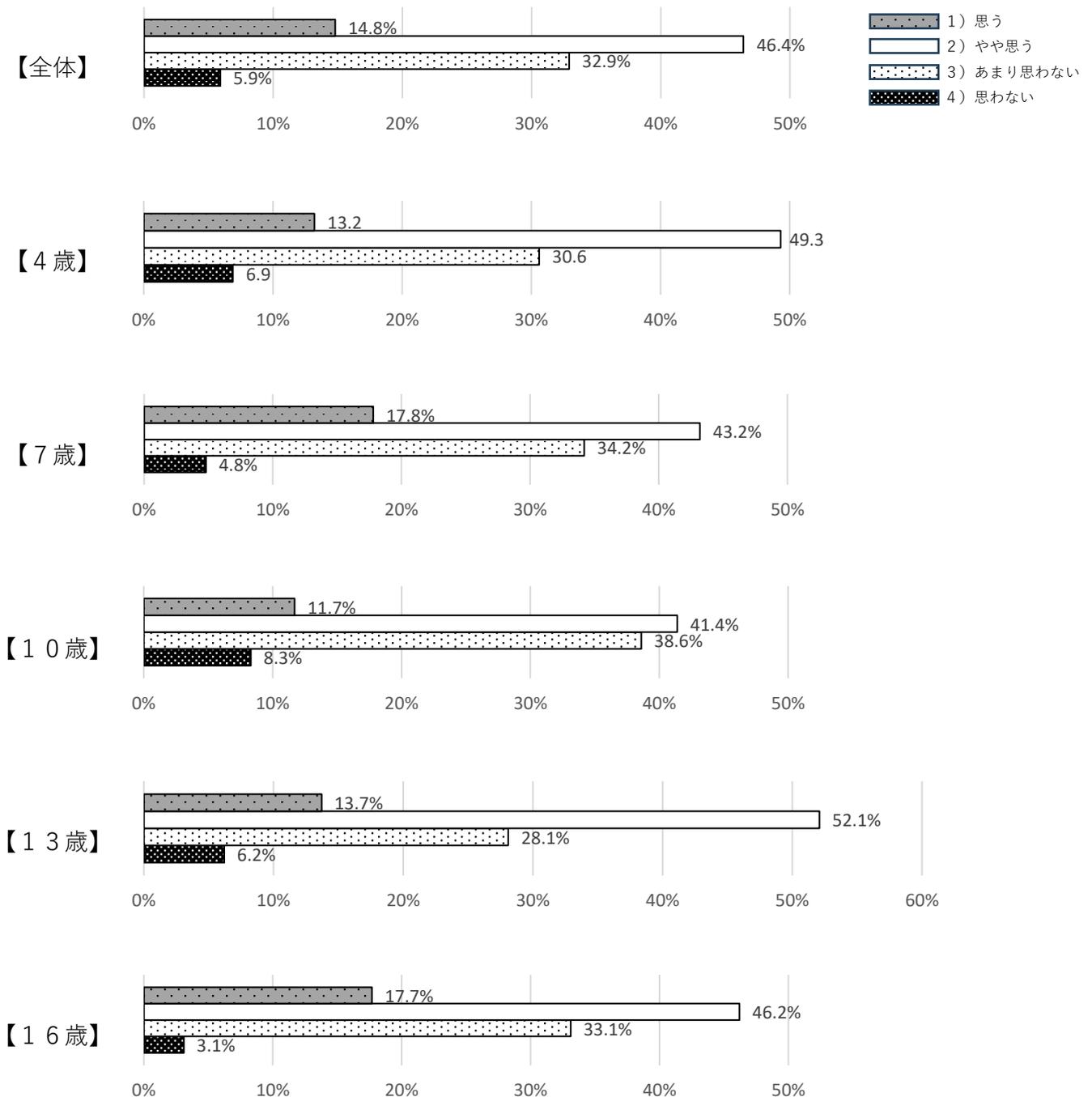


問2 (2)

あなたご自身の子育てについて、次のように思うことがありますか（またはありましたか）。

2)よくわからないことがたくさんある（あった）

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	105	14.8
2)やや思う	330	46.4
3)あまり思わない	234	32.9
4)思わない	42	5.9
合計	711	100

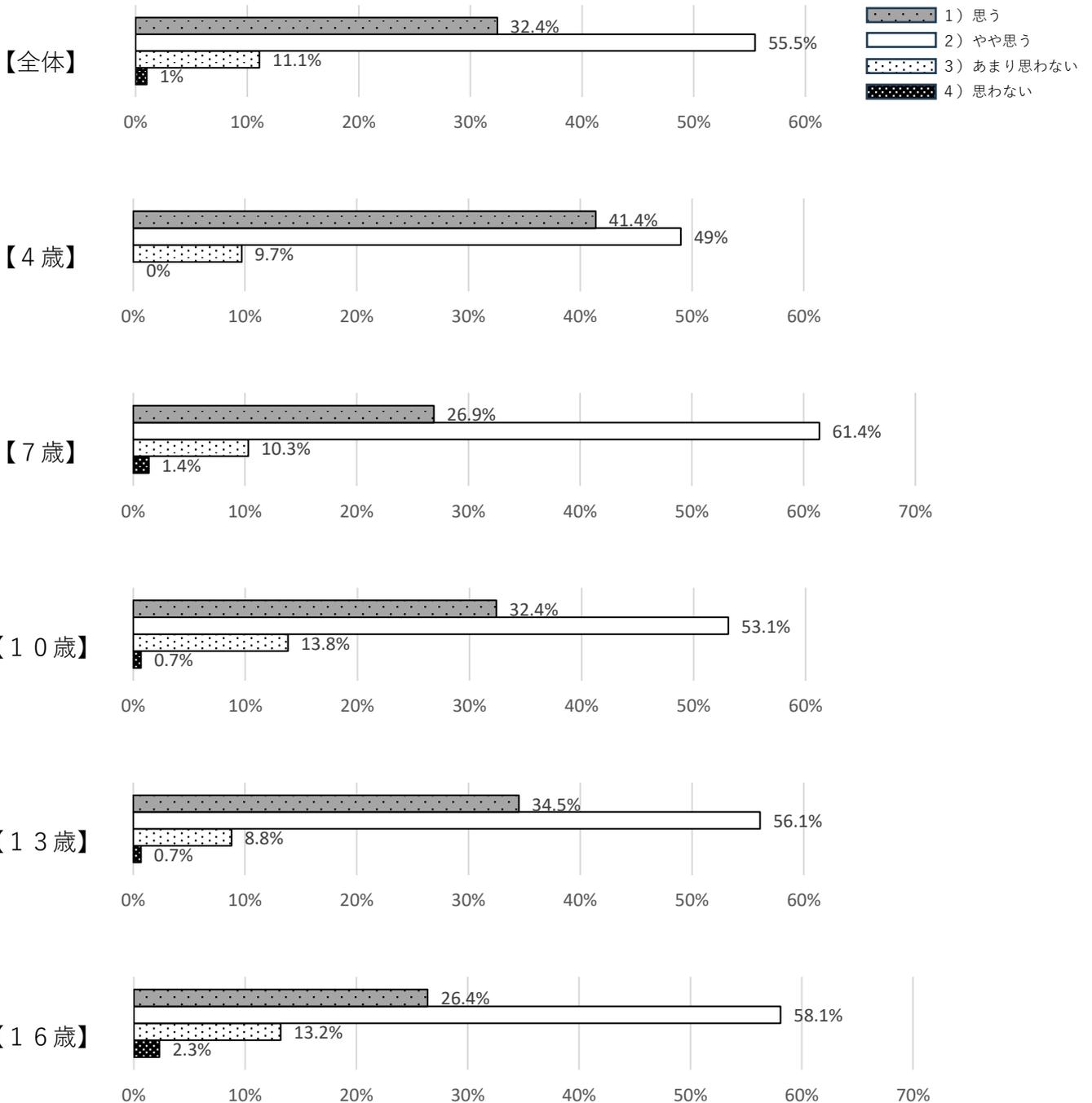


問2 (3)

あなたご自身の子育てについて、次のように思うことがありますか（またはありましたか）。

3)楽しく子育てができる（できた）

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	231	32.4
2)やや思う	395	55.5
3)あまり思わない	79	11.1
4)思わない	7	1.0
合計	712	100

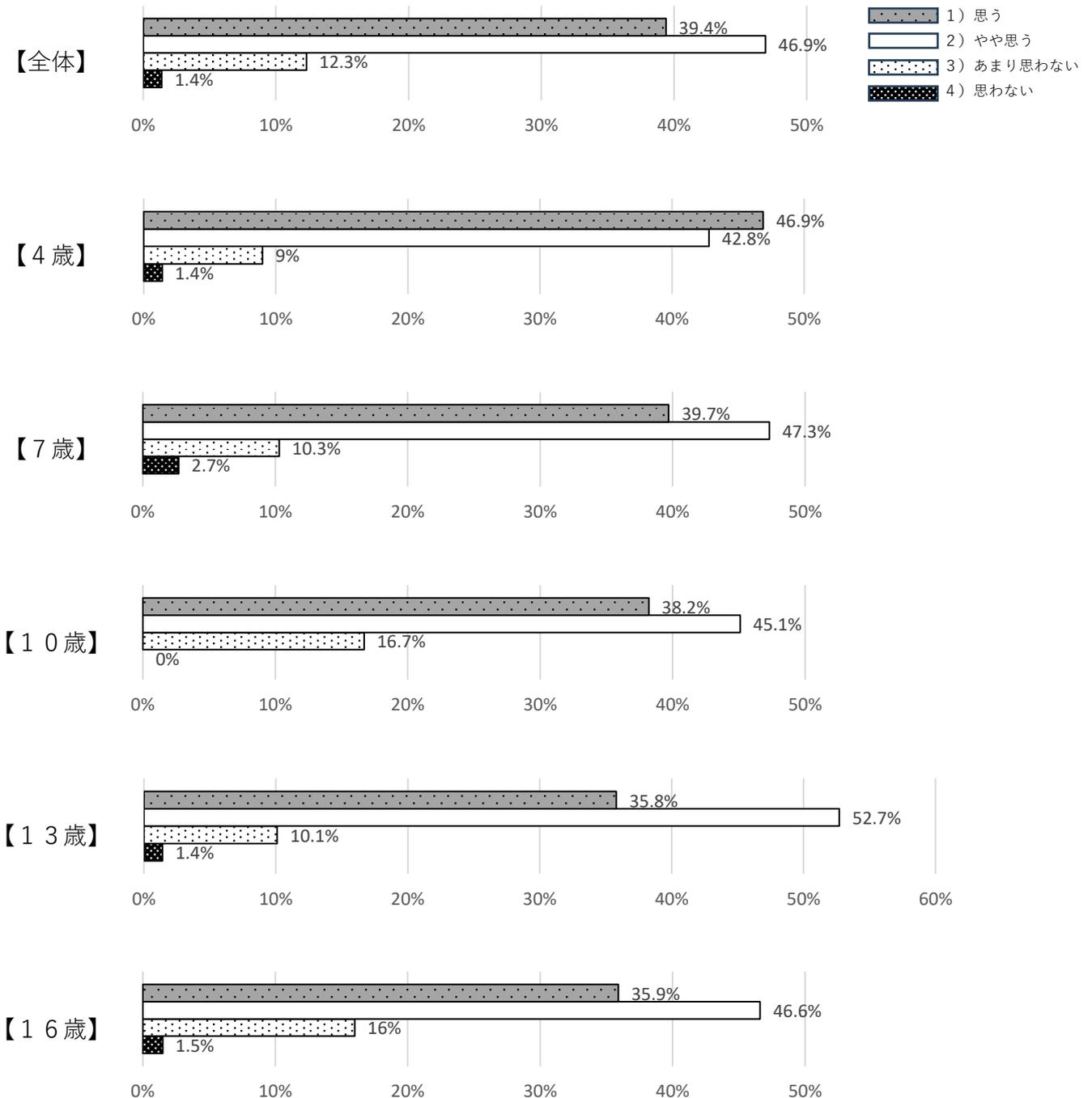


問2 (4)

あなたご自身の子育てについて、次のように思うことがありますか（またはありましたか）。

4)生きがいをもって子育てができる（できた）

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	281	39.4
2)やや思う	335	46.9
3)あまり思わない	88	12.3
4)思わない	10	1.4
合計	714	100

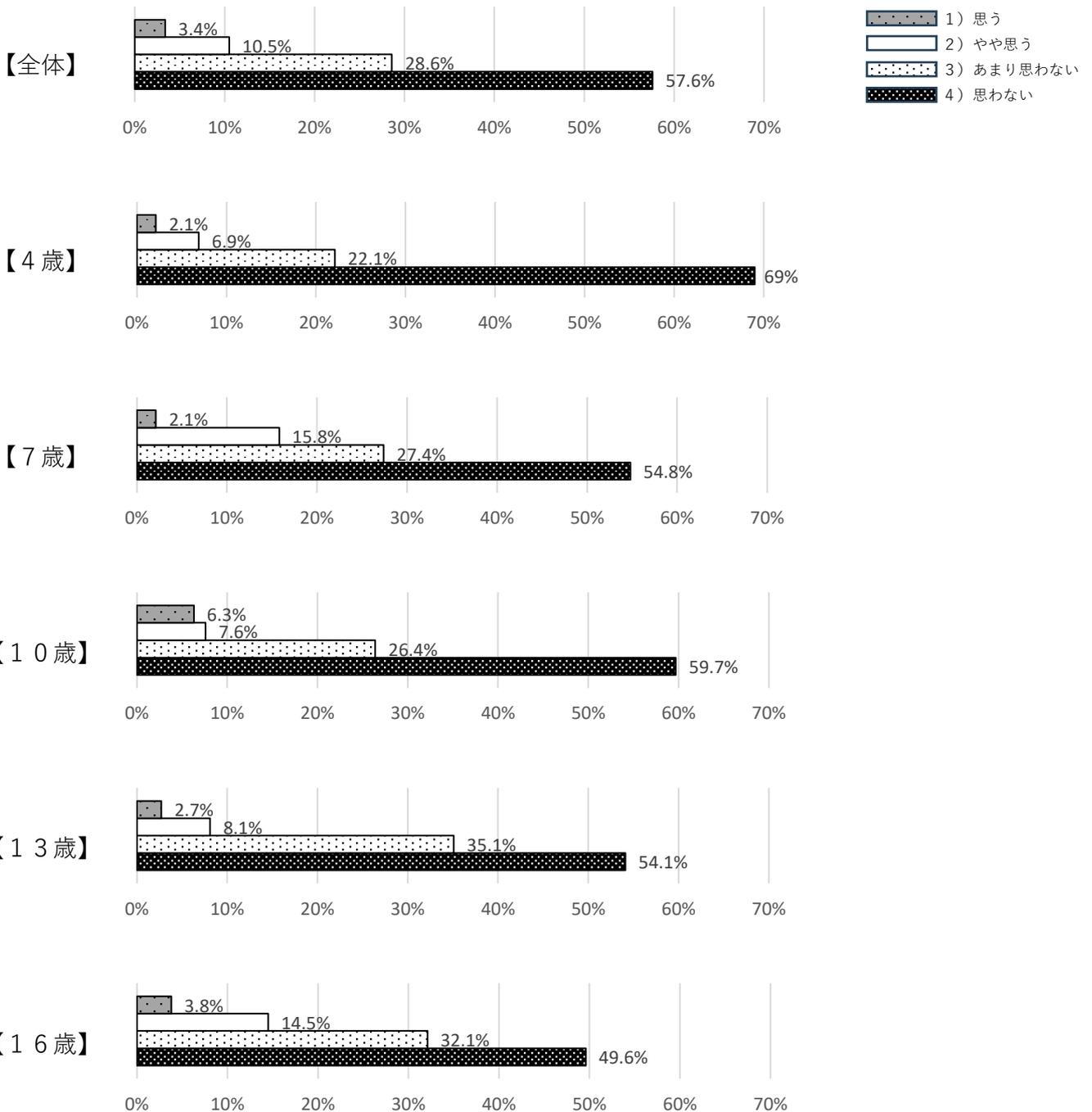


問2 (5)

あなたご自身の子育てについて、次のように思うことがありますか（またはありましたか）。

5)子育てはもう二度としたくない

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	24	3.4
2)やや思う	75	10.5
3)あまり思わない	204	28.6
4)思わない	411	57.6
合計	714	100

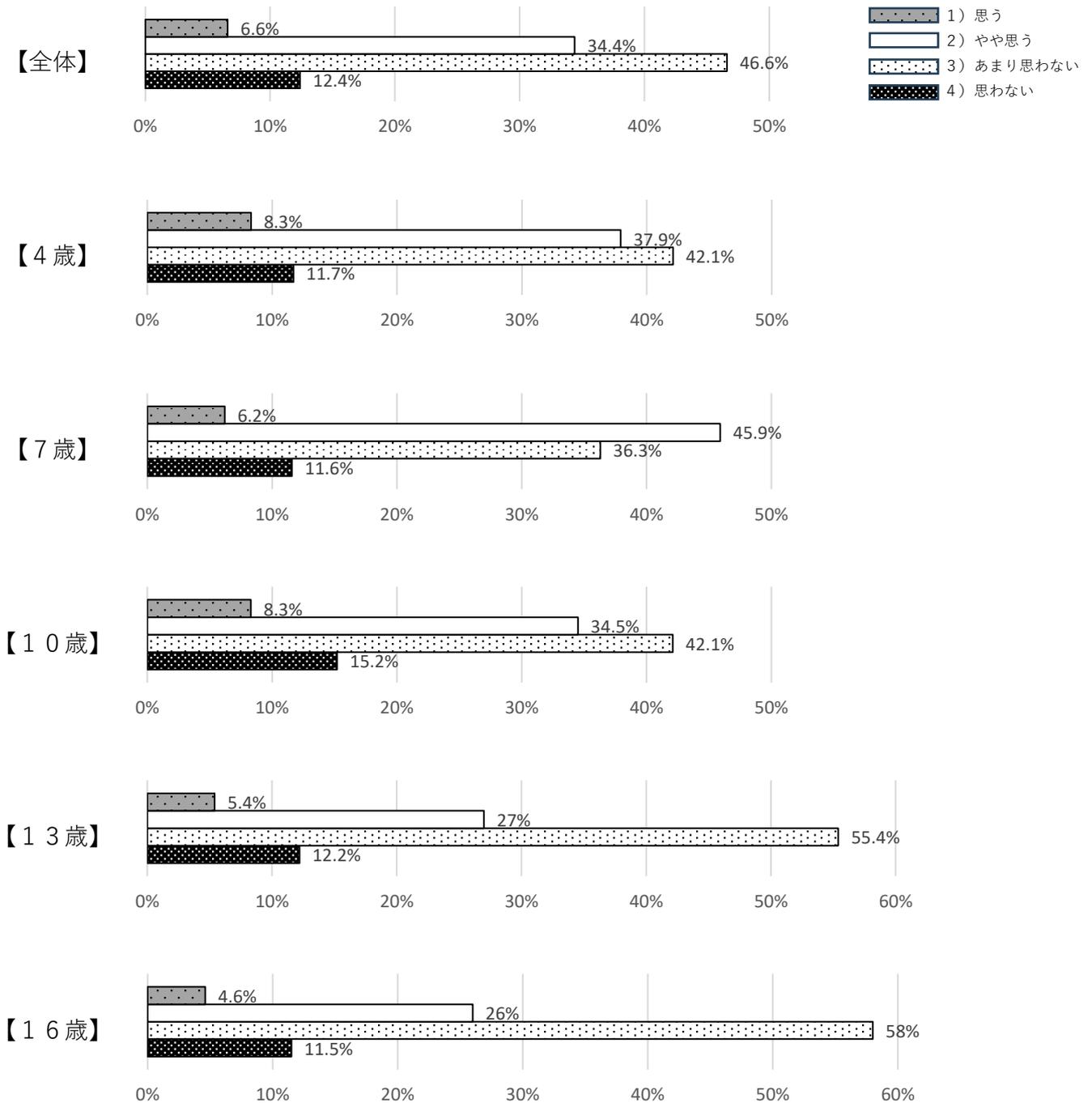


問2 (6)

あなたご自身の子育てについて、次のように思うことがありますか（またはありましたか）。

6)厳しくしすぎた

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	47	6.6
2)やや思う	246	34.4
3)あまり思わない	333	46.6
4)思わない	89	12.4
合計	715	100

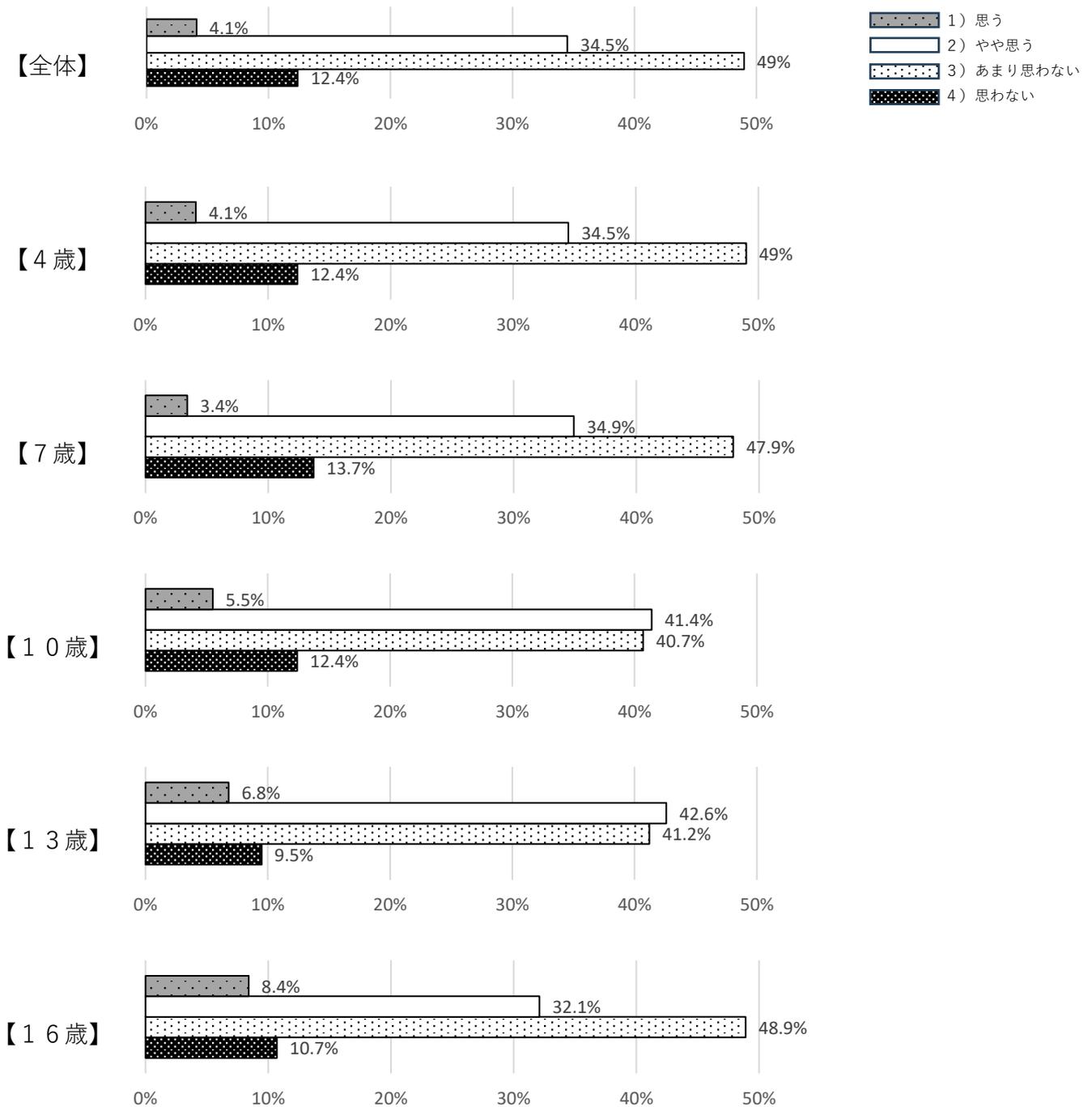


問2 (7)

あなたご自身の子育てについて、次のように思うことがありますか（またはありましたか）。

7)甘やかしすぎた

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	40	5.6
2)やや思う	266	37.2
3)あまり思わない	325	45.5
4)思わない	84	11.7
合計	715	100

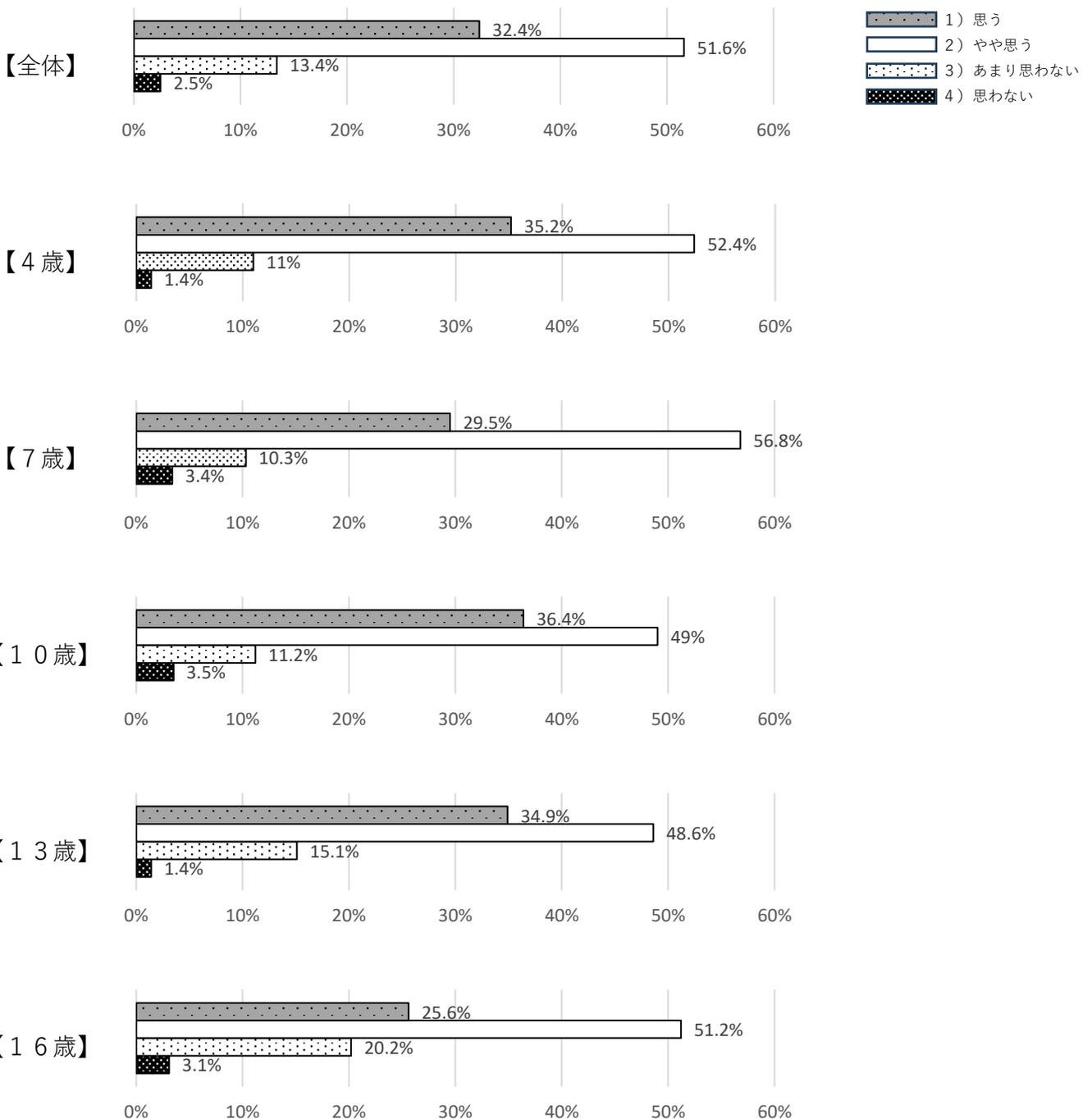


問3 (1)

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

1)なんでも家族でよく話し合う

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	230	32.4
2)やや思う	366	51.6
3)あまり思わない	95	13.4
4)思わない	18	2.5
合計	709	100

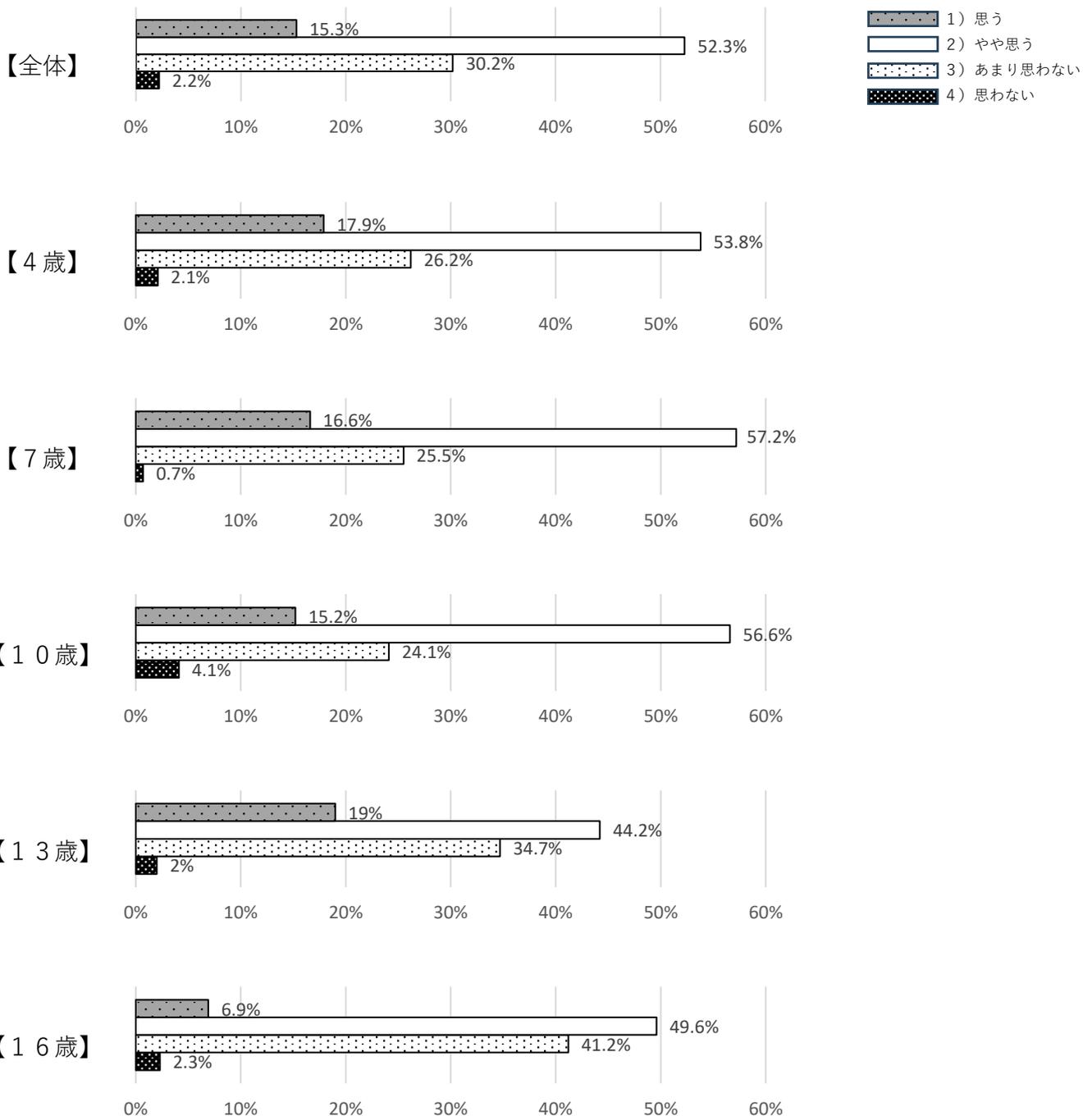


問3 (2)

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

2)子どもの手本となる生き方や考え方を示す

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	109	15.3
2)やや思う	373	52.3
3)あまり思わない	215	30.2
4)思わない	16	2.2
合計	713	100

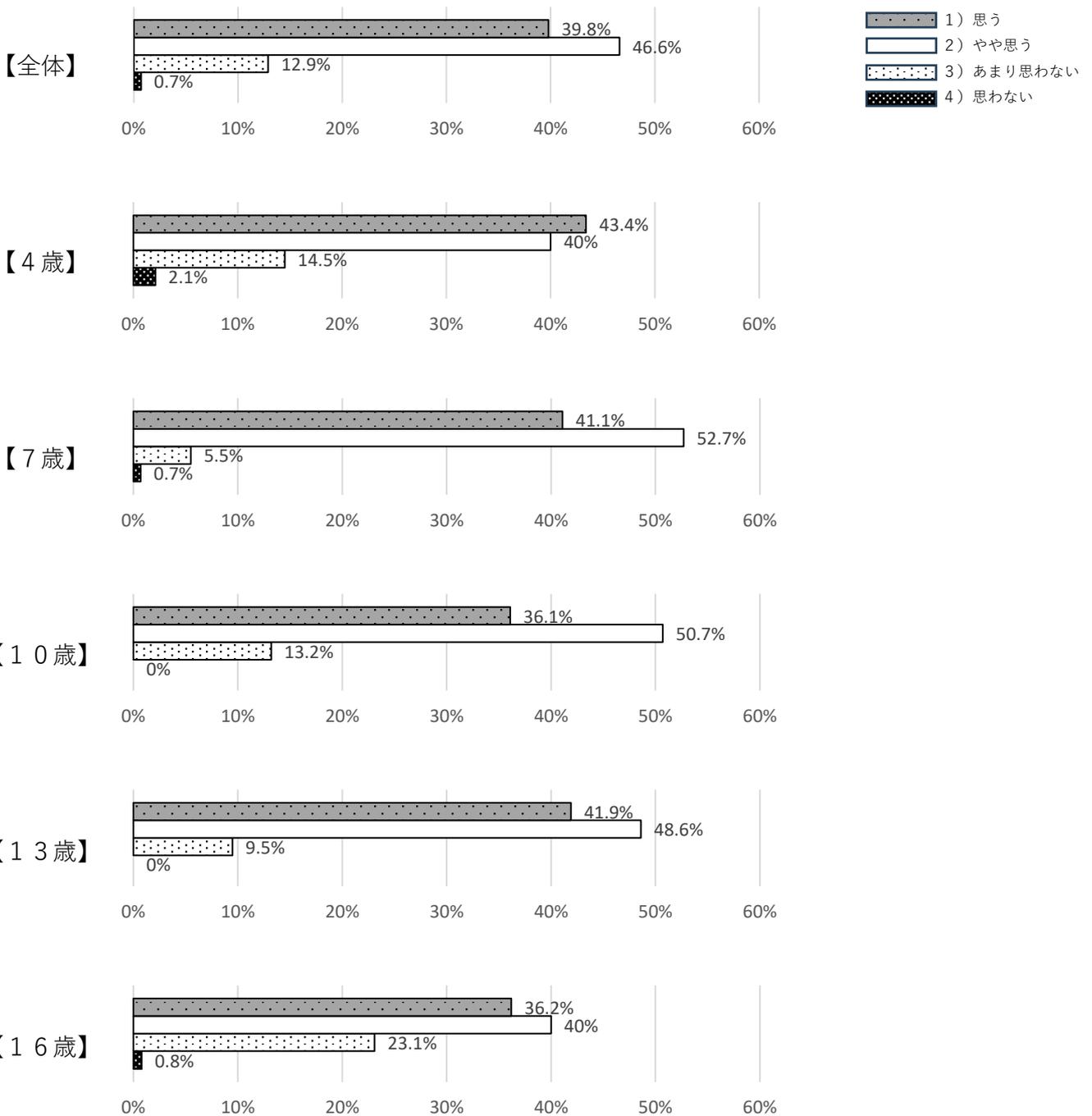


問3 (3)

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

3)早寝早起き朝ごはんなど、良い生活習慣を身につけさせる

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	284	39.8
2)やや思う	332	46.6
3)あまり思わない	92	12.9
4)思わない	5	0.7
合計	713	100

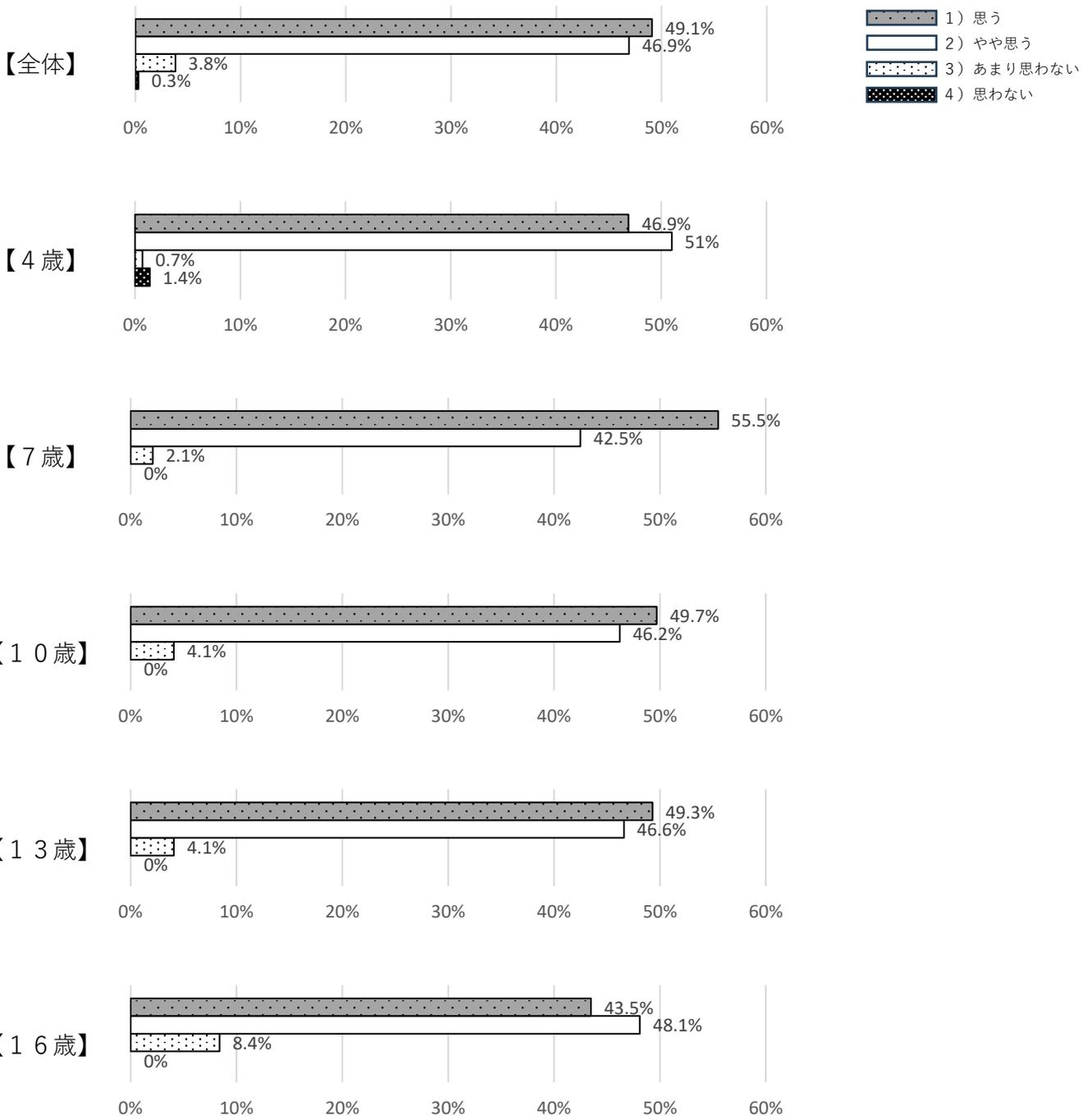


問3 (4)

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

4)ルールやきまりの大切さをしっかり教え、守らせる

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	351	49.1
2)やや思う	335	46.9
3)あまり思わない	27	3.8
4)思わない	2	0.3
合計	715	100

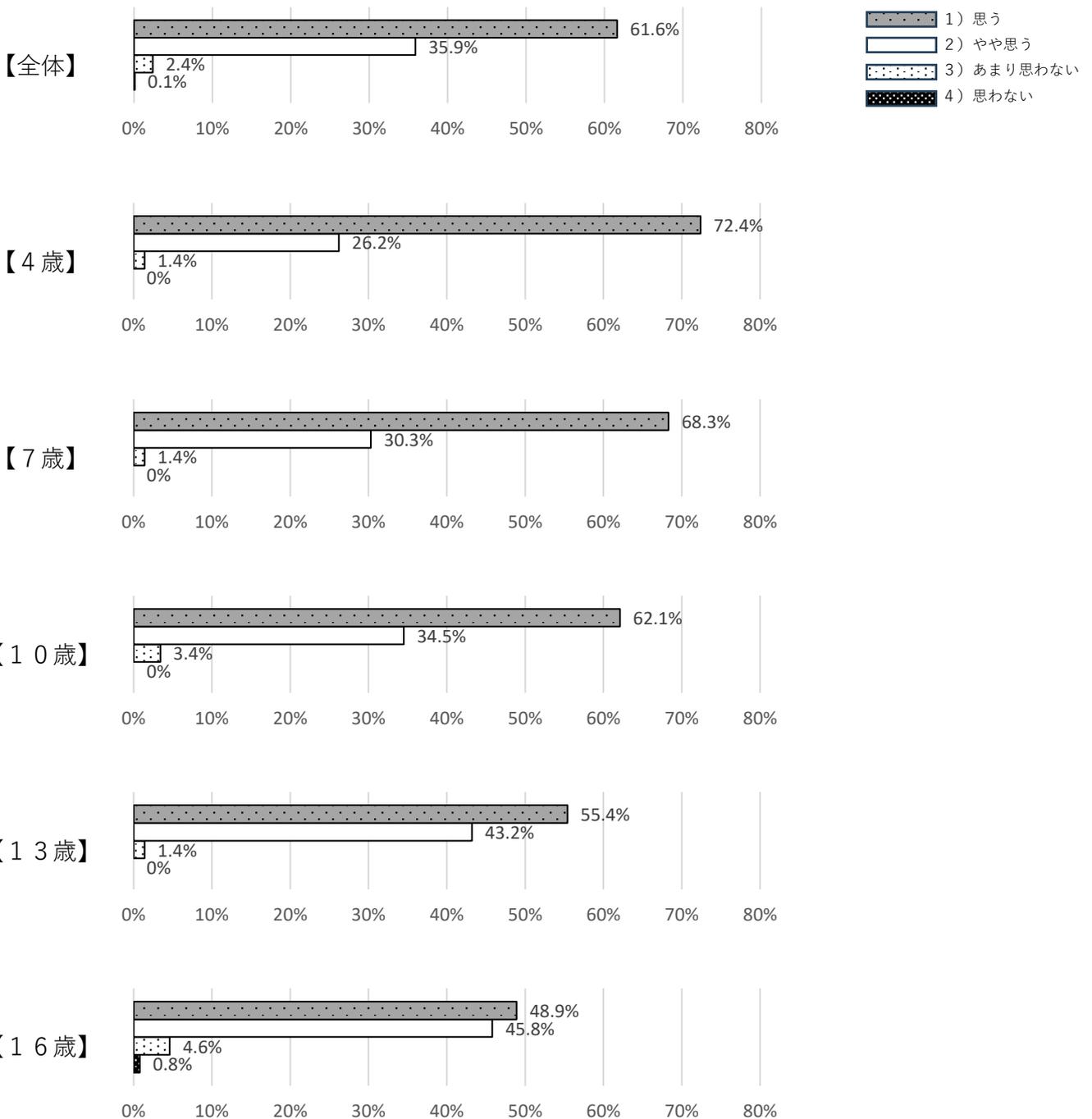


問3 (5)

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

5)良いことをした時は、しっかりとほめる

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	440	61.6
2)やや思う	256	35.9
3)あまり思わない	17	2.4
4)思わない	1	0.1
合計	714	100

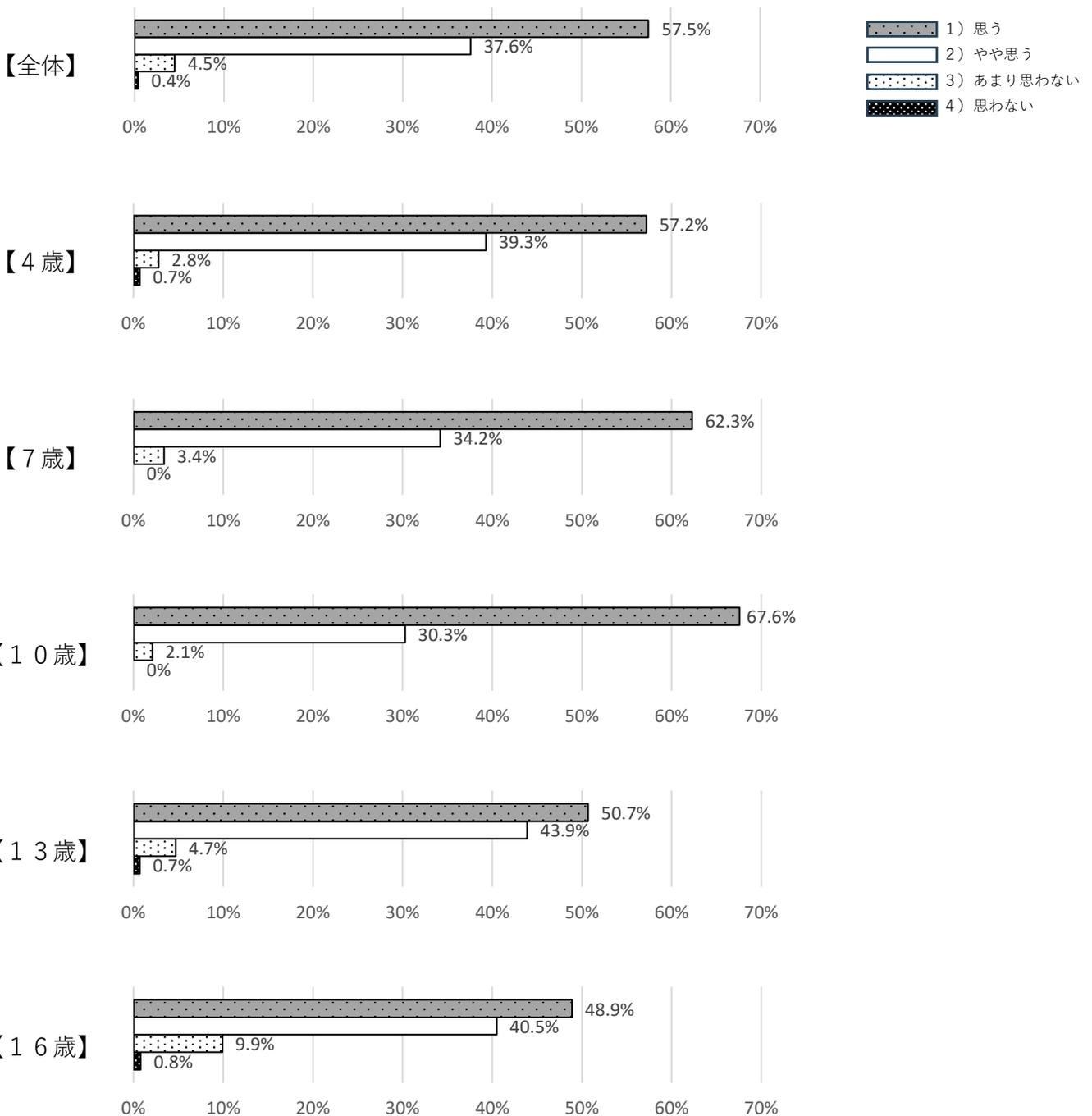


問3 (6)

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

6)悪いことをした時は、厳しく叱る

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	411	57.5
2)やや思う	269	37.6
3)あまり思わない	32	4.5
4)思わない	3	0.4
合計	715	100

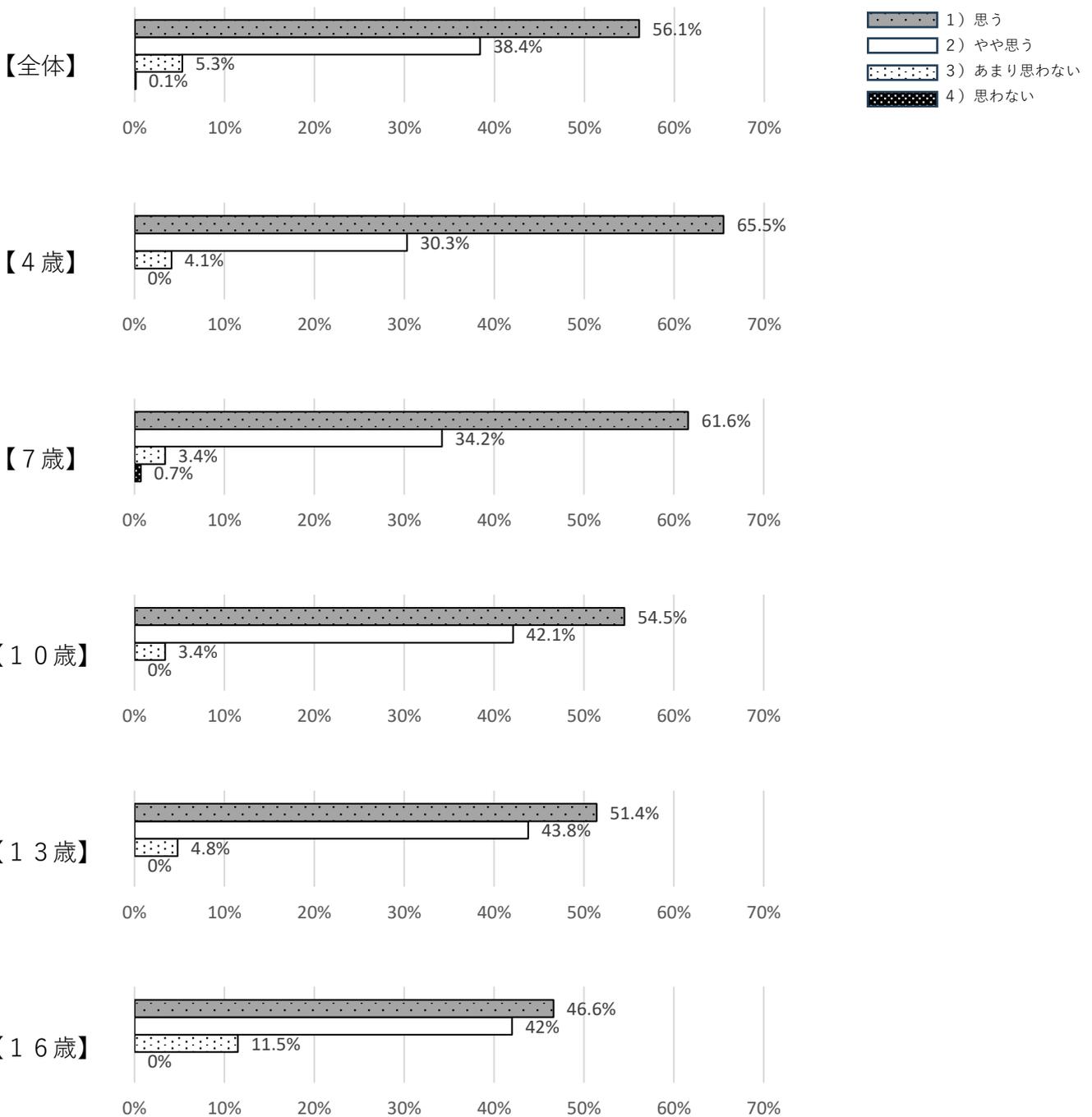


問3 (7)

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

7)一緒に遊んだり出かけたり、家族で一緒に楽しむ時間をもつ

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	400	56.1
2)やや思う	274	38.4
3)あまり思わない	38	5.3
4)思わない	1	0.1
合計	713	100

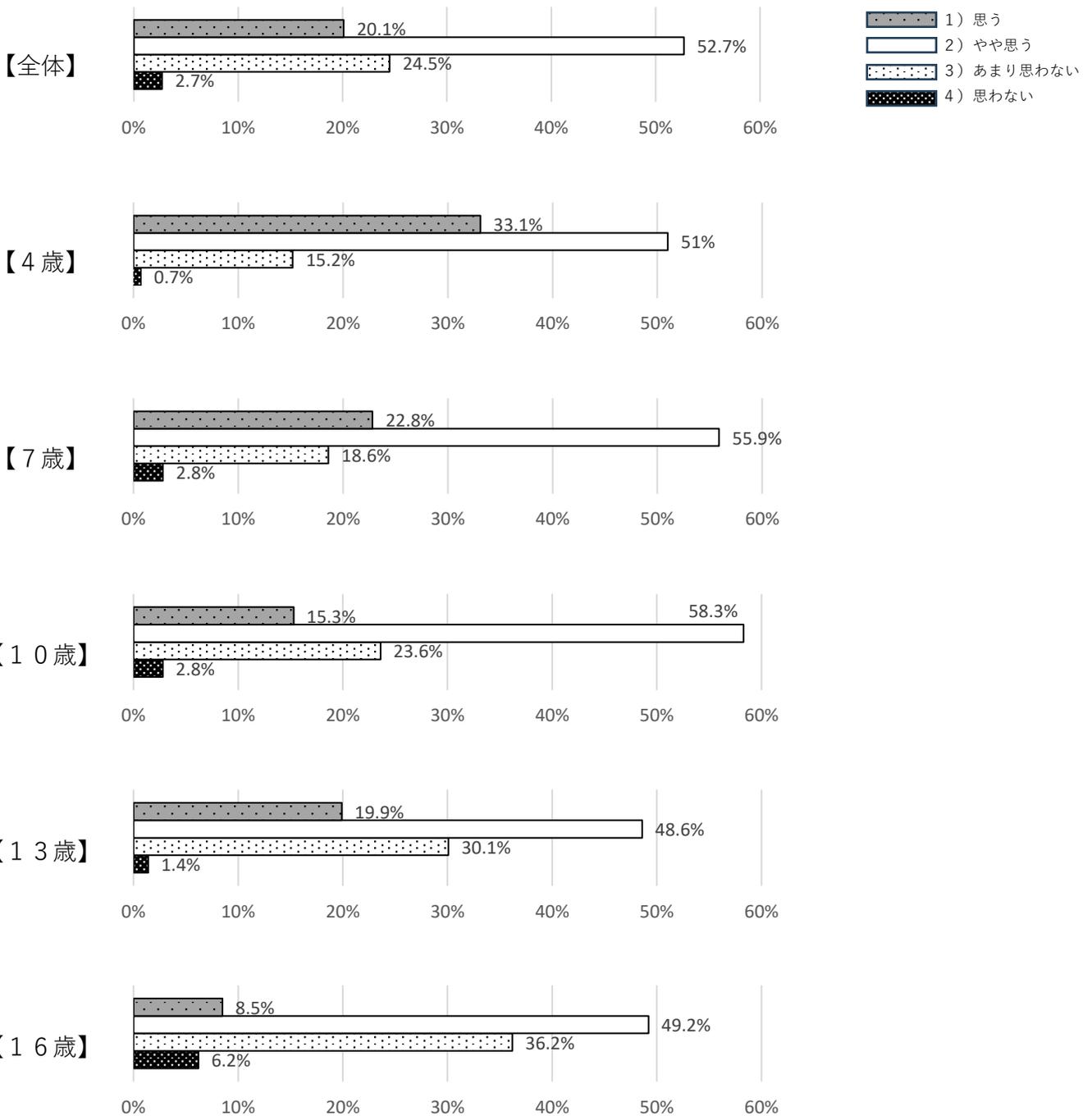


問3 (8)

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

8)本の読みかかせをしたり、勉強を見たりする

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	143	20.1
2)やや思う	374	52.7
3)あまり思わない	174	24.5
4)思わない	19	2.7
合計	710	100

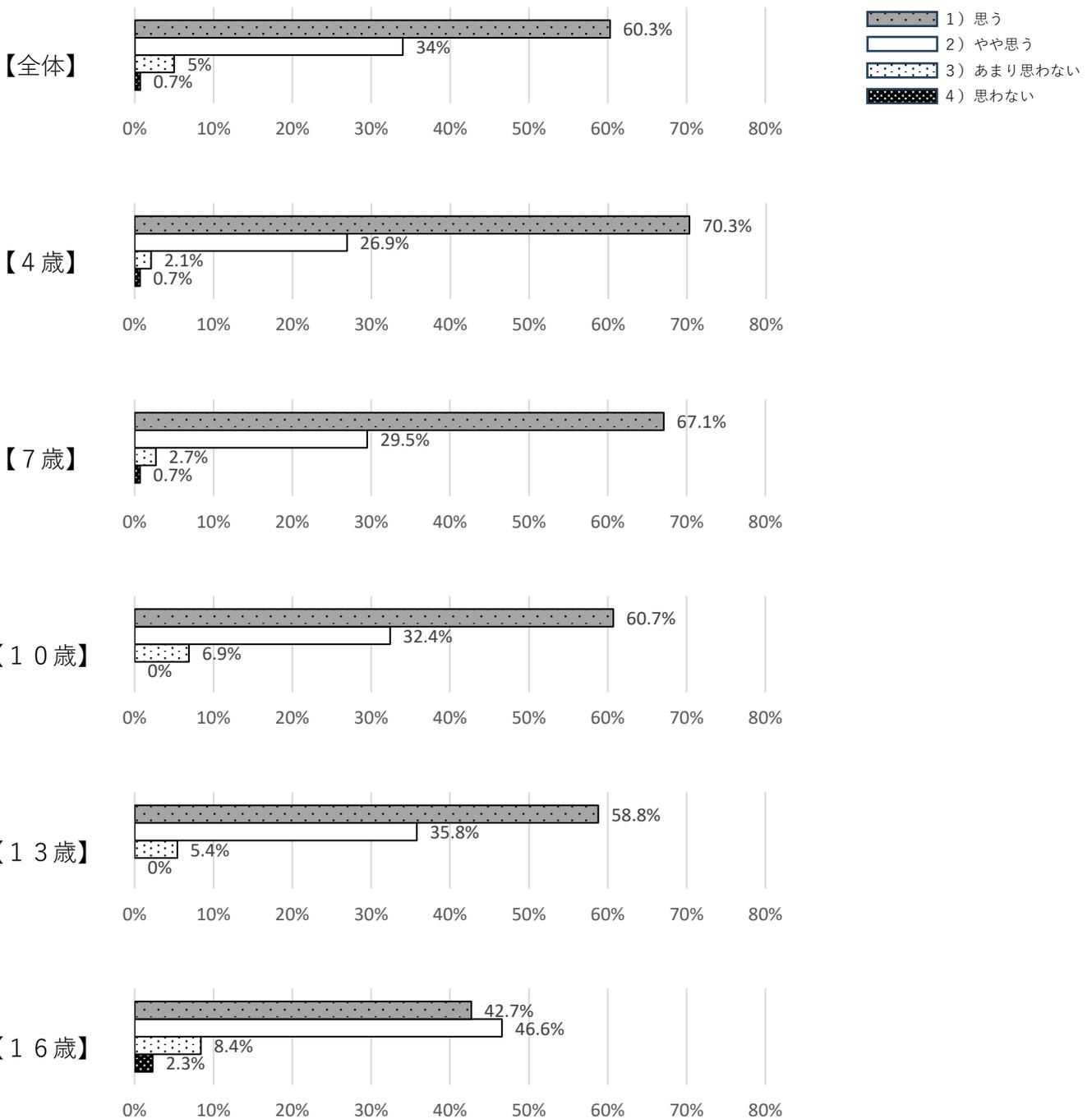


問3 (9)

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

9)年中行事や誕生日など、家族の行事を大切にする

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	431	60.3
2)やや思う	243	34.0
3)あまり思わない	36	5.0
4)思わない	5	0.7
合計	715	100

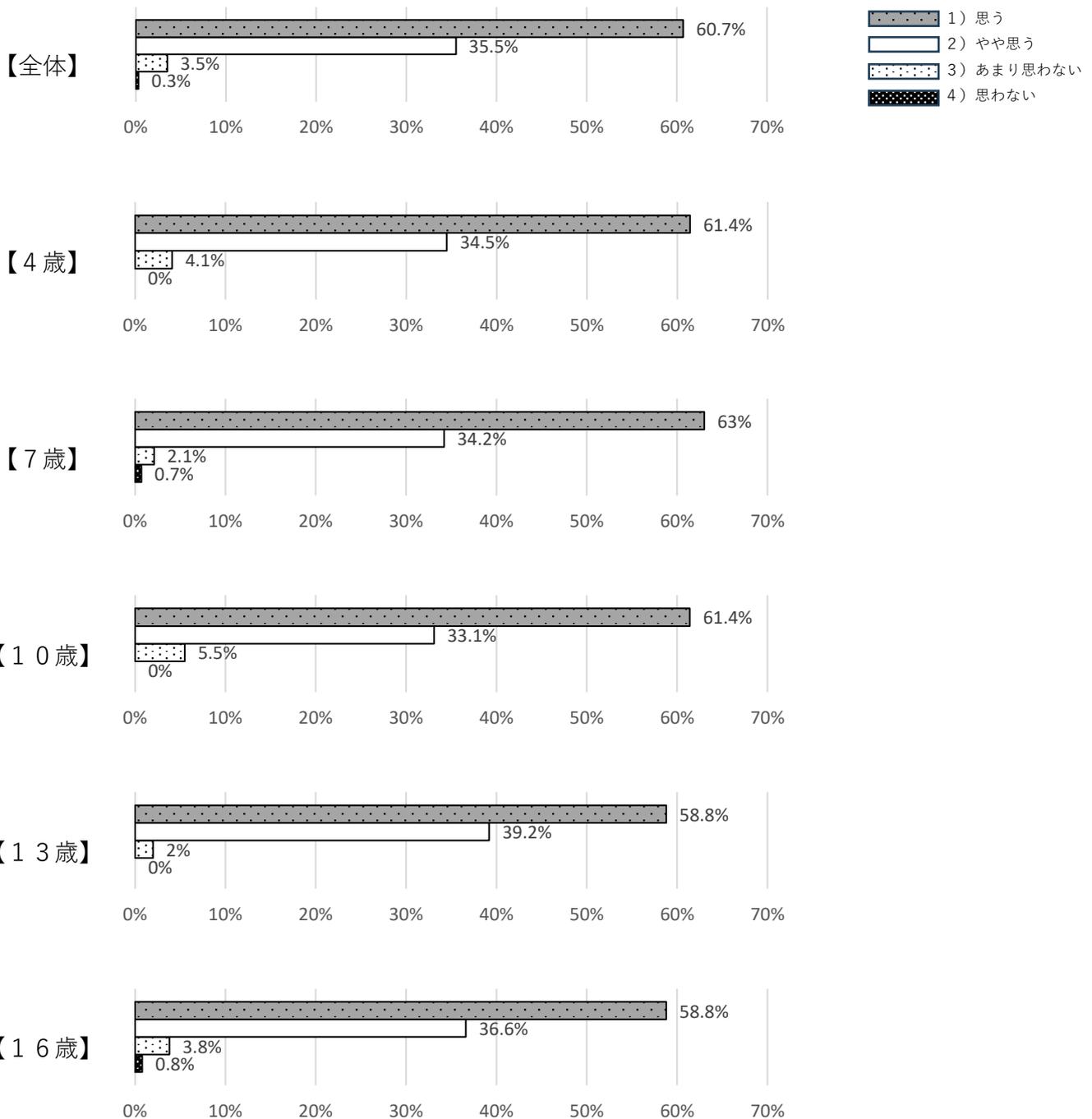


問3 (10)

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

10)子どもが将来の夢を叶えられるよう、応援し、励ます

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	434	60.7
2)やや思う	254	35.5
3)あまり思わない	25	3.5
4)思わない	2	0.3
合計	715	100



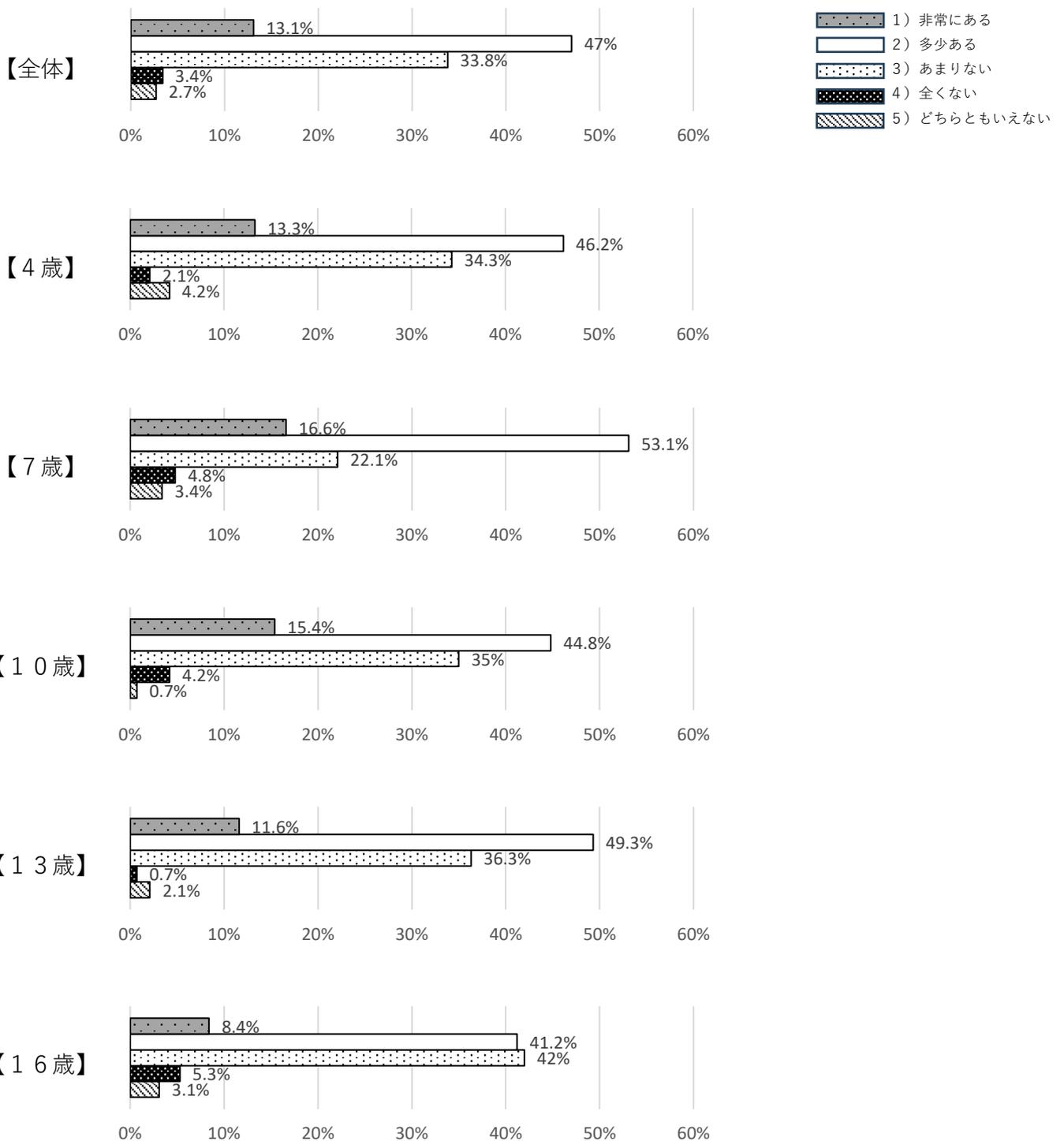
回答から見える特徴

- ・ 4) 5) 6) の回答から、ルールやきまりを守らせることや、褒めること、叱ることを徹底できたと考えている保護者がほとんどである一方、2) の回答から一定割合の保護者は子どもの手本となれているか不安に感じていると考えられる。
- ・ 8) の回答から、読み聞かせや学習支援に力を入れている（入れてきた）保護者が割合が高いことは、これまでの読書活動の推進や学力向上に向けた取組等の影響もあると考えられる。

問4-1

あなたは家庭での教育（しつけ等）について、悩みや不安がありますか。

項目	回答数(人)	割合(%)
1)非常にある	93	13.1
2)多少ある	333	47.0
3)あまりない	239	33.8
4)全くない	24	3.4
5)どちらともいえない	19	2.7
合計	708	100



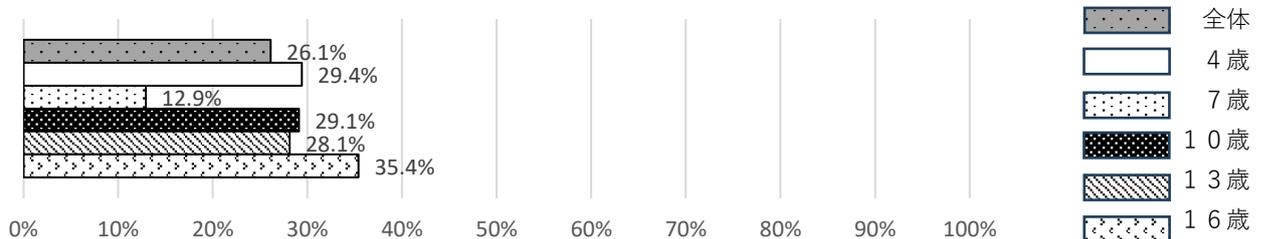
問4-2

問4-1で1)または2)と答えた方にお聞きます。どのような悩みや不安がありますか。
(複数回答可)

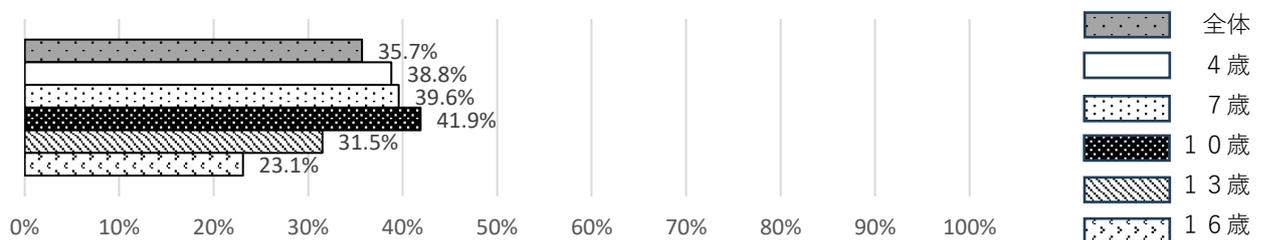
総回答者数：426人

項目	回答数(人)	割合(%)
1) 早寝早起きなどの生活習慣のこと	111	26.1
2) 子どもの健康・体力、発達のこと	152	35.7
3) 子どもの友人関係のこと	158	37.1
4) 非行や反抗期のこと	91	21.4
5) 子どものしつけ方や、マナーのこと	195	45.8
6) 勉強や進学、将来の進路のこと	227	53.3
7) いじめ・引きこもり・不登校のこと	76	17.8
8) 教育情報の入手や、相談相手のこと	42	9.9
9) 性格や考え方、人との接し方のこと	203	47.7
10) 子どもとのふれあいやコミュニケーション、 親子の信頼関係のこと	68	16.0
11) 配偶者や家族の協力や教育方針のこと	64	15.0
12) テレビ・ゲーム・インターネットといった、 メディアとの付き合い方のこと	220	51.6
13) 学校・園や、先生との関係づくりのこと	54	12.7
14) その他	8	1.9
合計	1669	

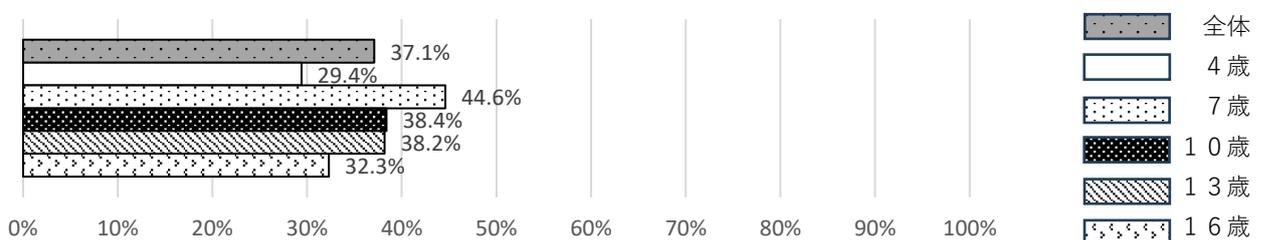
1) 早寝早起きの生活習慣のこと



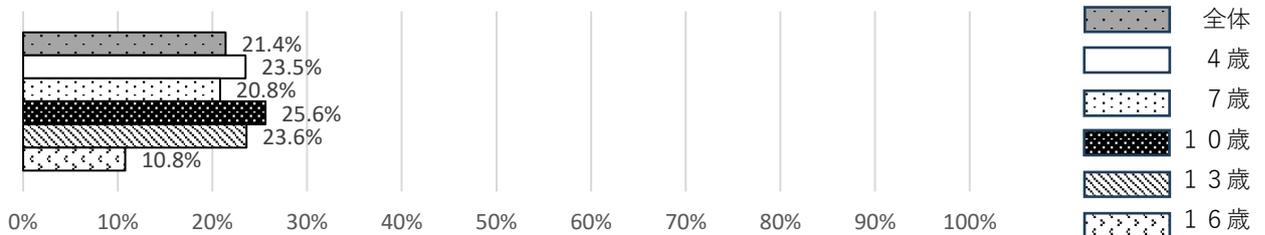
2) 子どもの健康・体力、発達のこと



3) 子どもの友人関係のこと



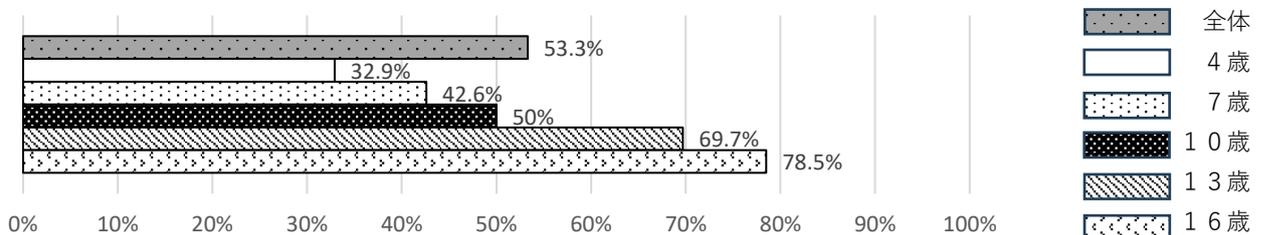
4) 非行や反抗期のこと



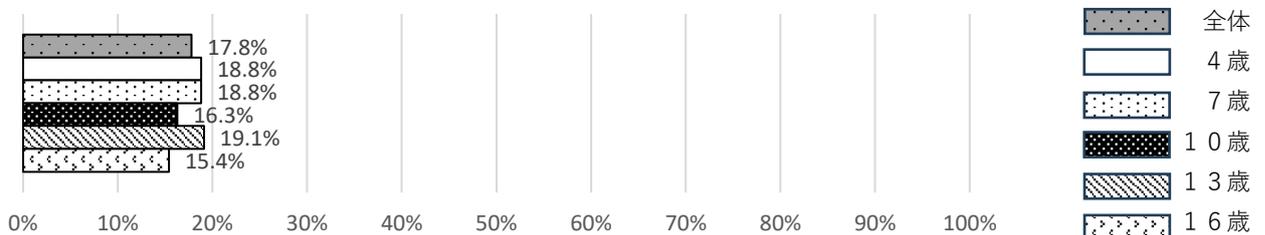
5) 子どものしつけ方や、マナーのこと



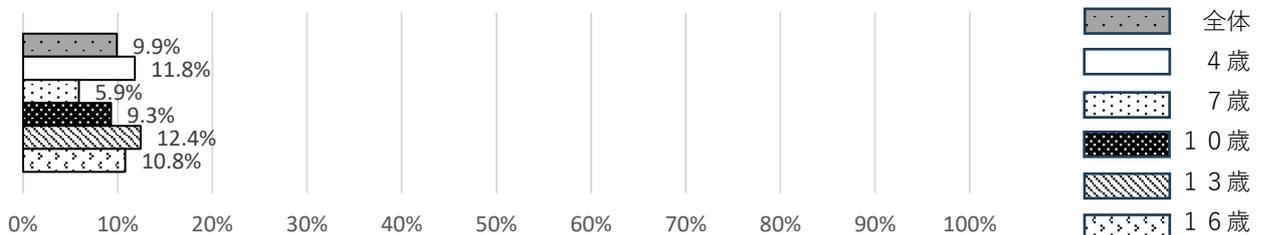
6) 勉強や進学、将来の進路のこと



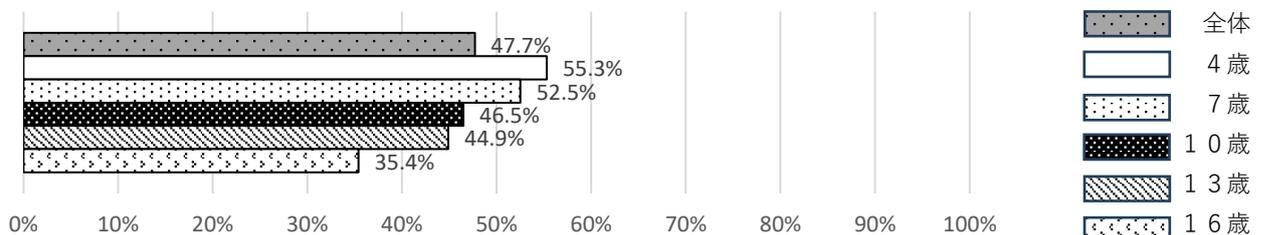
7) いじめ・引きこもり・不登校のこと



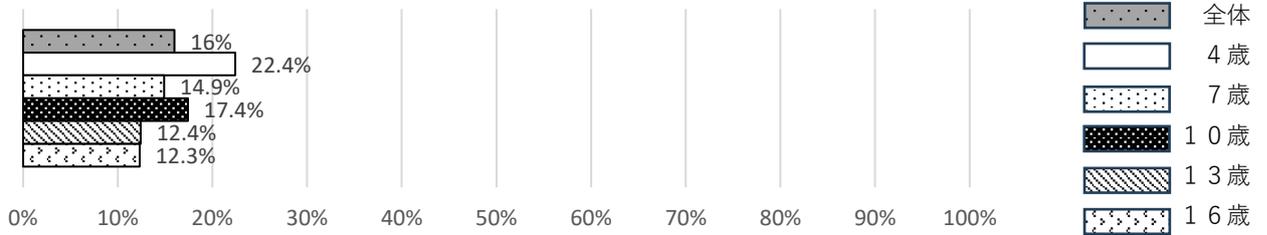
8) 教育情報の入手や、相談相手のこと



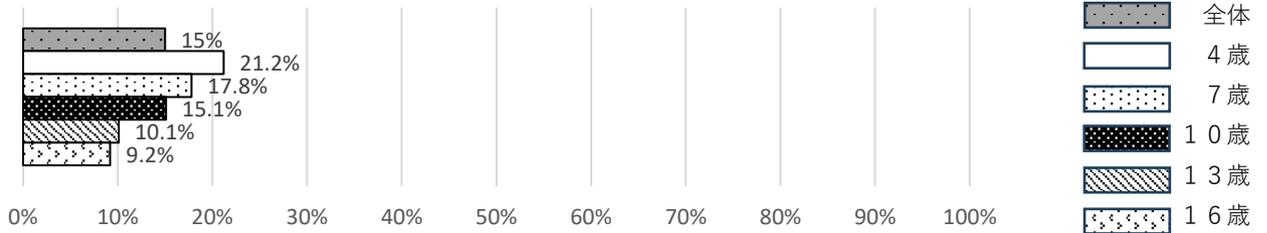
9) 性格や考え方、人との接し方のこと



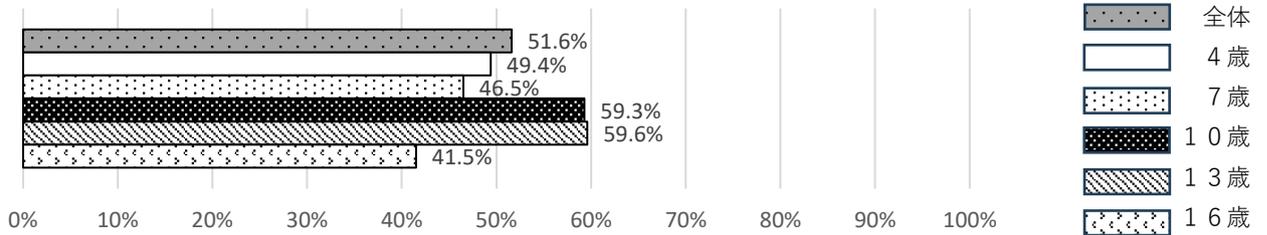
1 0) 子どもとのふれあいやコミュニケーション、親子の信頼関係のこと



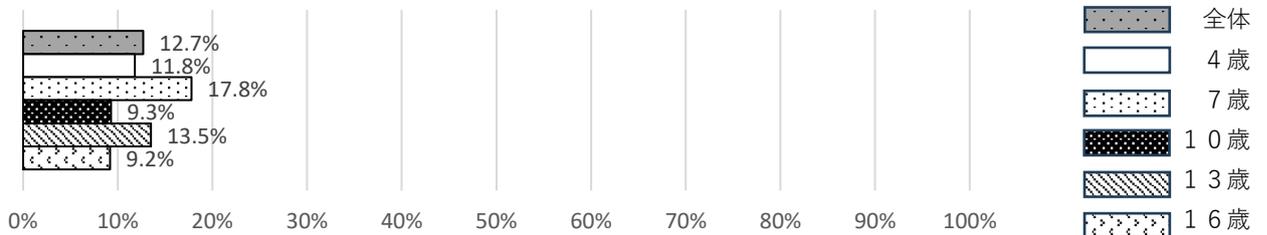
1 1) 配偶者や家族の協力や教育方針のこと



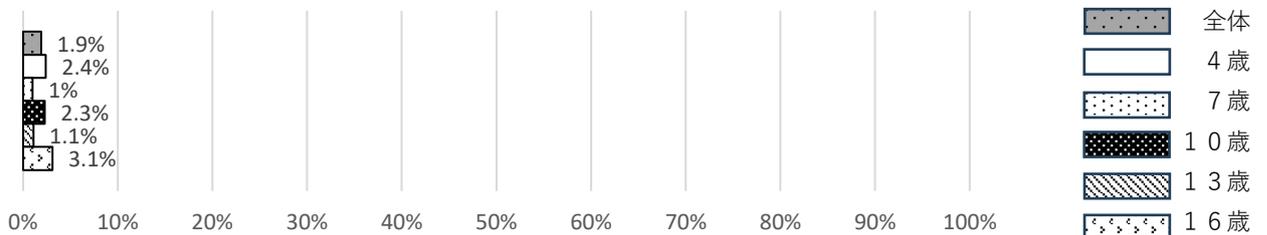
1 2) テレビ・ゲーム・インターネットといった、メディアとの付き合い方のこと



1 3) 学校・園や、先生との関係づくりのこと



1 4) その他



【その他】（記述）

- ・言うことを聞かない。
- ・充実した家族の時間について。
- ・性教育。
- ・友達との距離感。
- ・両親以外、子供を預けられる人がいない。サポーターの少なさ。
- ・言葉づかい。
- ・時々、気持ちが落ち込み、学校をやめたいと言ったり、命をあきらめたりする時。

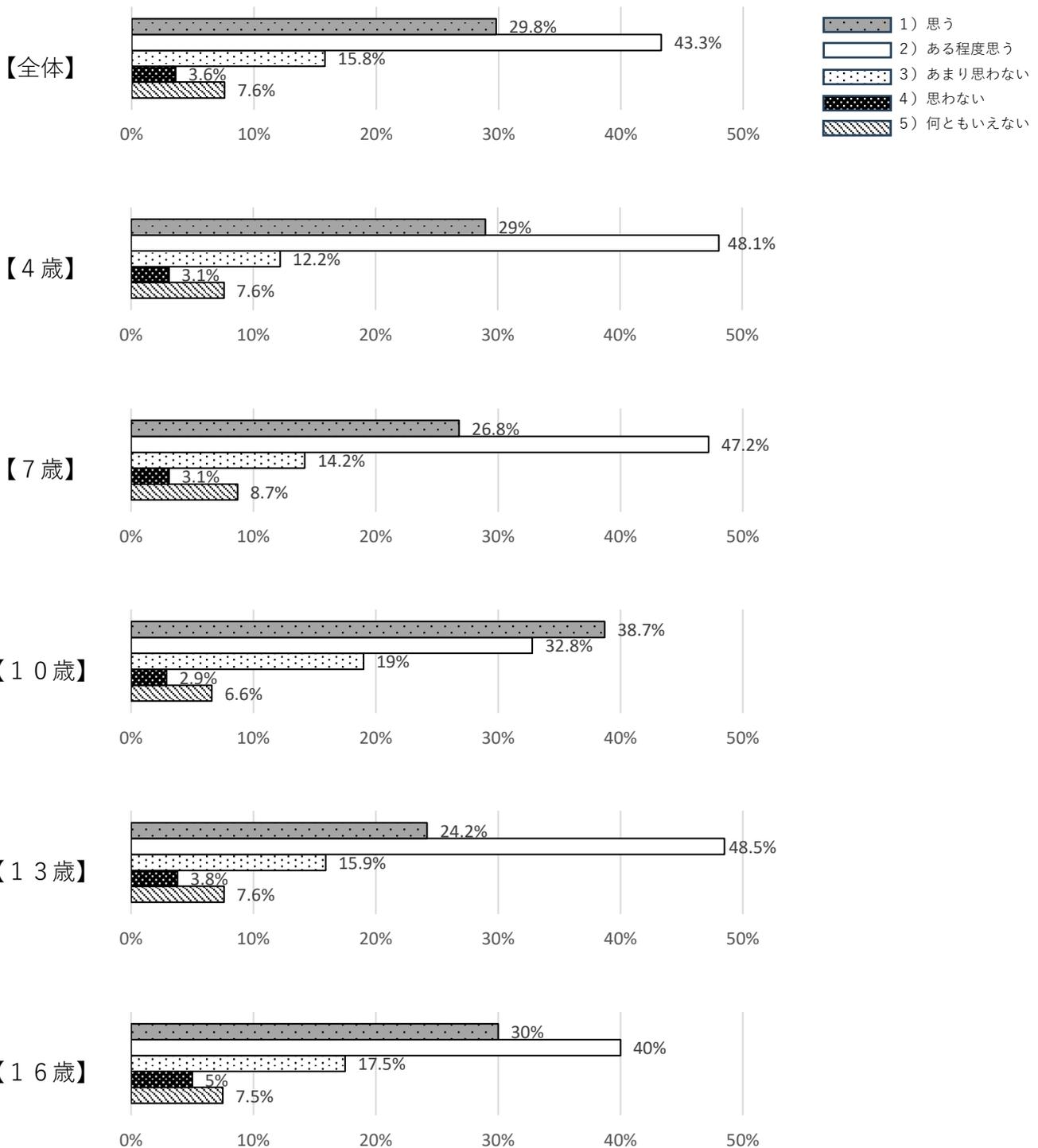
回答から見える特徴

- ・「性格や考え方、人との接し方等」、「テレビ・ゲーム・インターネットといった、メディアとの付き合い方等」については、どの年齢も悩みや不安を抱えている。
- ・幼稚園・保育所や小学校段階においては「子どものしつけ方や、マナー」に関する悩みや不安があり、中学校や高校と年齢が上がるにつれて「勉強や進学、将来の進路」に関する悩みや不安を抱える保護者の割合が高くなっている。

問5-1

あなたは、家庭教育について行政の支援は必要だと思いますか。

項目	回答数(人)	割合(%)
1)思う	193	29.8
2)ある程度思う	280	43.3
3)あまり思わない	102	15.8
4)思わない	23	3.6
5)何ともいえない	49	7.6
合計	647	100



問5-2

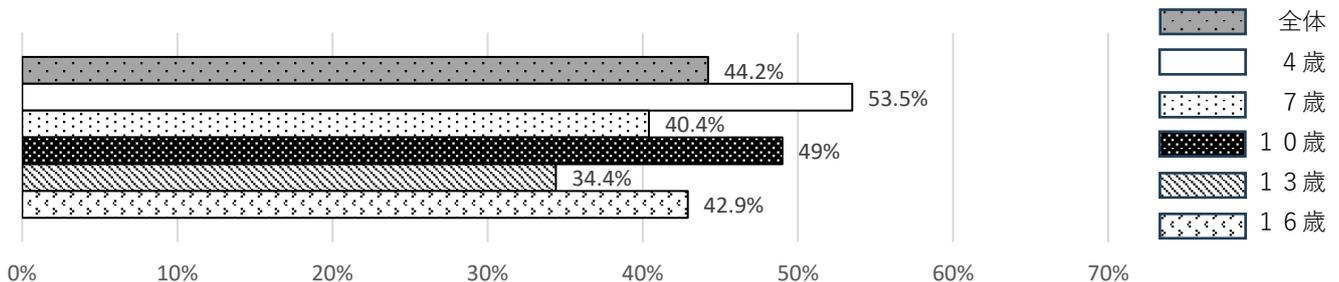
問5-1で1)または2)と答えた方にお聞きします。どのような支援が必要だと思いますか。

(複数回答可)

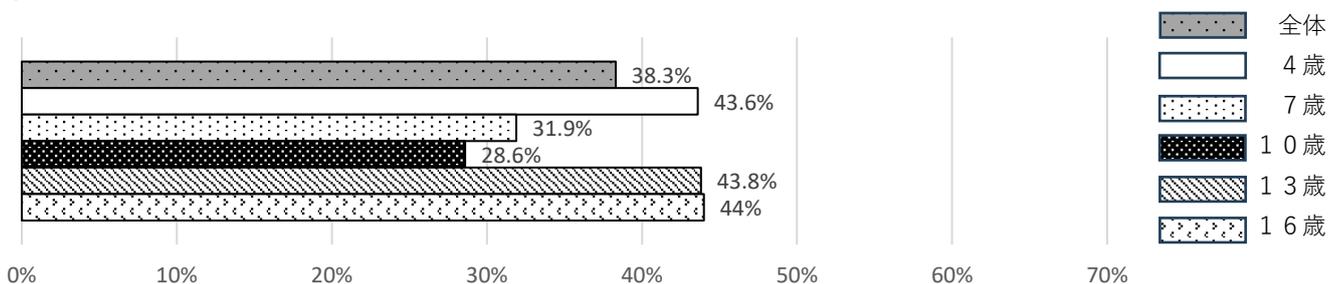
総回答者数：473人

項目	回答数(人)	割合(%)
1) 各種施設を開放する	209	44.2
2) 何でも気軽に相談できる場をつくる	181	38.3
3) 子どもの自由時間を充実させる	114	24.1
4) 社会環境の浄化に努める	86	18.2
5) 子育て等のサークル活動を充実させる	40	8.5
6) 子どもが参加できるグループをつくる	59	12.5
7) 子どもが日常的に集まれる場をつくる	203	42.9
8) 家庭では体験できない活動の場をつくる	234	49.5
9) 地域の人々が親しくなれる場や機会をつくる	65	13.7
10) 身近に相談できる人材を確保する	87	18.4
11) 家庭教育等の知識を習得できる機会を提供する	109	23.0
12) その他	21	4.4
合計	1408	

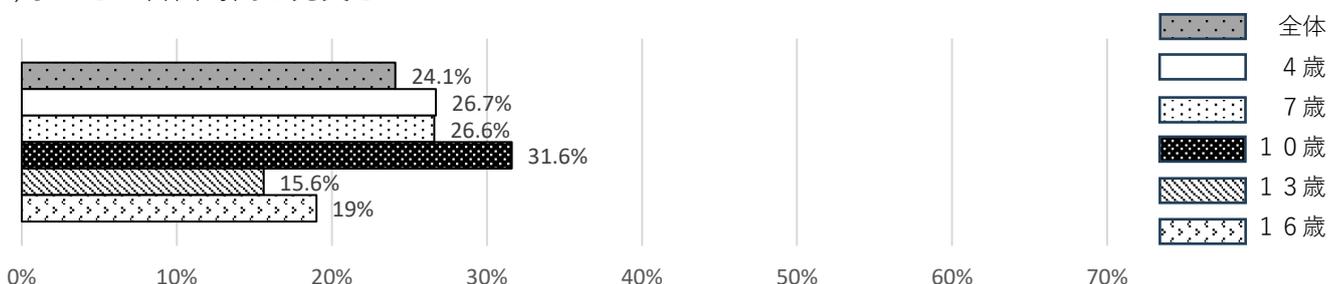
1)各種施設を開放する



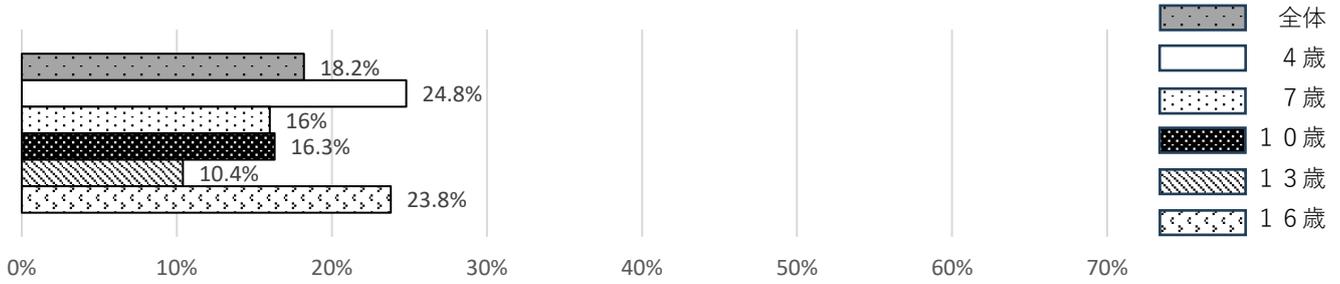
2)何でも気軽に相談できる場をつくる



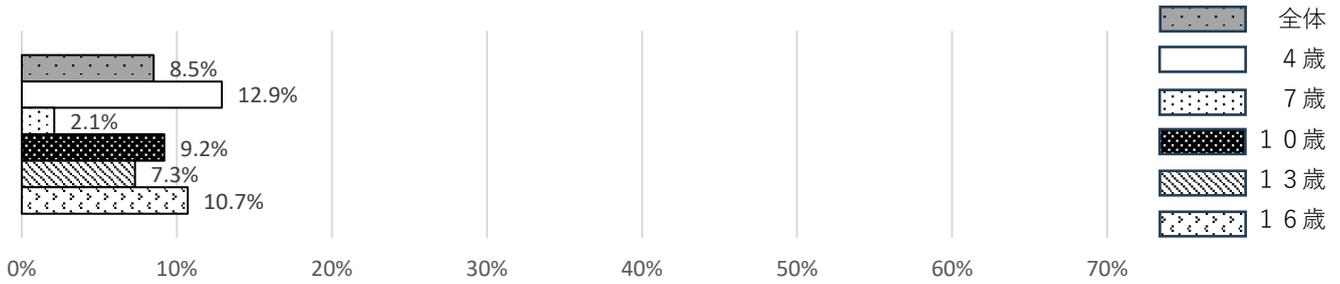
3)子どもの自由時間を充実させる



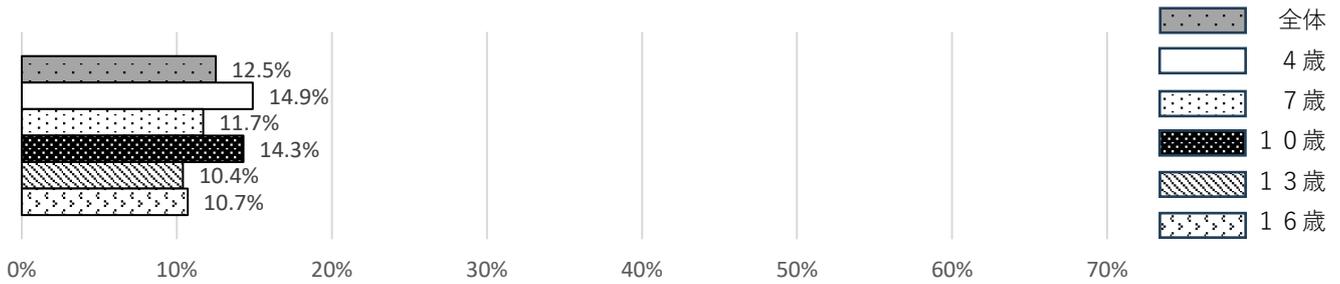
4)社会環境の浄化に努める



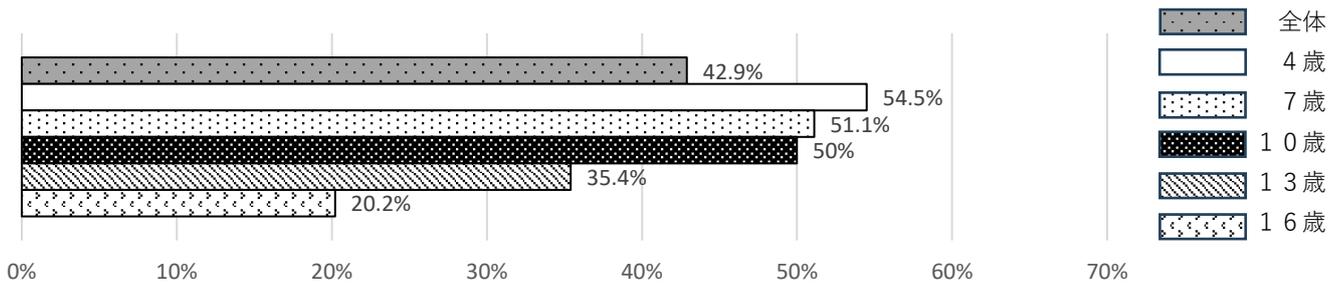
5)子育て等のサークル活動を充実させる



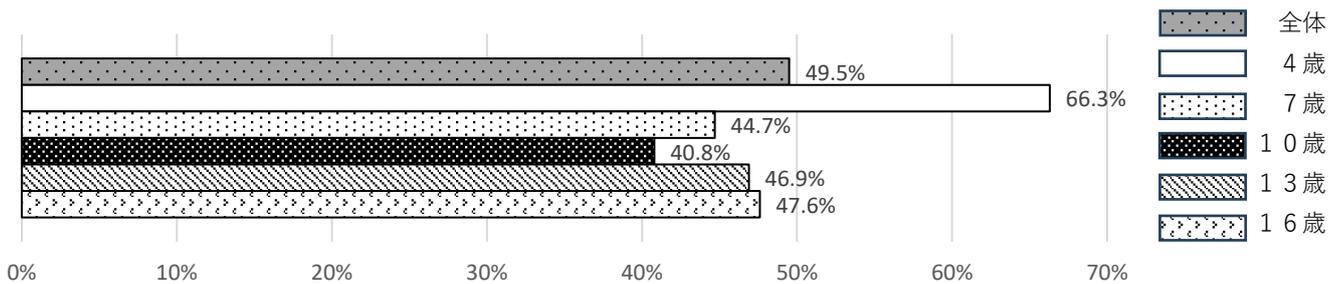
6)子どもが参加できるグループをつくる



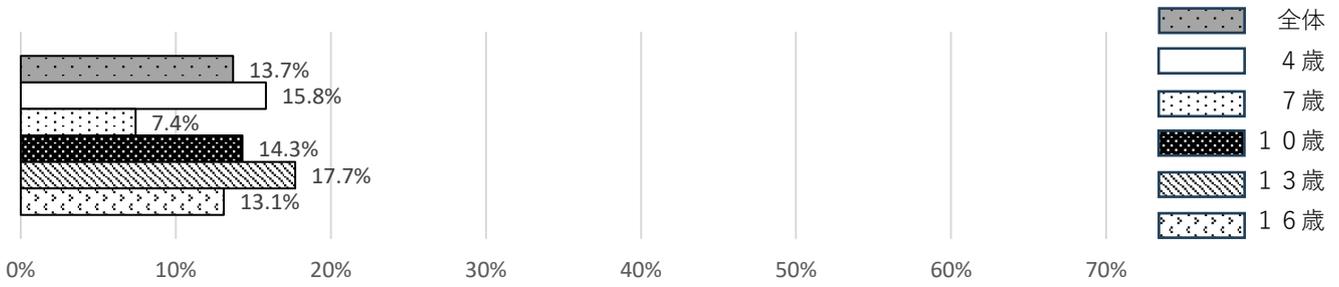
7)子どもが日常的に集まれる場をつくる



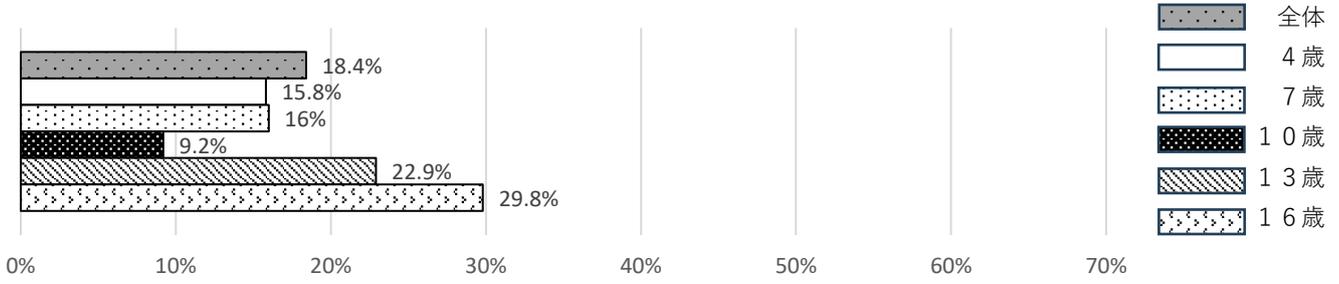
8)家庭では体験できない活動の場をつくる



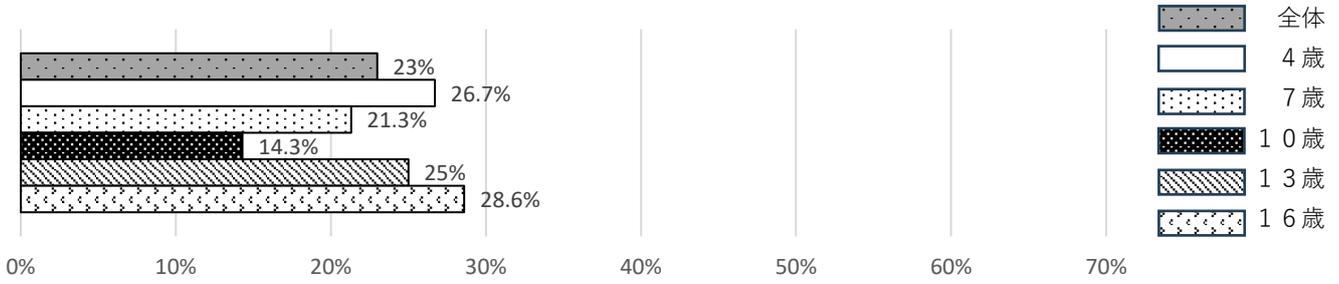
9)地域の人々が親しくなれる場や機会をつくる



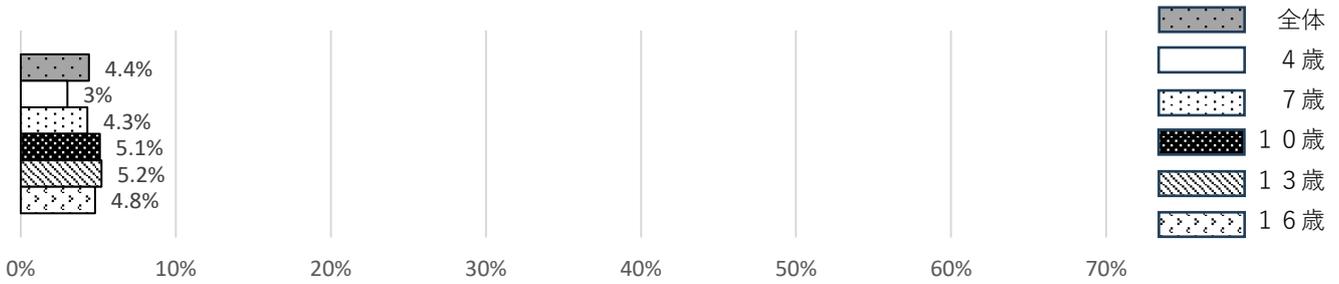
1 0)身近に相談できる人材を確保する



1 1)家庭教育等の知識を習得できる機会を提供する



1 2)その他



【その他】（記述）

- ・児童手当以外の給付金の配付。
- ・公園をもっと豊かに。
- ・バスによる送迎。
- ・人間的、技量的に教員が足りていない。
- ・家庭教師などの支援。
- ・子ども食堂を行きやすい場所に作ってほしい。
- ・経済的なこと。（2件）
- ・教育にかかるお金の支援、小さい子だけ支援するのはおかしい。
- ・共働き世帯が多く、家庭教育のサポートのために住んでいる地域で学習やスポーツに励める環境をつくる。子供が学びたいことを学べる環境をつくってほしい。
- ・夫婦共働きのため、部活動の参加等負担が多すぎる（特に運動部）。
- ・交通手段の確保。
- ・教育にかけるお金がない。
- ・子供がいると、だれかに子供をお願いできないと講演を聞いたり、人の話をゆっくり聞くことができないので、保育の場などもう少し気軽に利用できる所があればいいと思う。母親のリフレッシュタイムなども。
- ・具体的にはよく分からない。
- ・何をどこに相談出来るのかを教えてほしい。
- ・公園をつくる。
- ・育休などの徹底化と取りやすい企業支援。昔よりかは取りやすい時代といわれているのが現状、取れない企業も多い。（私の夫のように）結果、核家族だと母親が苦勞し、子どもへ割く時間が取りづらい。
- ・今の先生ではなく、前の先生に相談したい時、担任は変わり、先生方の異動もあつたりで、本人が相談したくてもできずにいる。
- ・お金の支援が必要です。お金がないと何もやらせてあげられません。
- ・塾や英会話などどこにどのような所があるか分からない。

回答から見える特徴

1) 7) 8) と自由記述から保護者が行政に求める支援は、子どもたちの体験や活動の場づくりと経済的な支援に分けられる。特に前者は、問1-3の回答に見られる傾向と同様に、地域に子どもたちが集まれる場づくりを行政に求めていると考えられる。

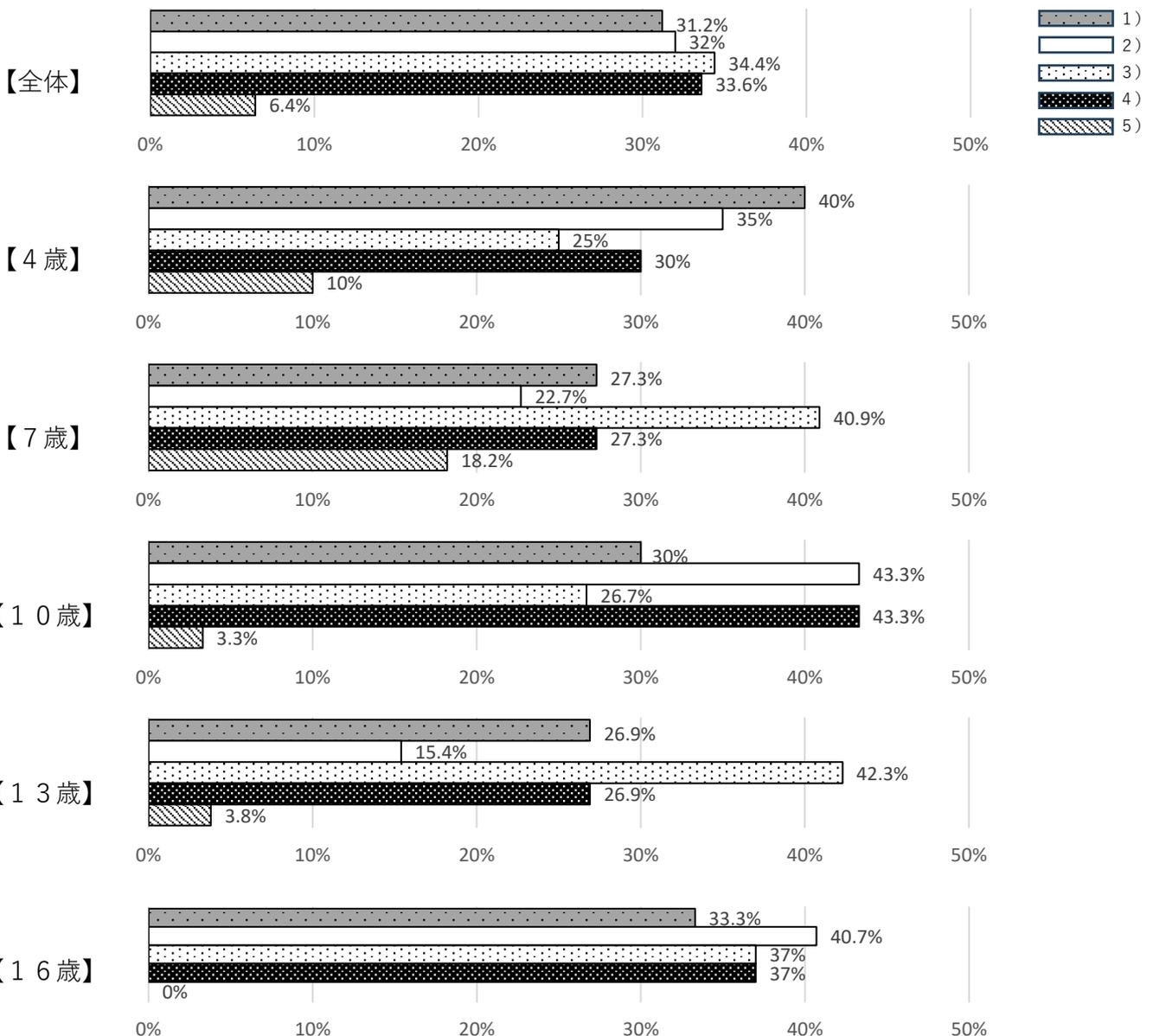
問5-3

問5-1で3)または4)と答えた方にお聞きします。支援が必要ないとする理由についてお教えてください。

(複数回答可)

総回答者数：125人

項目	回答数(人)	割合(%)
1) 家庭で行う教育に、行政はあまり関与すべきでない と考えるため	39	31.2
2) 育児書やインターネットが普及しており、親が自分で 情報を得られる時代であるため	40	32.0
3) 家庭教育支援よりも、他に優先して行うべき施策が あると考えるため	43	34.4
4) 行政で行う支援には、あまり効果が期待できないた め	42	33.6
5) その他	8	6.4
合計	172	



【その他】（記述）

- ・家庭で育てるべきことを他が代行しても子どもの育ちにつながらないと思うから。
- ・相談しても無駄だったと思う返答があったため。
- ・家庭教育に行政支援による画一化は必要ない考える。
- ・形式的な対応しかなく、「決まりだから」で終わられるため。
- ・子の教育・養育は親の責任であり、他に頼ることで親自身の自覚や覚悟が甘くなっていくと、それが次の世代へと負の連鎖になるのでは・・・、と思うから。
- ・よく分からないから。
- ・現状で学校や地域から十分な支援が受けられていると感じるため。
- ・身近なようで身近でない。分かりづらい。

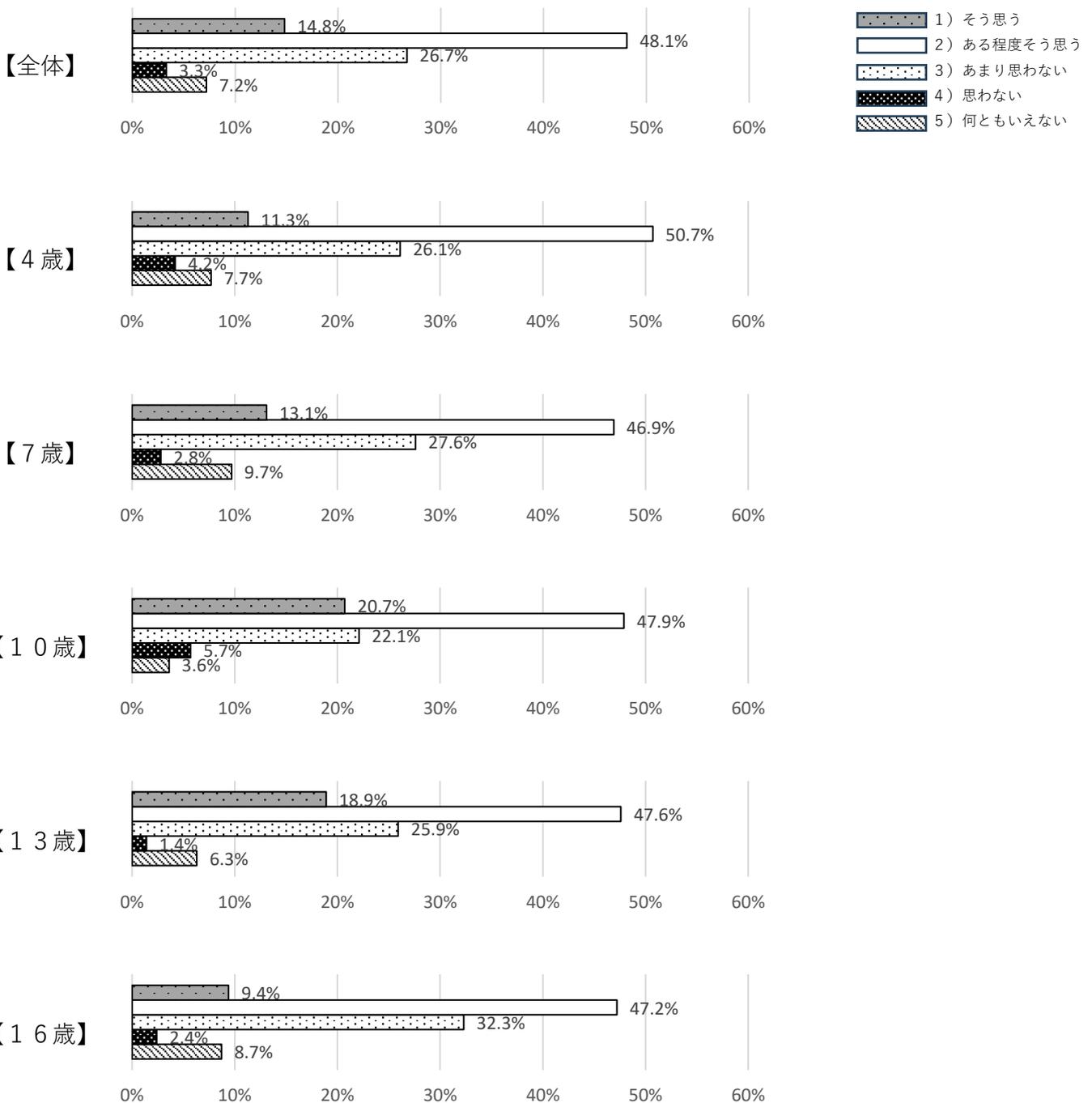
回答から見える特徴

家庭教育に行政はあまり関与すべきでないと考えている人は一定割合いるものの、行政がインターネット等で得られない有益な情報を発信したり、地域の実情を考慮した支援策を講じたりする必要があると考えられる。

問6-1

近年、「家庭の教育力が低下しているのではないか」という意見がありますが、あなたはどのように思いますか。

項目	回答数(人)	割合(%)
1) そう思う	103	14.8
2) ある程度そう思う	335	48.1
3) あまり思わない	186	26.7
4) 思わない	23	3.3
5) 何ともいえない	50	7.2
合計	697	100



問6-2

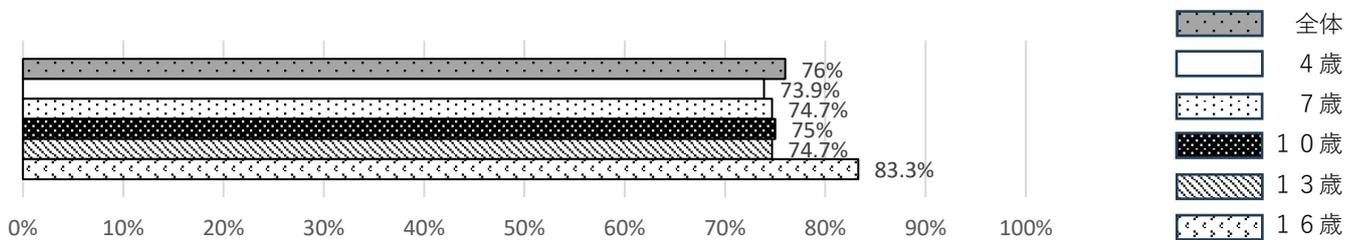
問6-1で1)または2)と答えた方にお聞きします。低下の理由について、いくつでも選んでください。

(複数回答可)

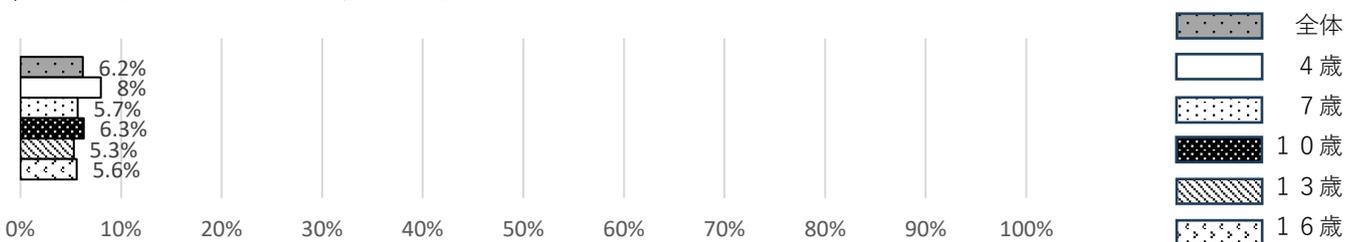
総回答者数：438人

項目	回答数(人)	割合(%)
1) テレビ・ゲーム・インターネットなどのメディアによる影響	333	76.0
2) 親に対する子どもの信頼感の低下	27	6.2
3) 親子がふれあい、一緒に行動する機会の不足	141	32.2
4) 子どもが親以外の大人(祖父母や近所の人)とふれあう機会の不足	123	28.1
5) 過保護、甘やかしすぎや過干渉な親の増加	184	42.0
6) しつけや教育に無関心な親の増加	128	29.2
7) しつけや教育に自信をもてない親や、やり方がわからない親の増加	148	33.8
8) しつけや教育について、悩んだ時に相談する相手や場が不足	83	18.9
9) 学校や塾など外部の教育機関に、しつけや教育を過度に依存する親の増加	96	21.9
10) 共働きの増加や長時間の勤務など、親の仕事の多忙化	291	66.4
11) 働く親の姿を知る機会の不足	46	10.5
12) わからない	4	0.9
13) その他	4	0.9
合計	1608	

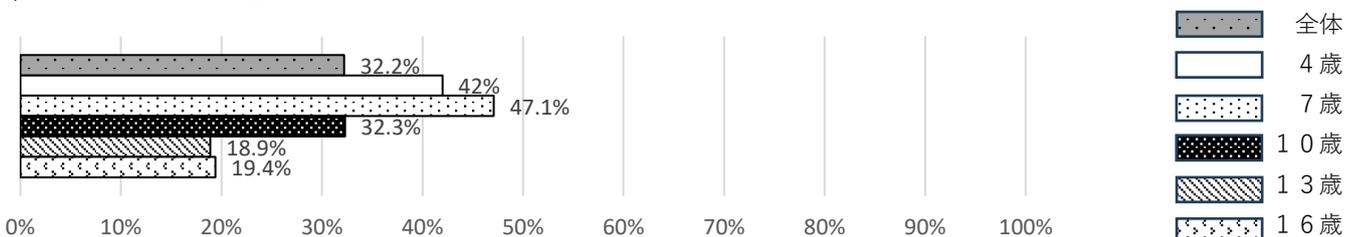
1) テレビ・ゲーム・インターネットなどのメディアによる影響



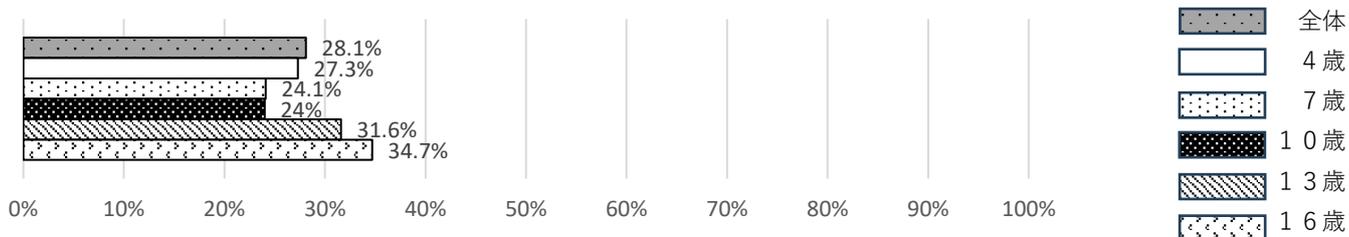
2) 親に対する子どもの信頼感の低下



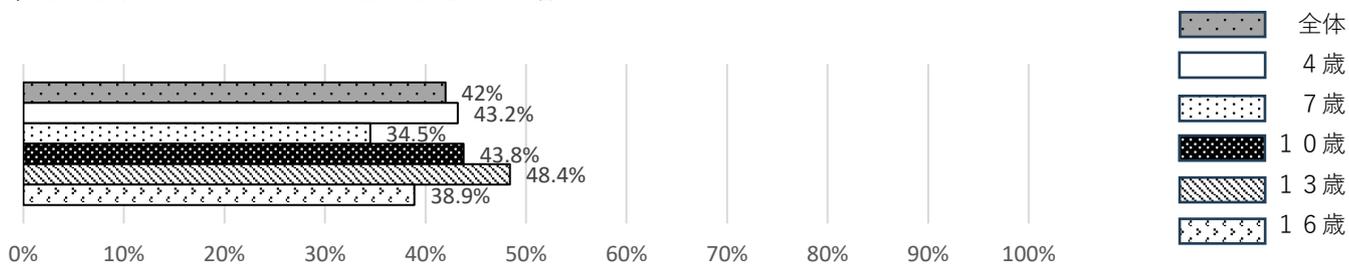
3) 親子がふれあい、一緒に行動する機会の不足



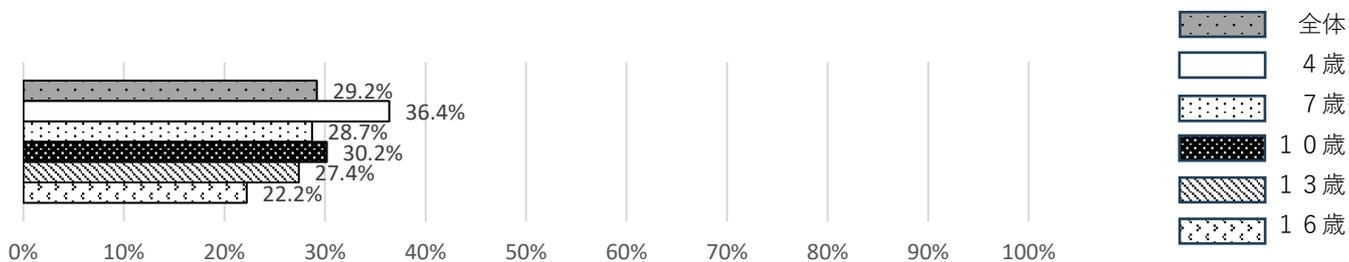
4)子どもが親以外の大人（祖父母や近所の人）とふれあう機会の不足



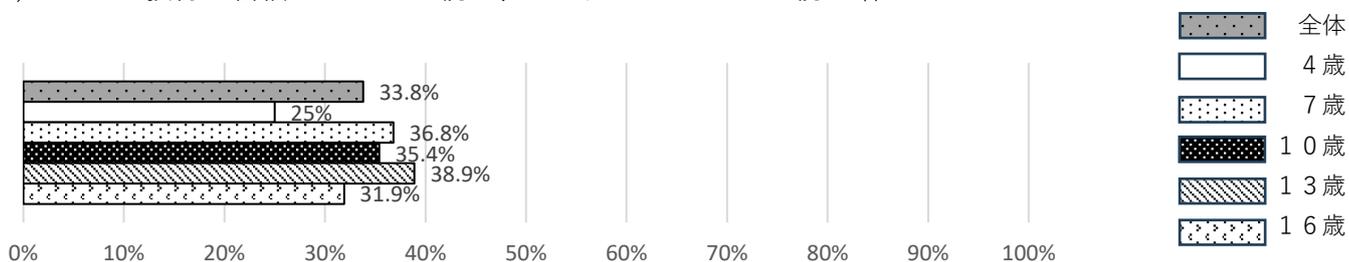
5)過保護、甘やかしすぎや過干渉な親の増加



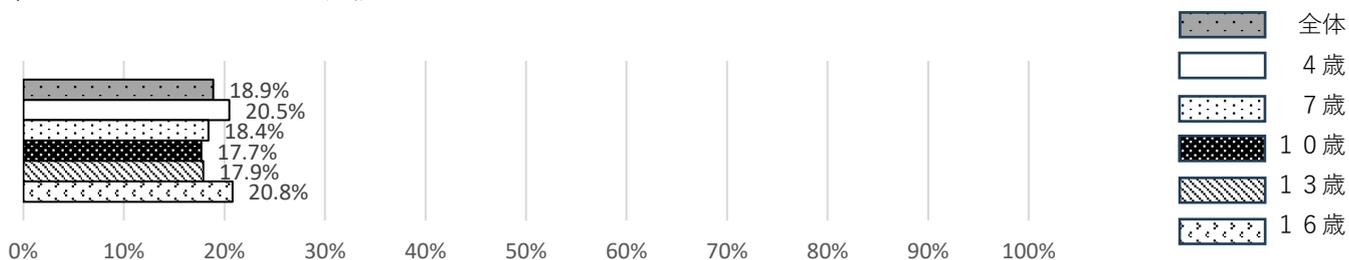
6)しつけや教育に無関心な親の増加



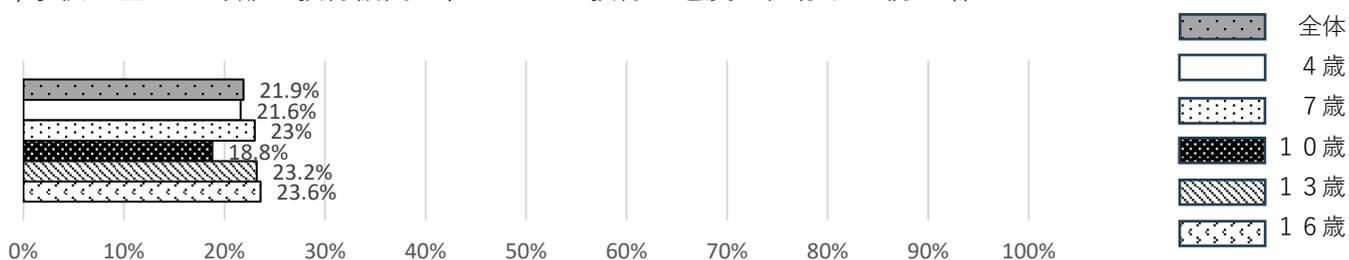
7)しつけや教育に自信をもてない親や、やり方がわからない親の増加



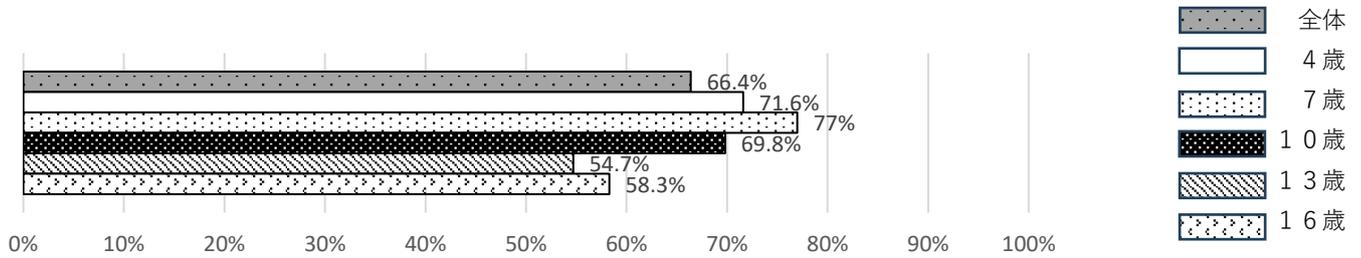
8)しつけや教育について、悩んだ時に相談する相手や場が不足



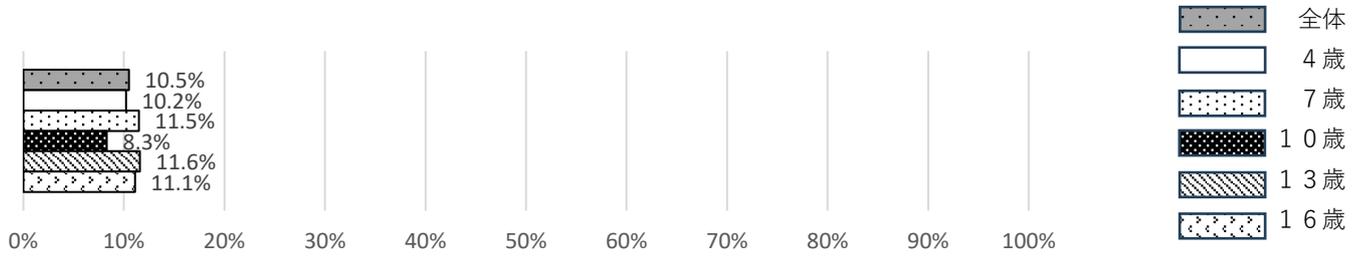
9)学校や塾など外部の教育機関に、しつけや教育を過度に依存する親の増加



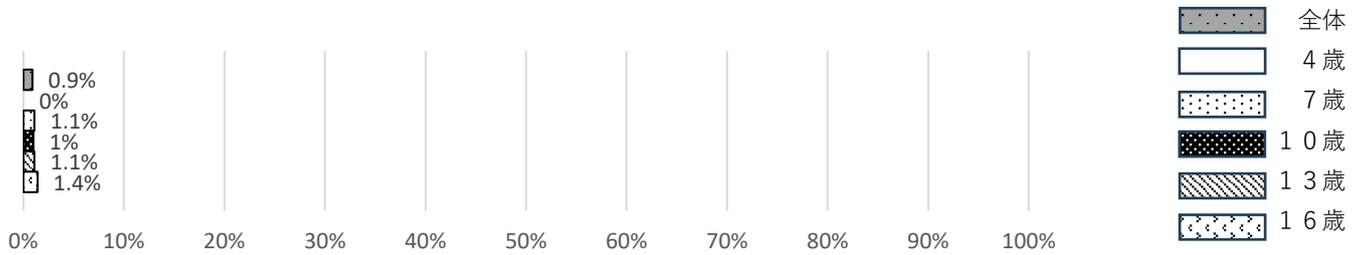
1 0) 共働きの増加や長時間の勤務など、親の仕事の多忙化



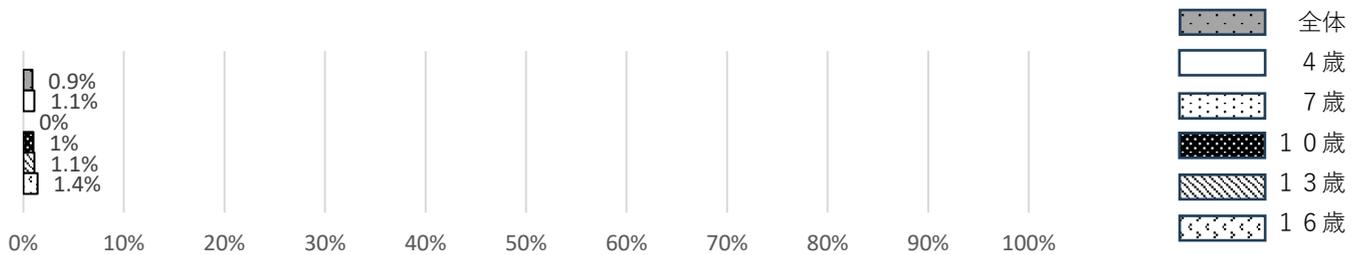
1 1) 働く親の姿を知る機会の不足



1 2) わからない



1 3) その他



【その他】（記述）

- ・子育てするための金銭面不安から共働きであり、夫婦関係、職場関係等々、人間関係の問題も含めて親が疲れている。親が元気でないために、子どもにまで心を向けられていない。余裕がない。休みは休みたい大人。子どもは動きたい。だからゲームに子どもを預ける。イライラしてくる子ども。それにつられてイライラする親。親子のコミュニケーションが修復しないうちに月曜が始まる。解決せずに深まる溝。教育面だけ改善しようとしても解決できないところまで来ているのではないでしょう。
- ・父と母など大人の方の考え方の不一致。
- ・より便利に、快適に、豊かになど表面的なことを追求することに力を注ぎ、人として大切なことは何かという、今の親世代の精神面の教育が充分になされてこなかった結果ではないだろうか。核家族化の影響もあると思う。
- ・仕事・学校・クラブチームの部活など日々多忙。

回答から見える特徴

1) 10) の割合が高いことは、現代社会においてゲームやインターネットなどは欠かせない存在であり、保護者としては望ましい使い方を子どもに教えたいものの、仕事の多忙化などで対応が難しくなっていることを示唆していると考えられる。

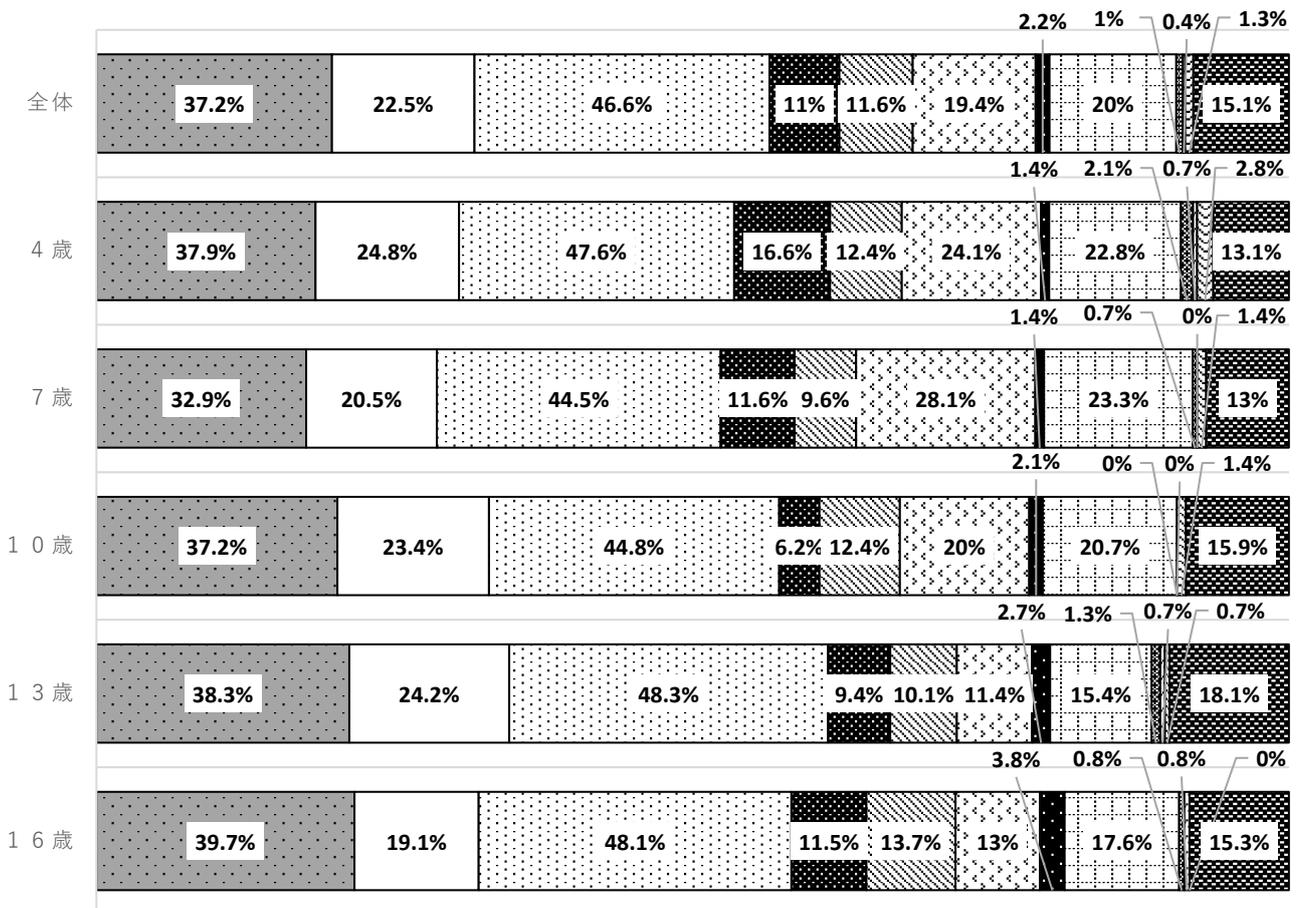
問7 (1)

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから(または誰から)得ていますか。(3つまで回答可)

1)早寝早起きなどの生活習慣

総回答者数：716人

項目	回答数(人)	割合(%)
あ) 夫や妻	266	37.2
い) 友人、知人	161	22.5
う) 祖父母、親族	334	46.6
え) 育児雑誌、書籍	79	11.0
お) 新聞、テレビ、ラジオ	83	11.6
か) インターネット	139	19.4
き) 各種講座、研修会、講演会	16	2.2
く) 学校(園)、教職員、PTA	143	20.0
け) 市町村の広報紙、回覧板	7	1.0
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	3	0.4
さ) パンフレットなどの公的発行物	9	1.3
し) 情報を得ていない	108	15.1
合計	1348	



- あ) 夫や妻
- い) 友人、知人
- う) 祖父母、親族
- え) 育児雑誌、書籍
- お) 新聞、テレビ、ラジオ
- か) インターネット
- き) 各種講座、研修会、講演会
- く) 学校(園)、教職員、PTA
- け) 市町村の広報紙、回覧板
- こ) 役場の窓口、公民館など公的機関
- さ) パンフレットなどの公的発行物
- し) 情報を得ていない

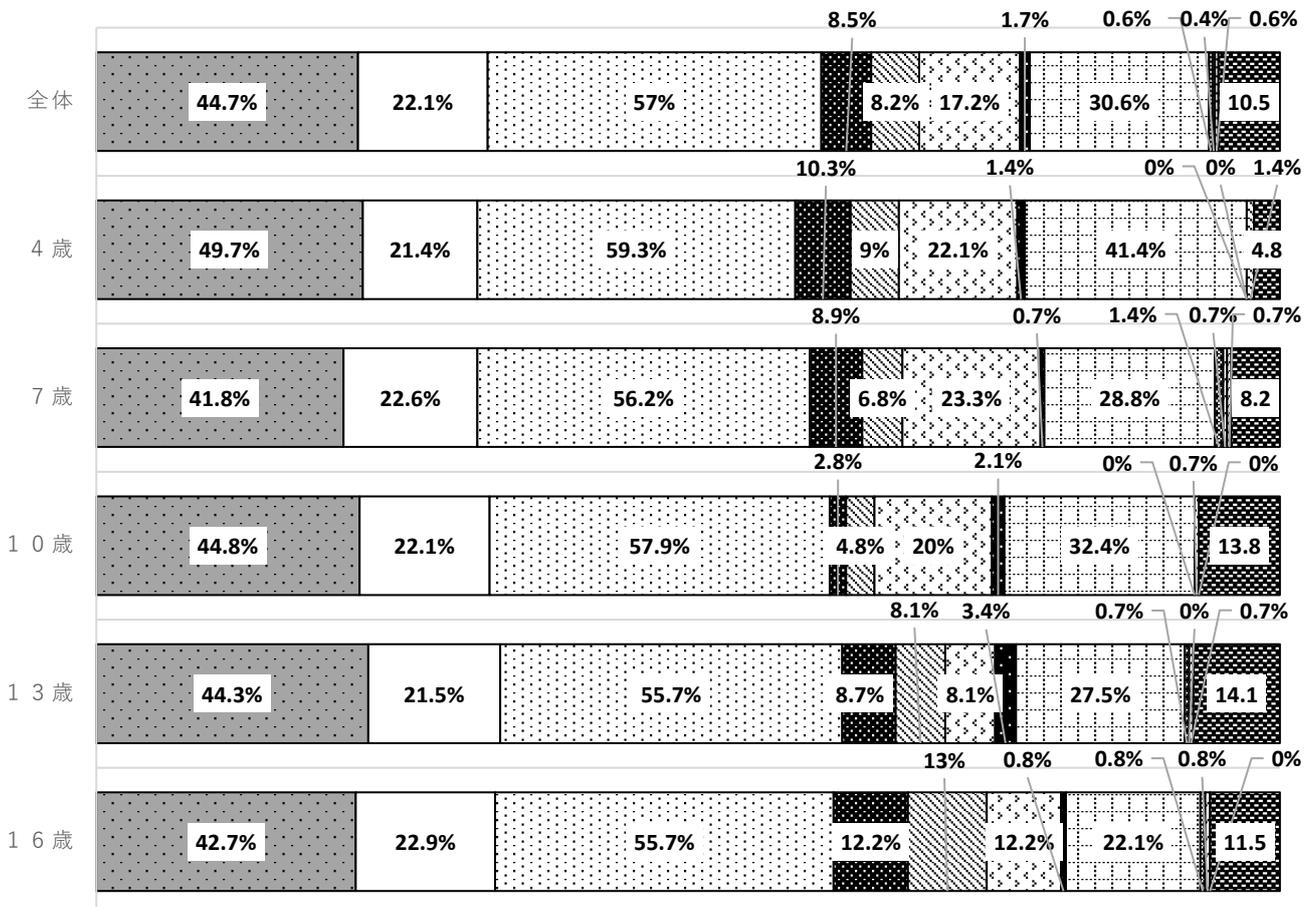
問7 (2)

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから(または誰から)得ていますか。(3つまで回答可)

2)あいさつやしつけ、マナー

総回答者数：716人

項目	回答数(人)	割合(%)
あ) 夫や妻	320	44.7
い) 友人、知人	158	22.1
う) 祖父母、親族	408	57.0
え) 育児雑誌、書籍	61	8.5
お) 新聞、テレビ、ラジオ	59	8.2
か) インターネット	123	17.2
き) 各種講座、研修会、講演会	12	1.7
く) 学校(園)、教職員、PTA	219	30.6
け) 市町村の広報紙、回覧板	4	0.6
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	3	0.4
さ) パンフレットなどの公的発行物	4	0.6
し) 情報を得ていない	75	10.5
合計	1446	



- あ) 夫や妻
- い) 友人、知人
- う) 祖父母、親族
- え) 育児雑誌、書籍
- お) 新聞、テレビ、ラジオ
- か) インターネット
- き) 各種講座、研修会、講演会
- く) 学校(園)、教職員、PTA
- け) 市町村の広報紙、回覧板
- こ) 役場の窓口、公民館など公的機関
- さ) パンフレットなどの公的発行物
- し) 情報を得ていない

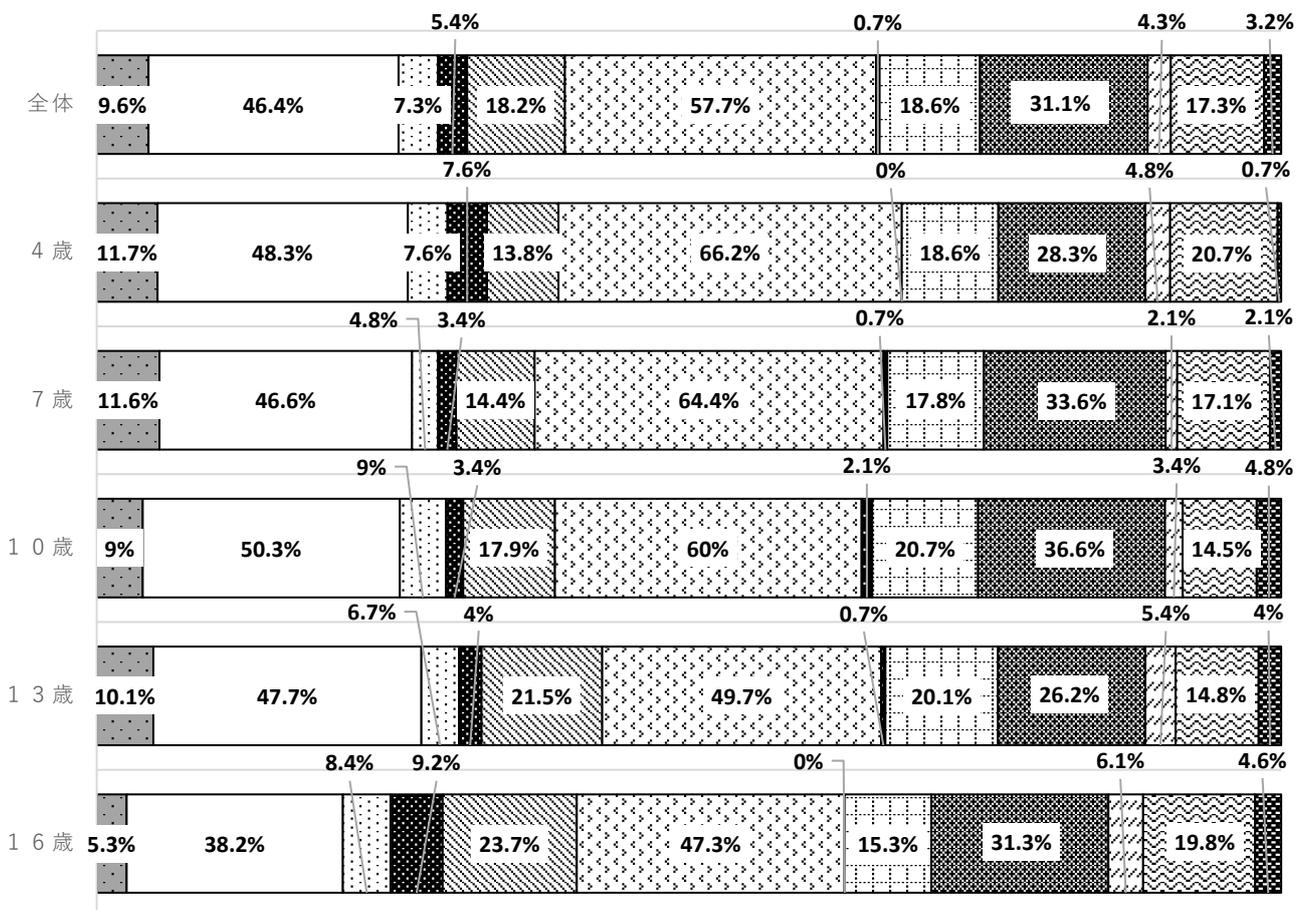
問7 (3)

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから(または誰から)得ていますか。(3つまで回答可)

3)遊び場や子育て施設の情報

総回答者数：716人

項目	回答数(人)	割合(%)
あ) 夫や妻	69	9.6
い) 友人、知人	332	46.4
う) 祖父母、親族	52	7.3
え) 育児雑誌、書籍	39	5.4
お) 新聞、テレビ、ラジオ	130	18.2
か) インターネット	413	57.7
き) 各種講座、研修会、講演会	5	0.7
く) 学校(園)、教職員、PTA	133	18.6
け) 市町村の広報紙、回覧板	223	31.1
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	31	4.3
さ) パンフレットなどの公的発行物	124	17.3
し) 情報を得ていない	23	3.2
合計	1574	



- あ) 夫や妻
- い) 友人、知人
- う) 祖父母、親族
- え) 育児雑誌、書籍
- お) 新聞、テレビ、ラジオ
- か) インターネット
- き) 各種講座、研修会、講演会
- く) 学校(園)、教職員、PTA
- け) 市町村の広報紙、回覧板
- こ) 役場の窓口、公民館など公的機関
- さ) パンフレットなどの公的発行物
- し) 情報を得ていない

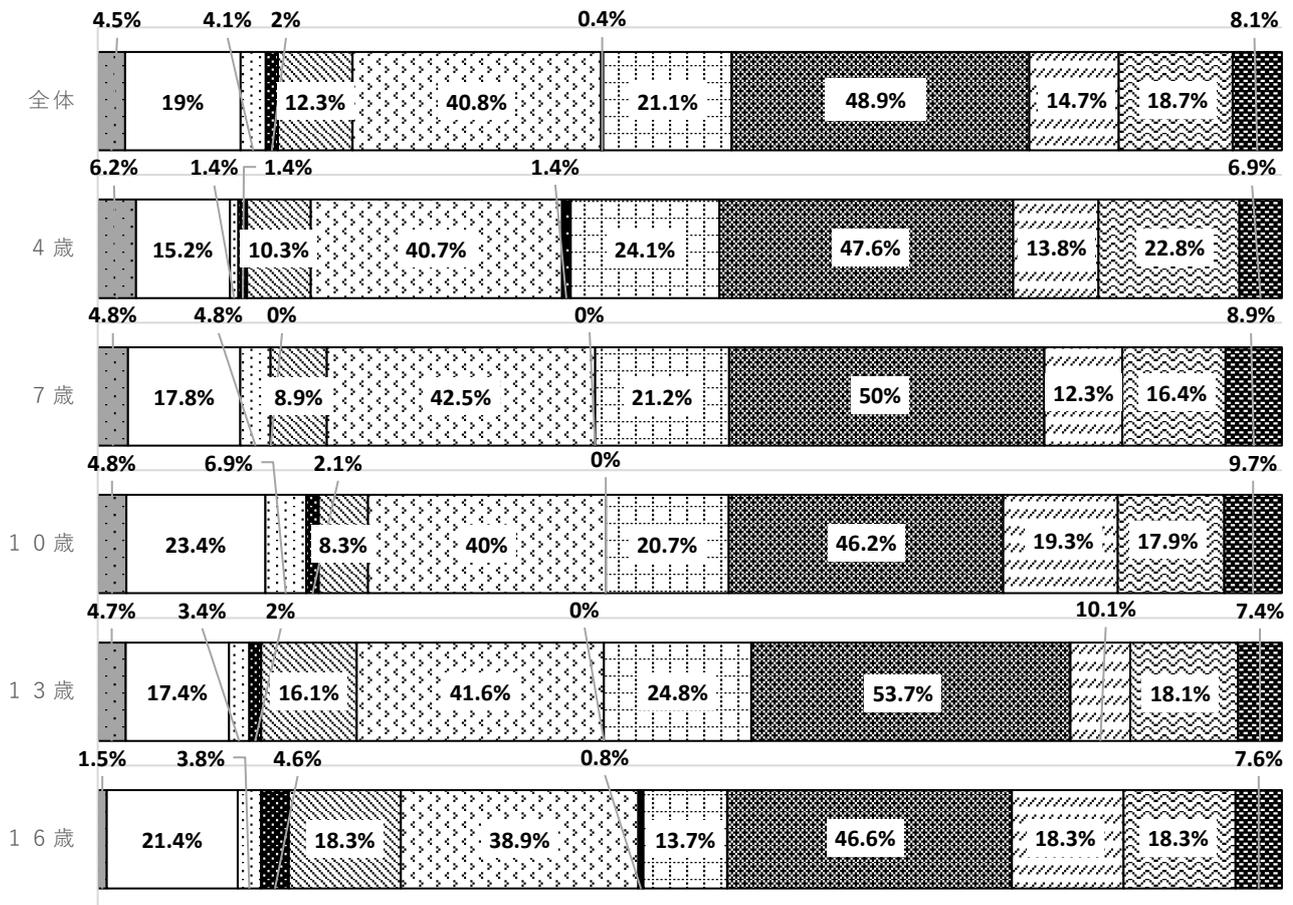
問7 (4)

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから(または誰から)得ていますか。(3つまで回答可)

4)各種行政サービスの情報

総回答者数：716人

項目	回答数(人)	割合(%)
あ) 夫や妻	32	4.5
い) 友人、知人	136	19.0
う) 祖父母、親族	29	4.1
え) 育児雑誌、書籍	14	2.0
お) 新聞、テレビ、ラジオ	88	12.3
か) インターネット	292	40.8
き) 各種講座、研修会、講演会	3	0.4
く) 学校(園)、教職員、PTA	151	21.1
け) 市町村の広報紙、回覧板	350	48.9
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	105	14.7
さ) パンフレットなどの公的発行物	134	18.7
し) 情報を得ていない	58	8.1
合計	1392	



- あ) 夫や妻
- い) 友人、知人
- う) 祖父母、親族
- え) 育児雑誌、書籍
- お) 新聞、テレビ、ラジオ
- か) インターネット
- き) 各種講座、研修会、講演会
- く) 学校(園)、教職員、PTA
- け) 市町村の広報紙、回覧板
- こ) 役場の窓口、公民館など公的機関
- さ) パンフレットなどの公的発行物
- し) 情報を得ていない

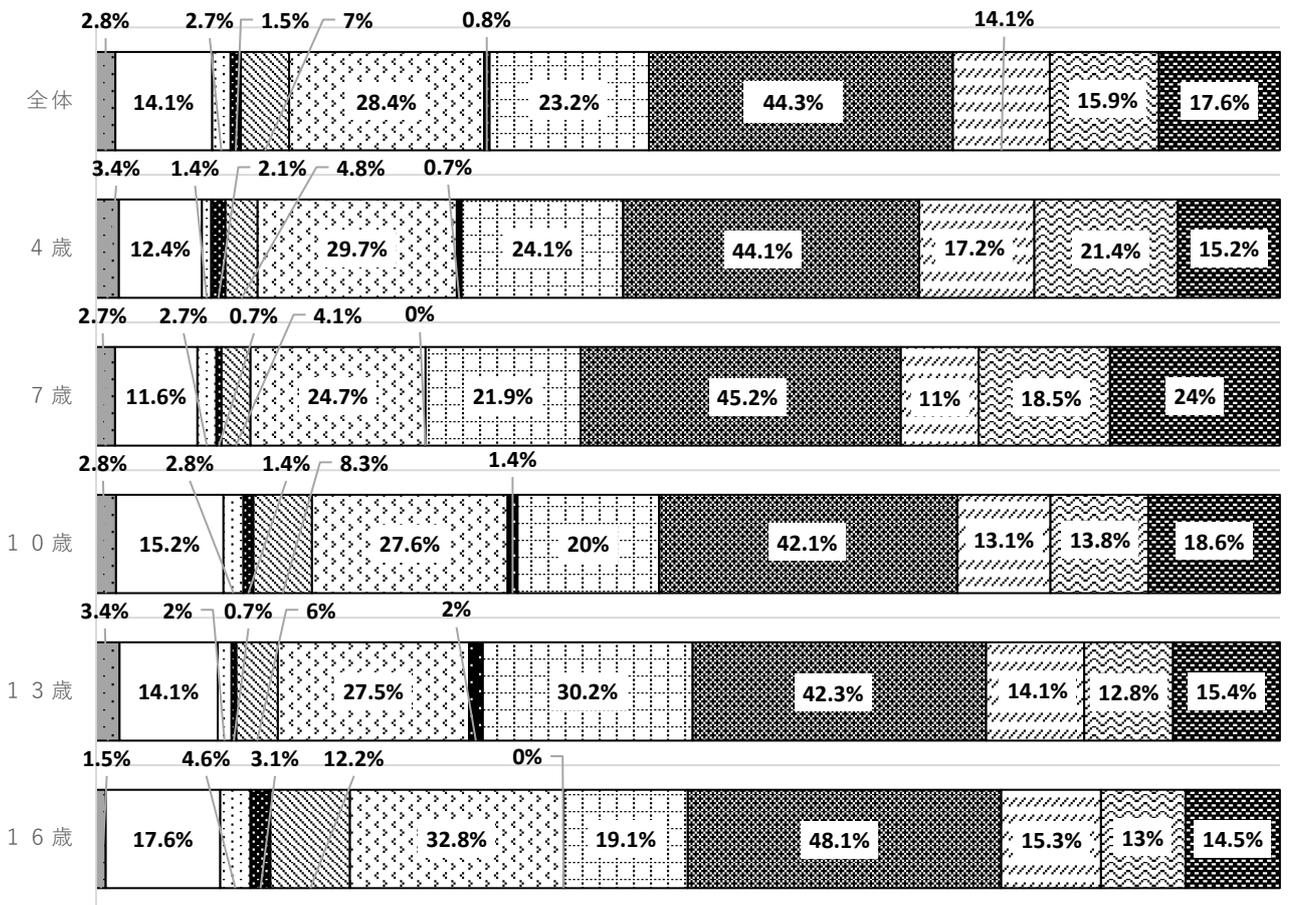
問7 (5)

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから(または誰から)得ていますか。(3つまで回答可)

5)相談窓口やサークルの情報

総回答者数：716人

項目	回答数(人)	割合(%)
あ) 夫や妻	20	2.8
い) 友人、知人	101	14.1
う) 祖父母、親族	19	2.7
え) 育児雑誌、書籍	11	1.5
お) 新聞、テレビ、ラジオ	50	7.0
か) インターネット	203	28.4
き) 各種講座、研修会、講演会	6	0.8
く) 学校(園)、教職員、PTA	166	23.2
け) 市町村の広報紙、回覧板	317	44.3
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	101	14.1
さ) パンフレットなどの公的発行物	114	15.9
し) 情報を得ていない	126	17.6
合計	1234	



- あ) 夫や妻
- い) 友人、知人
- う) 祖父母、親族
- え) 育児雑誌、書籍
- お) 新聞、テレビ、ラジオ
- か) インターネット
- き) 各種講座、研修会、講演会
- く) 学校(園)、教職員、PTA
- け) 市町村の広報紙、回覧板
- こ) 役場の窓口、公民館など公的機関
- さ) パンフレットなどの公的発行物
- し) 情報を得ていない

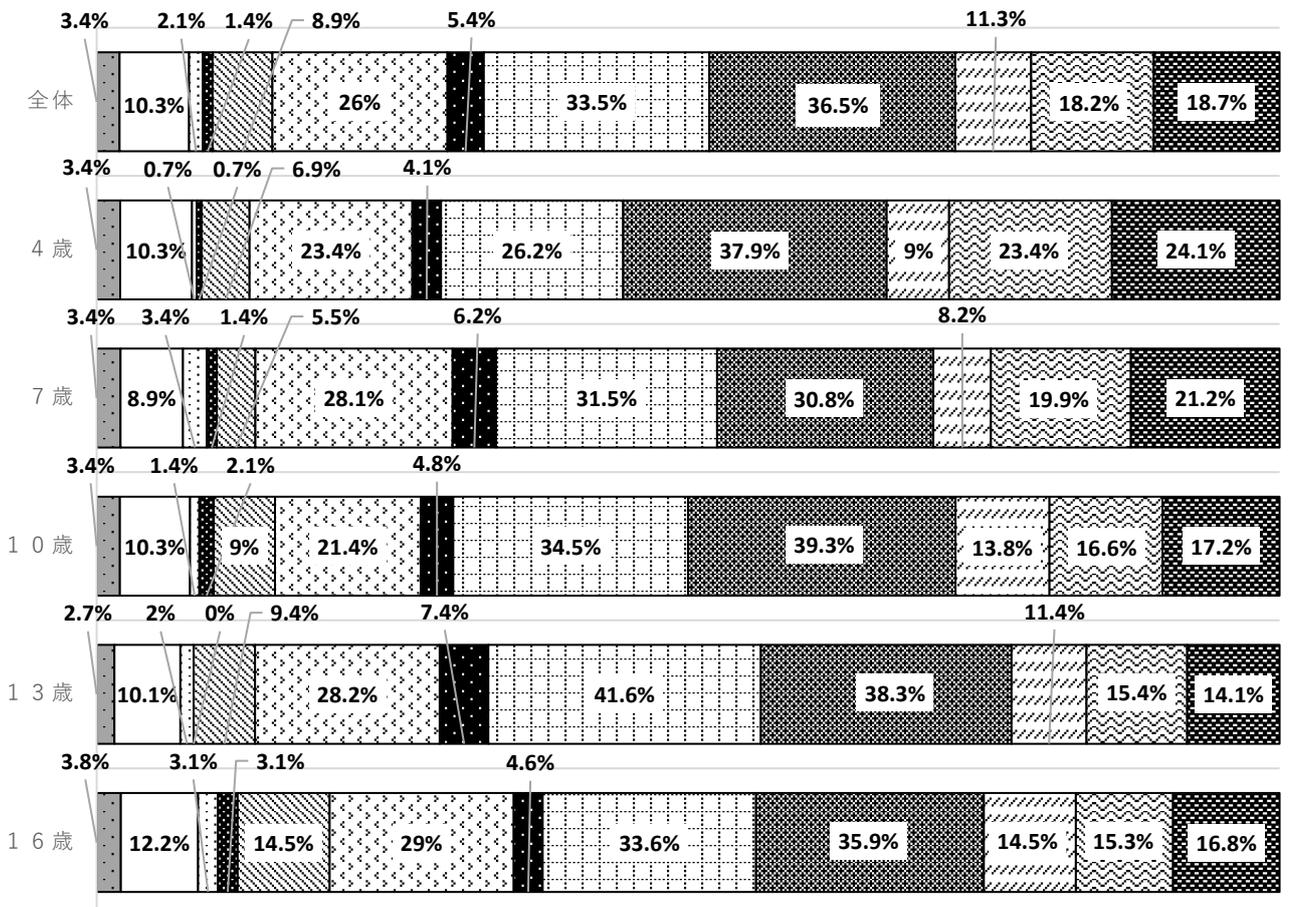
問7 (6)

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから(または誰から)得ていますか。(3つまで回答可)

6) 講座や研修会などの学習機会

総回答者数：716人

項目	回答数(人)	割合(%)
あ) 夫や妻	24	3.4
い) 友人、知人	74	10.3
う) 祖父母、親族	15	2.1
え) 育児雑誌、書籍	10	1.4
お) 新聞、テレビ、ラジオ	64	8.9
か) インターネット	186	26.0
き) 各種講座、研修会、講演会	39	5.4
く) 学校(園)、教職員、PTA	240	33.5
け) 市町村の広報紙、回覧板	261	36.5
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	81	11.3
さ) パンフレットなどの公的発行物	130	18.2
し) 情報を得ていない	134	18.7
合計	1258	



- あ) 夫や妻
- い) 友人、知人
- う) 祖父母、親族
- え) 育児雑誌、書籍
- お) 新聞、テレビ、ラジオ
- か) インターネット
- き) 各種講座、研修会、講演会
- く) 学校(園)、教職員、PTA
- け) 市町村の広報紙、回覧板
- こ) 役場の窓口、公民館など公的機関
- さ) パンフレットなどの公的発行物
- し) 情報を得ていない

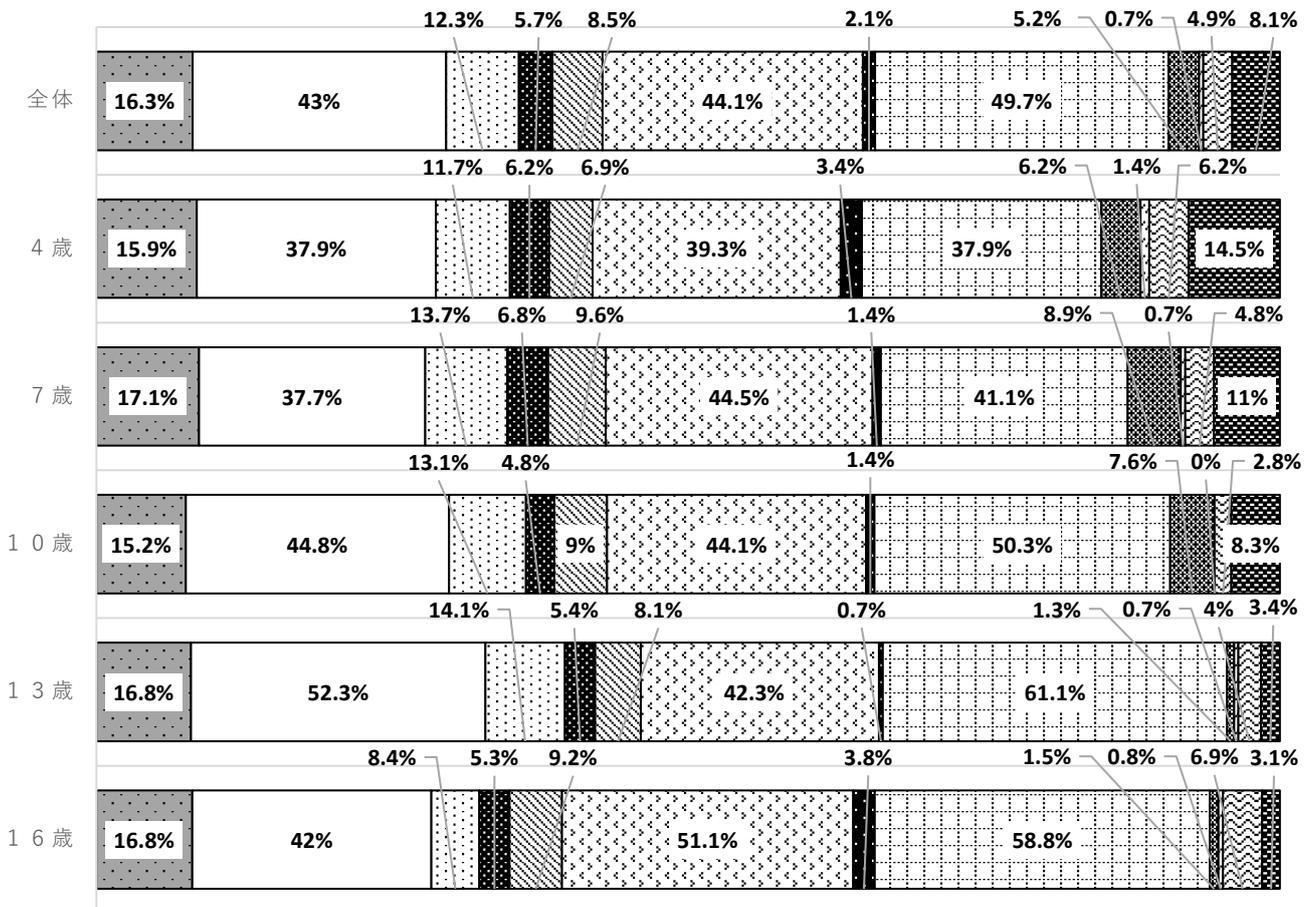
問7 (7)

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから(または誰から)得ていますか。(3つまで回答可)

7)勉強、進学、進路

総回答者数：716人

項目	回答数(人)	割合(%)
あ) 夫や妻	117	16.3
い) 友人、知人	308	43.0
う) 祖父母、親族	88	12.3
え) 育児雑誌、書籍	41	5.7
お) 新聞、テレビ、ラジオ	61	8.5
か) インターネット	316	44.1
き) 各種講座、研修会、講演会	15	2.1
く) 学校(園)、教職員、PTA	356	49.7
け) 市町村の広報紙、回覧板	37	5.2
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	5	0.7
さ) パンフレットなどの公的発行物	35	4.9
し) 情報を得ていない	58	8.1
合計	1437	



- あ) 夫や妻
- い) 友人、知人
- う) 祖父母、親族
- え) 育児雑誌、書籍
- お) 新聞、テレビ、ラジオ
- か) インターネット
- き) 各種講座、研修会、講演会
- く) 学校(園)、教職員、PTA
- け) 市町村の広報紙、回覧板
- こ) 役場の窓口、公民館など公的機関
- さ) パンフレットなどの公的発行物
- し) 情報を得ていない

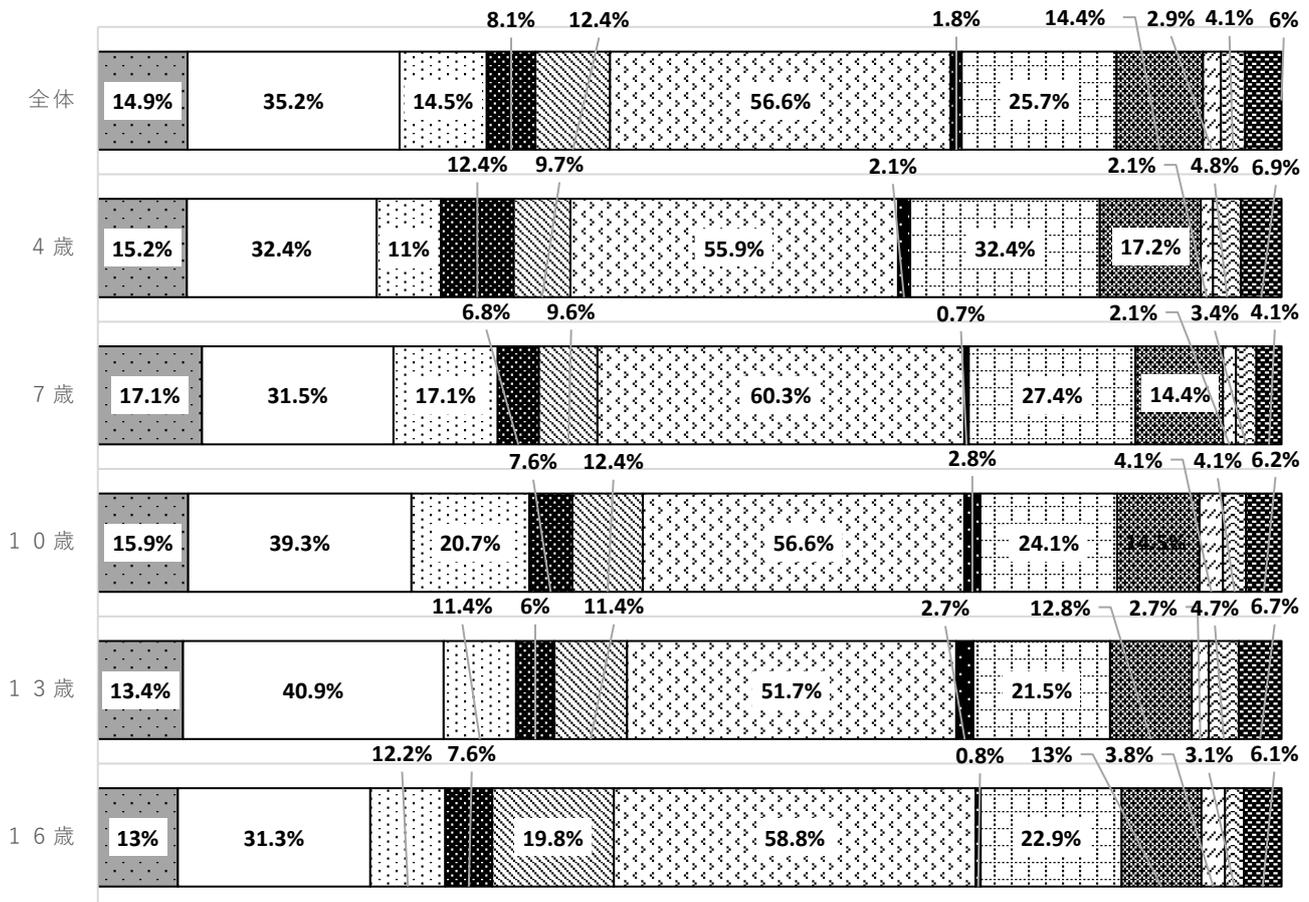
問7 (8)

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから(または誰から)得ていますか。(3つまで回答可)

8)子どもの健康や体力、医療

総回答者数：716人

項目	回答数(人)	割合(%)
あ) 夫や妻	107	14.9
い) 友人、知人	252	35.2
う) 祖父母、親族	104	14.5
え) 育児雑誌、書籍	58	8.1
お) 新聞、テレビ、ラジオ	89	12.4
か) インターネット	405	56.6
き) 各種講座、研修会、講演会	13	1.8
く) 学校(園)、教職員、PTA	184	25.7
け) 市町村の広報紙、回覧板	103	14.4
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	21	2.9
さ) パンフレットなどの公的発行物	29	4.1
し) 情報を得ていない	43	6.0
合計	1408	



- あ) 夫や妻
- い) 友人、知人
- う) 祖父母、親族
- え) 育児雑誌、書籍
- お) 新聞、テレビ、ラジオ
- か) インターネット
- き) 各種講座、研修会、講演会
- く) 学校(園)、教職員、PTA
- け) 市町村の広報紙、回覧板
- こ) 役場の窓口、公民館など公的機関
- さ) パンフレットなどの公的発行物
- し) 情報を得ていない

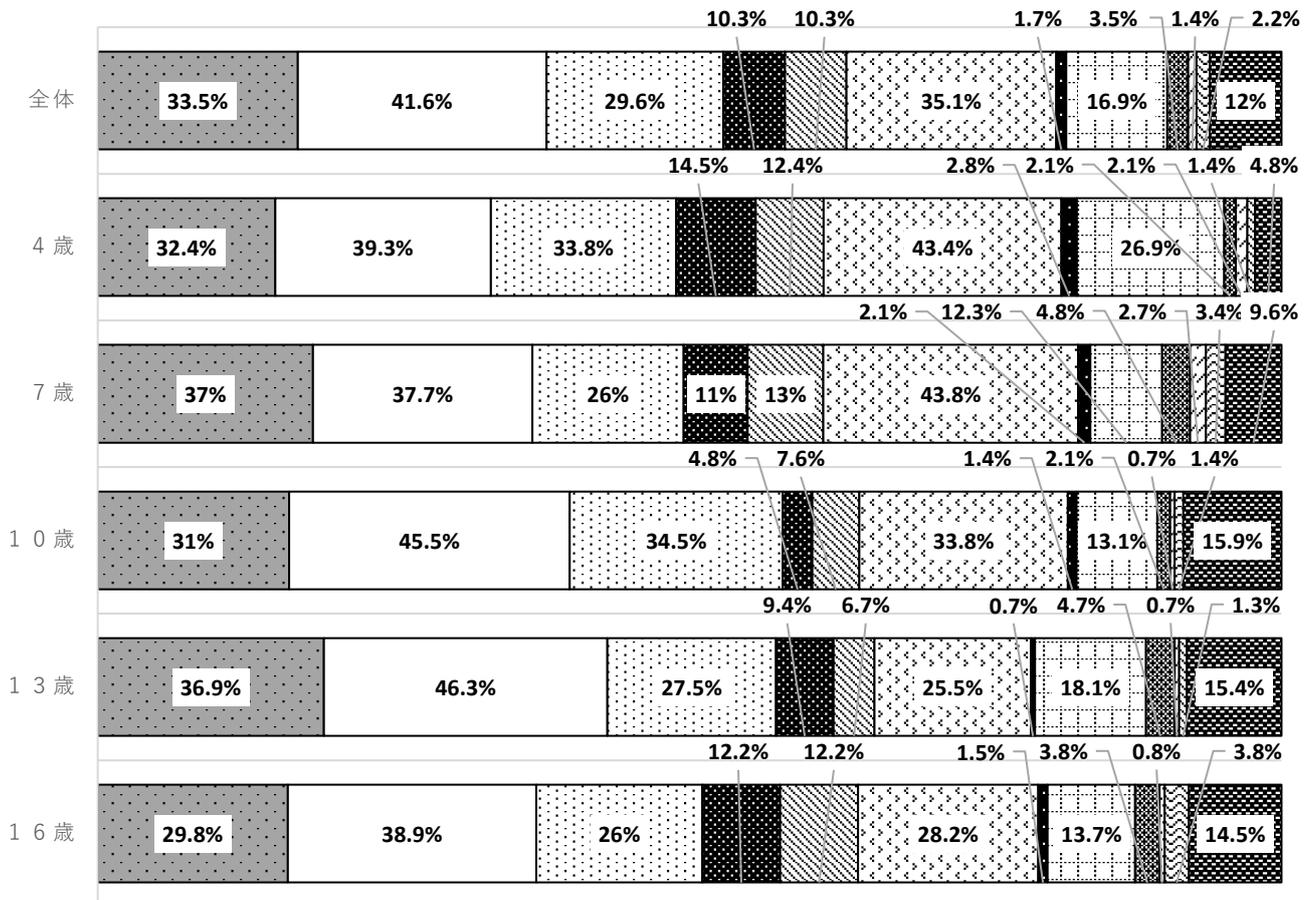
問7 (9)

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから(または誰から)得ていますか。(3つまで回答可)

9)子どもとのコミュニケーション

総回答者数：716人

項目	回答数(人)	割合(%)
あ) 夫や妻	240	33.5
い) 友人、知人	298	41.6
う) 祖父母、親族	212	29.6
え) 育児雑誌、書籍	74	10.3
お) 新聞、テレビ、ラジオ	74	10.3
か) インターネット	251	35.1
き) 各種講座、研修会、講演会	12	1.7
く) 学校(園)、教職員、PTA	121	16.9
け) 市町村の広報紙、回覧板	25	3.5
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	10	1.4
さ) パンフレットなどの公的発行物	16	2.2
し) 情報を得ていない	86	12.0
合計	1419	



- あ) 夫や妻
- い) 友人、知人
- う) 祖父母、親族
- え) 育児雑誌、書籍
- お) 新聞、テレビ、ラジオ
- か) インターネット
- き) 各種講座、研修会、講演会
- く) 学校(園)、教職員、PTA
- け) 市町村の広報紙、回覧板
- こ) 役場の窓口、公民館など公的機関
- さ) パンフレットなどの公的発行物
- し) 情報を得ていない

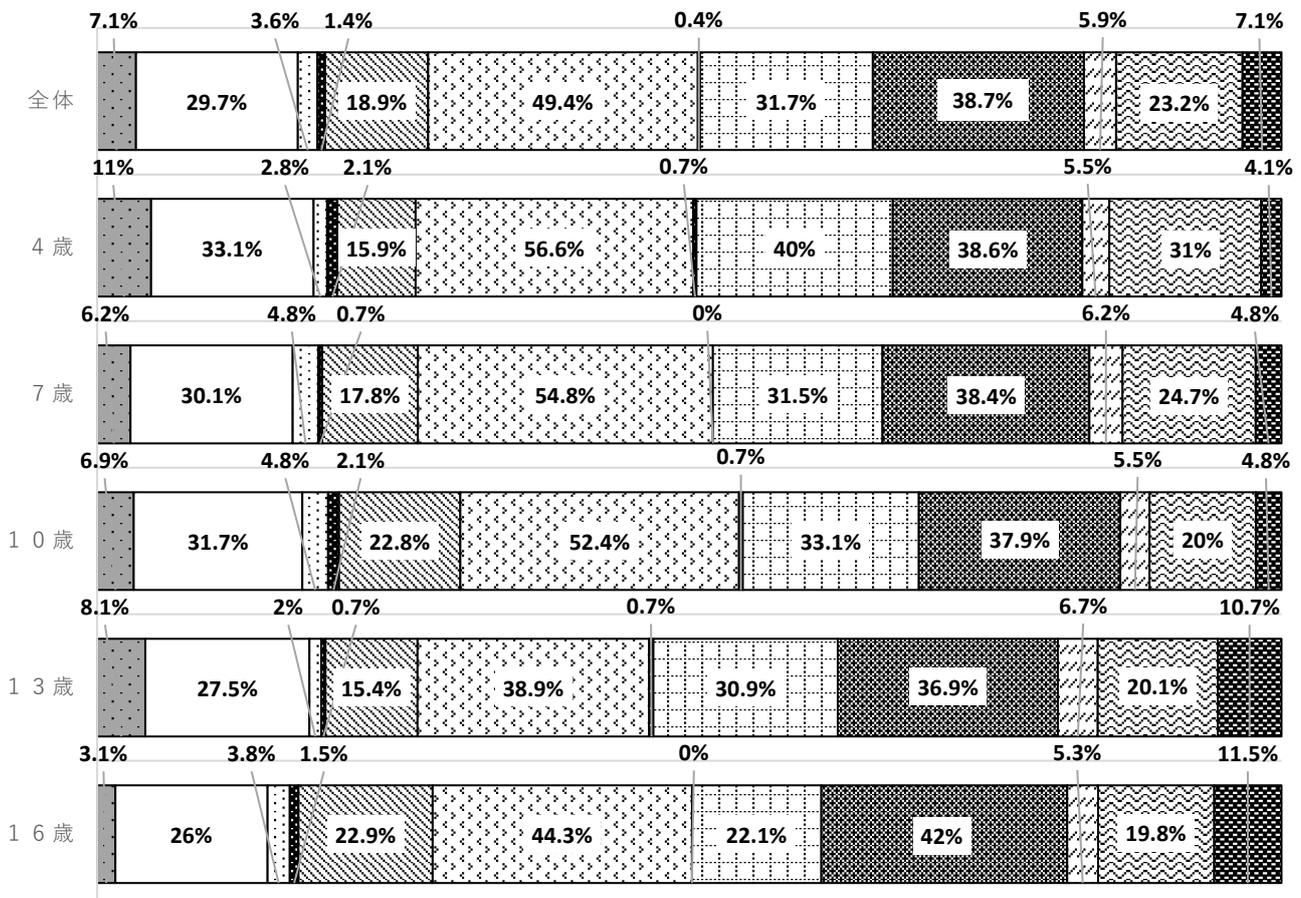
問7 (10)

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから(または誰から)得ていますか。(3つまで回答可)

10)親子で参加できる行事やイベント

総回答者数：716人

項目	回答数(人)	割合(%)
あ) 夫や妻	51	7.1
い) 友人、知人	213	29.7
う) 祖父母、親族	26	3.6
え) 育児雑誌、書籍	10	1.4
お) 新聞、テレビ、ラジオ	135	18.9
か) インターネット	354	49.4
き) 各種講座、研修会、講演会	3	0.4
く) 学校(園)、教職員、PTA	227	31.7
け) 市町村の広報紙、回覧板	277	38.7
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	42	5.9
さ) パンフレットなどの公的発行物	166	23.2
し) 情報を得ていない	51	7.1
合計	1555	



- あ) 夫や妻
- い) 友人、知人
- う) 祖父母、親族
- え) 育児雑誌、書籍
- お) 新聞、テレビ、ラジオ
- か) インターネット
- き) 各種講座、研修会、講演会
- く) 学校(園)、教職員、PTA
- け) 市町村の広報紙、回覧板
- こ) 役場の窓口、公民館など公的機関
- さ) パンフレットなどの公的発行物
- し) 情報を得ていない

回答から見える特徴

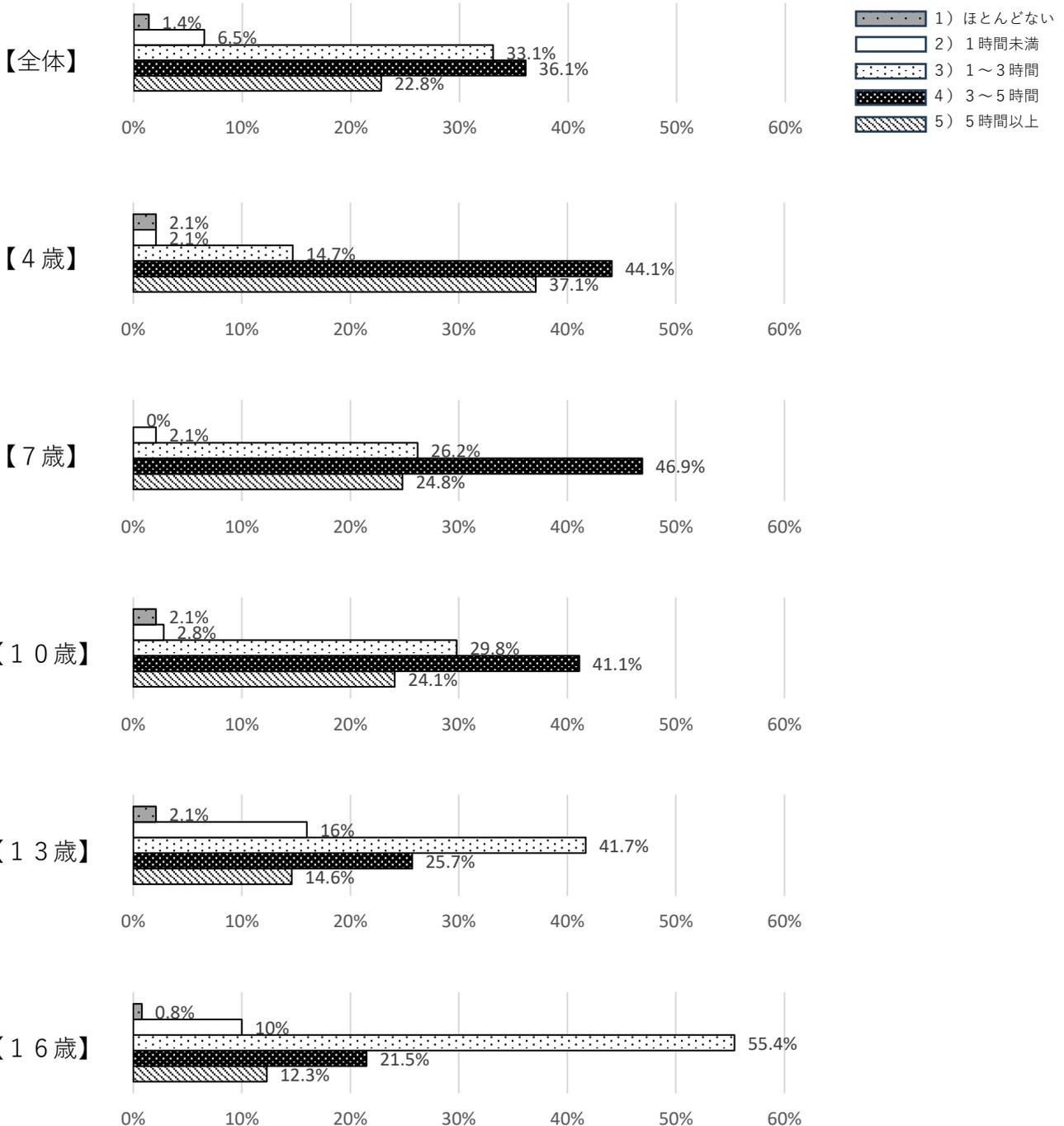
- ・家庭教育に関する情報についてはそれぞれの目的に応じて入手できていると考えられる。
- ・インターネットはどの項目についても情報入手先として割合が高く、今後も主となる可能性がある。しかし、信頼性の低い情報があふれていたり、アクセスする情報に偏りが出てしまったりすることから情報を適切に取捨選択することが求められる。

問 8

あなたが、子どもと一緒に過ごす時間はどれくらいですか。（別室で過ごす時間は除く）

【平日】

項目	回答数(人)	割合(%)
1)ほとんどない	10	1.4
2)1時間未満	46	6.5
3)1～3時間	233	33.1
4)3～5時間	254	36.1
5)5時間以上	160	22.8
合計	703	100

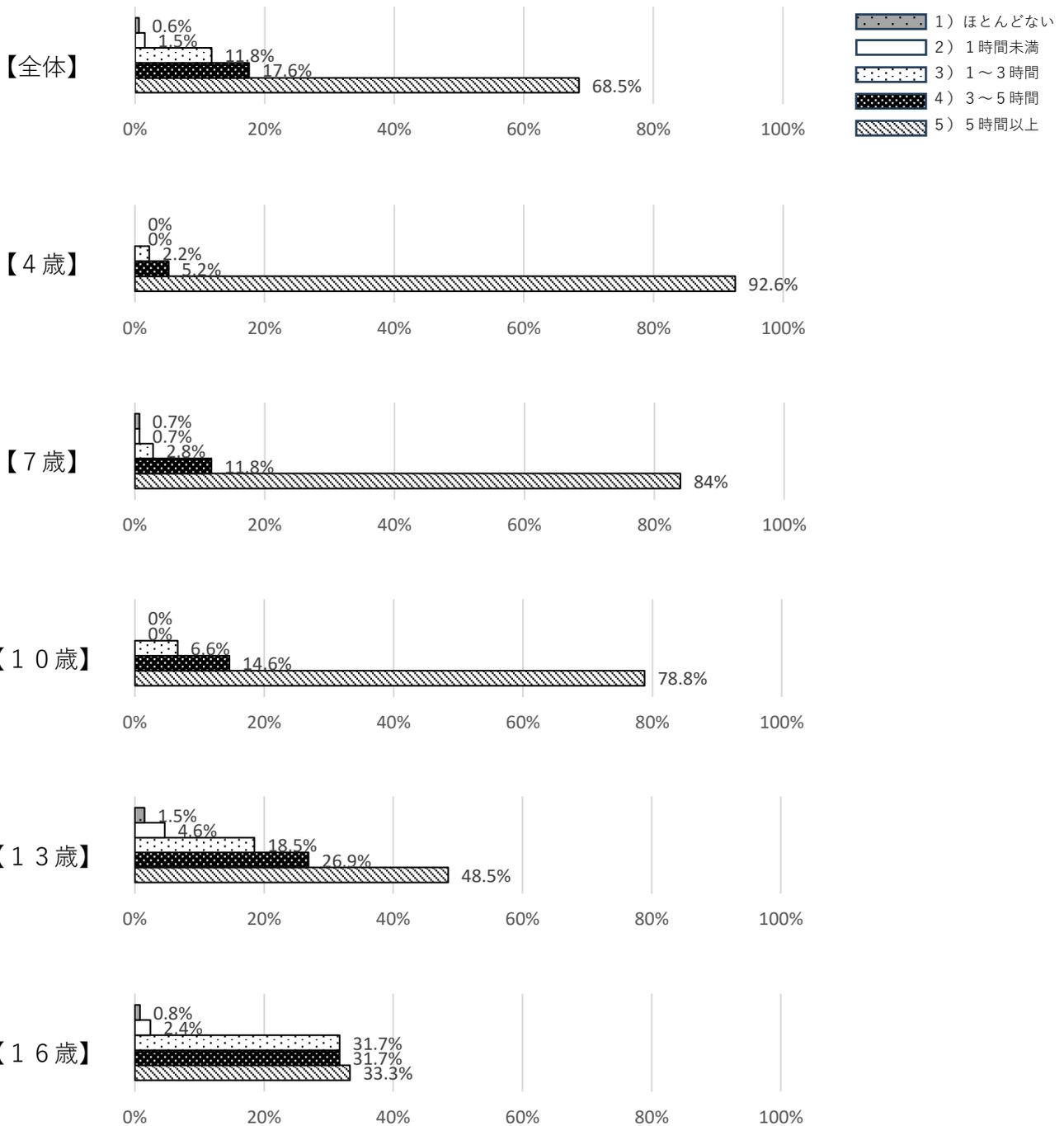


問 8

あなたが、子どもと一緒に過ごす時間はどれくらいですか。（別室で過ごす時間は除く）

【休日】

項目	回答数(人)	割合(%)
1)ほとんどない	4	0.6
2)1時間未満	10	1.5
3)1～3時間	79	11.8
4)3～5時間	118	17.6
5)5時間以上	458	68.5
合計	669	100



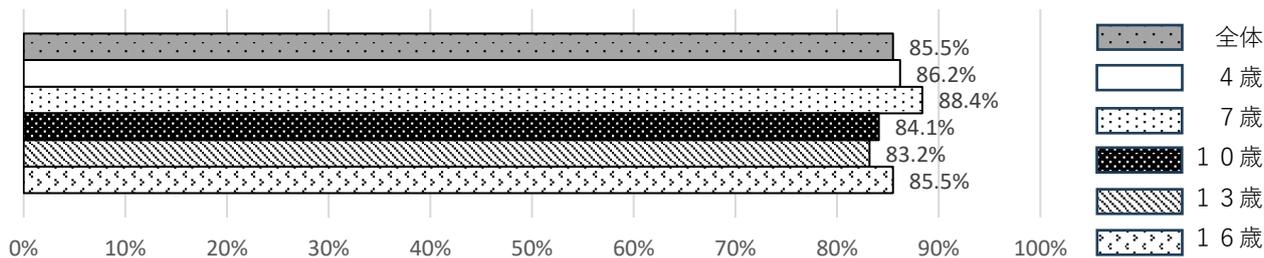
問9

あなたが平日、子どもと一緒に過ごす時間としてあてはまるのは、主にどのようなことですか。
(3つまで回答可)

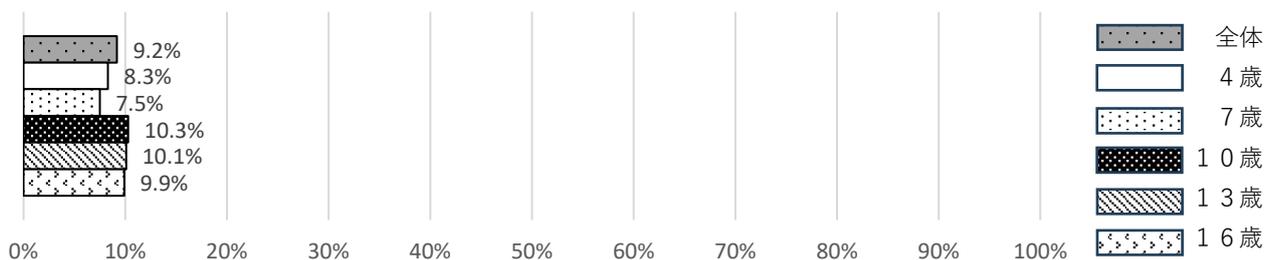
総回答者数：716人

項目	回答数(人)	割合(%)
1) 家族そろっての食事	612	85.5
2) 家事を一緒にする	66	9.2
3) 家族で出かける	201	28.1
4) ゲームを一緒にする	48	6.7
5) 携帯・パソコンのメール利用	20	2.8
6) テレビ等を一緒に見る	400	55.9
7) 勉強を見る	169	23.6
8) 家族でスポーツ、散歩	76	10.6
9) 一緒に本を読む	45	6.3
10) 家族団らんの時間	337	47.1
11) ペットの世話	42	5.9
12) 家族共通の趣味を楽しむ	43	6.0
13) インターネットの閲覧	40	5.6
14) その他	17	2.4
合計	2116	

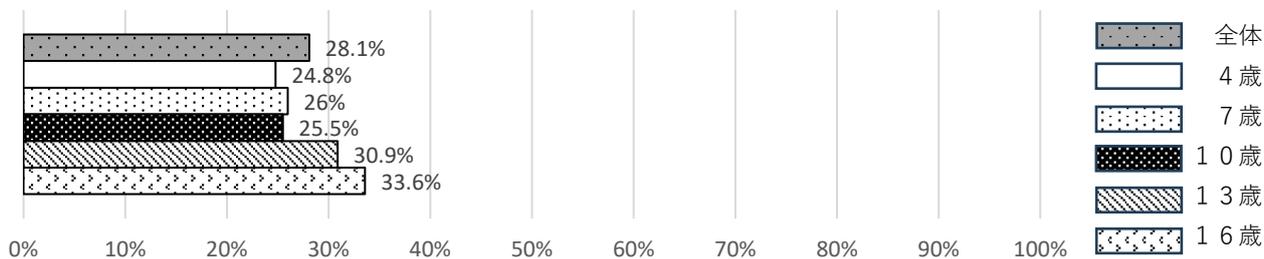
1)家族そろっての食事



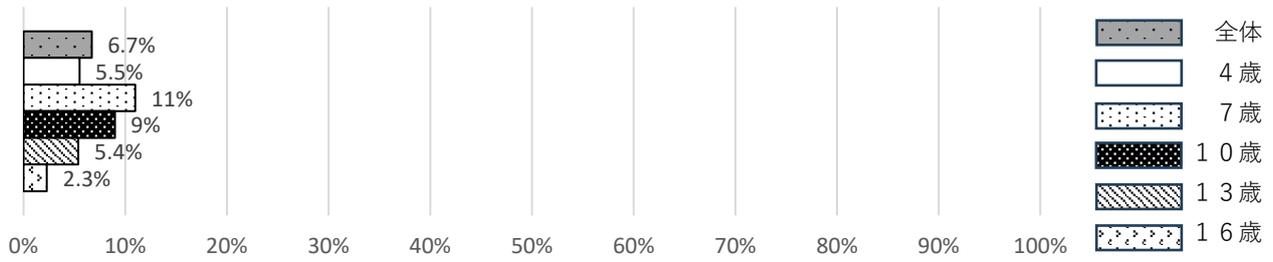
2)家事を一緒にする



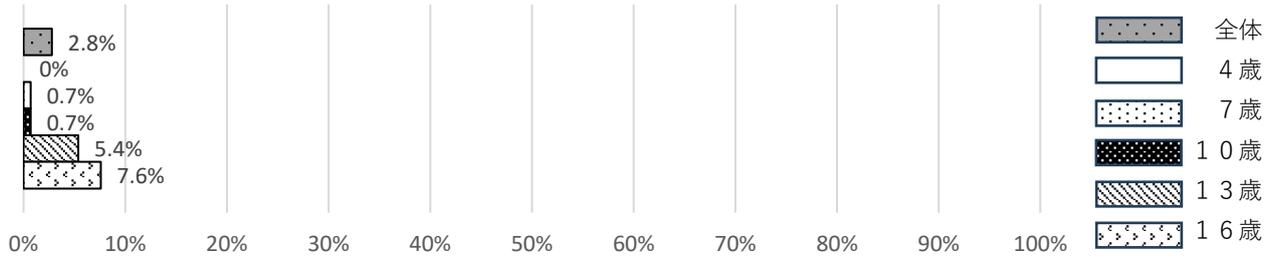
3)家族で出かける



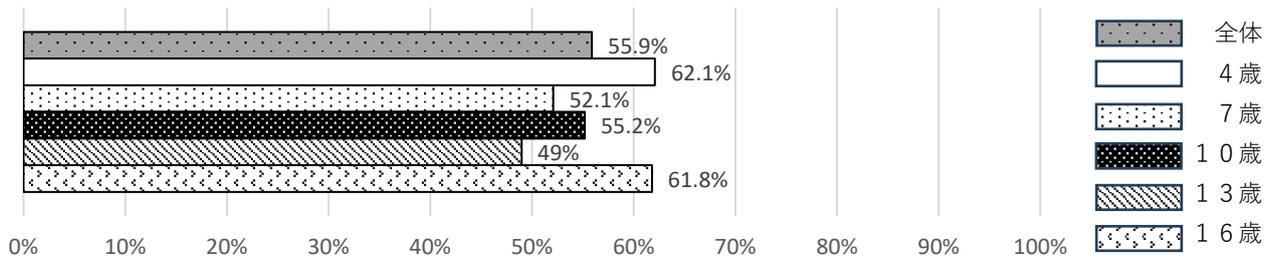
4)ゲームを一緒にする



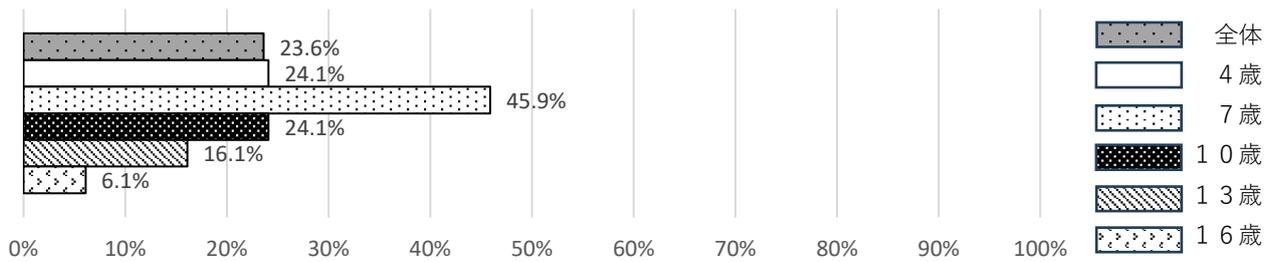
5)携帯・パソコンのメール利用



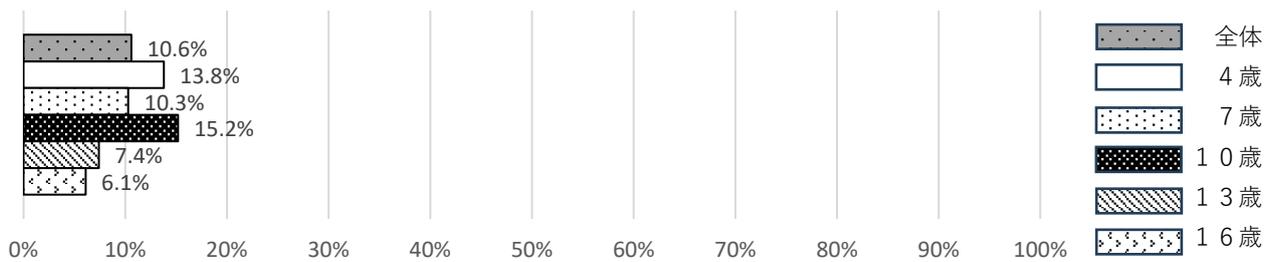
6)テレビ等を一緒に見る



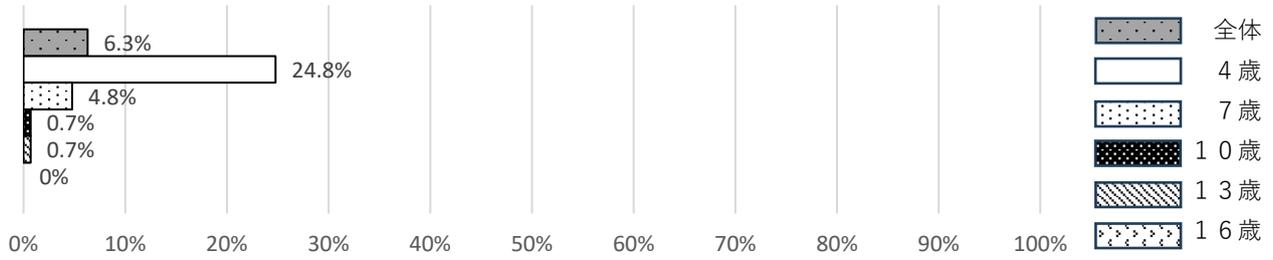
7)勉強を見る



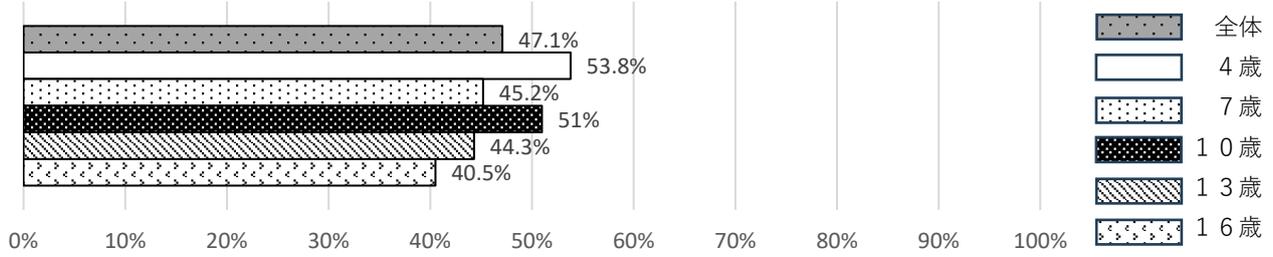
8)家族でスポーツ、散歩



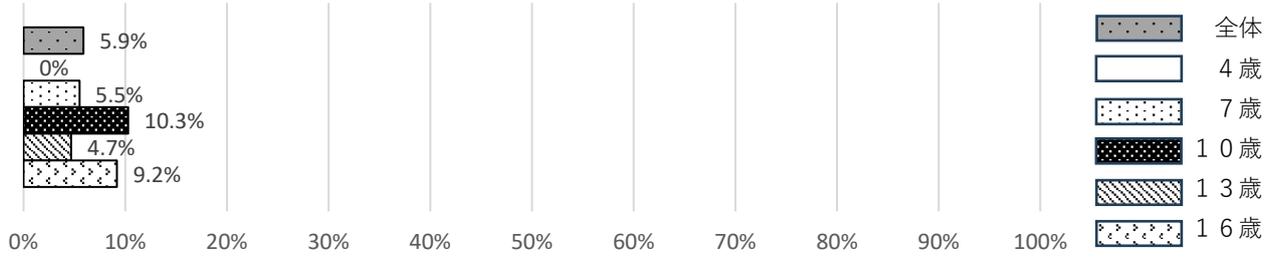
9)一緒に本を読む



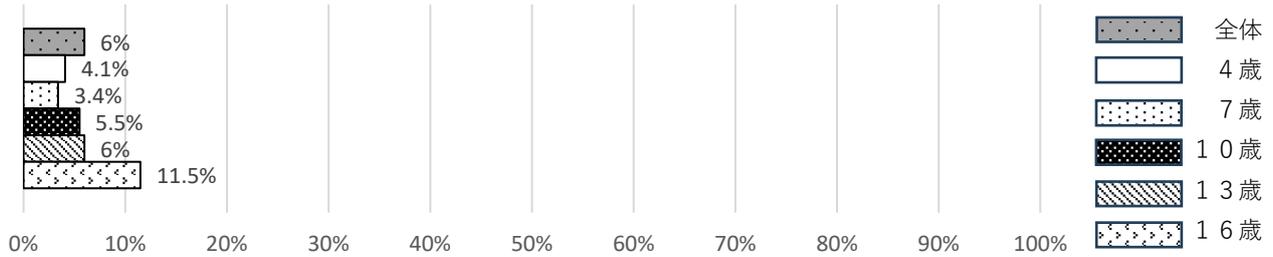
10)家族団らんの時間



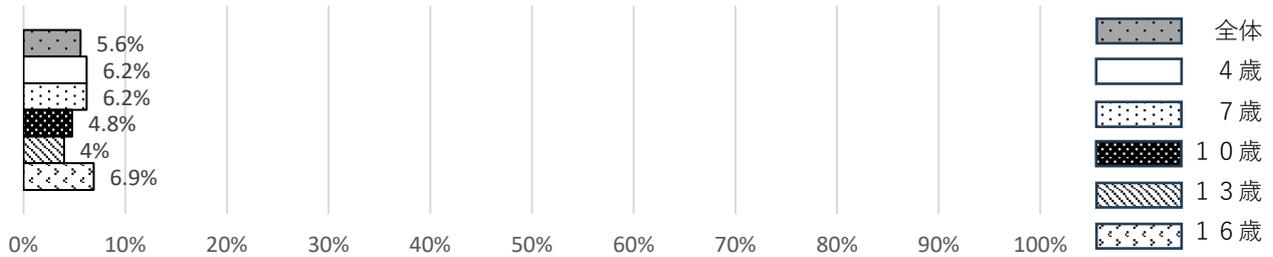
11)ペットの世話



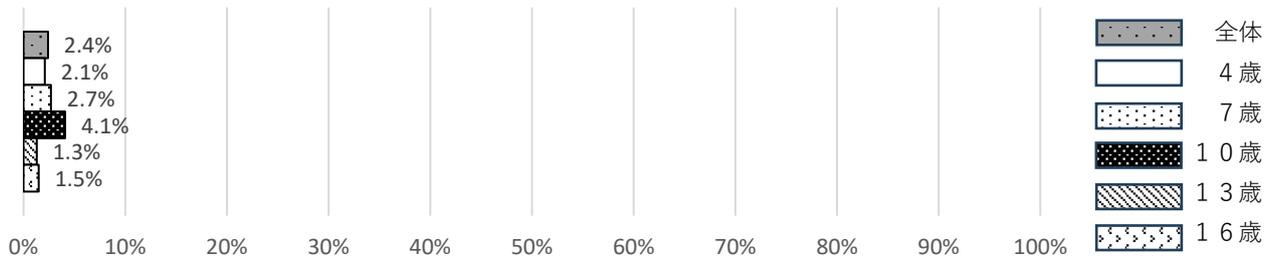
12)家族共通の趣味を楽しむ



13)インターネットの閲覧



14)その他



【その他】（記述）

- ・ スポ少（2件）、習い事。
- ・ 一緒にお風呂に入る。
- ・ 習い事の送迎。
- ・ 学校からの配り物を見ながら会話。
- ・ 風呂に入れて寝かせるので精一杯。
- ・ 一緒に遊ぶ。
- ・ 下の子と先に夕食、入浴（4人家族）。
- ・ 習い事の行き帰り。
- ・ 学校への送迎。
- ・ 部屋なし子どもと家の中ではずっと一緒にいる。
- ・ 食事（それぞれ）。
- ・ 寝る。

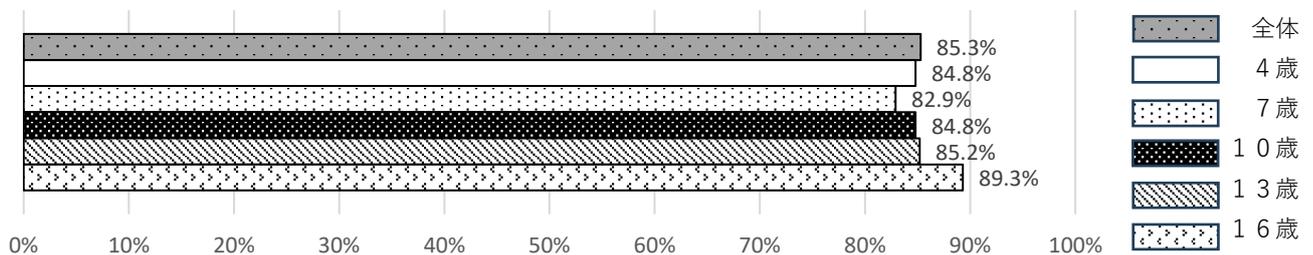
問10

あなたは子どもを含め、家族とのコミュニケーションをどのようにとりたいと考えていますか。
(複数回答可)

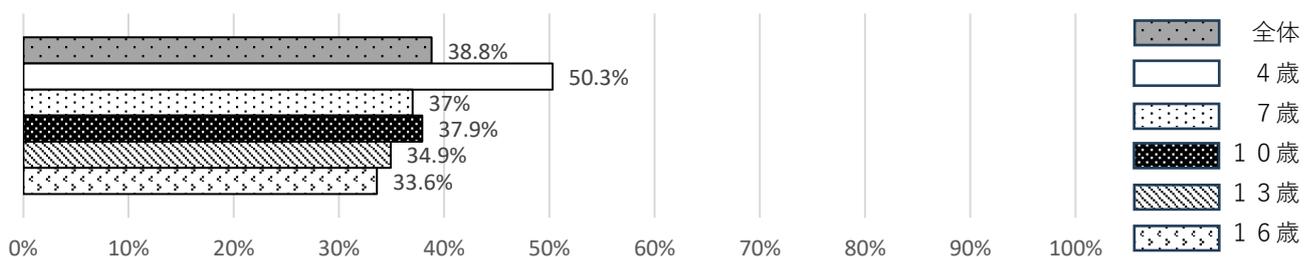
総回答者数：716人

項目	回答数(人)	割合(%)
1) 家族そろっての食事	611	85.3
2) 家事を一緒にする	278	38.8
3) 家族で出かける	572	79.9
4) ゲームを一緒にする	105	14.7
5) 携帯・パソコンのメール利用	27	3.8
6) テレビ等を一緒に見る	311	43.4
7) 勉強を見る	202	28.2
8) 家族でスポーツ、散歩	317	44.3
9) 一緒に本を読む	117	16.3
10) 家族団らんの時間	499	69.7
11) ペットの世話	57	8.0
12) 家族共通の趣味を楽しむ	238	33.2
13) インターネットの閲覧	24	3.4
14) その他	6	0.8
合計	3364	

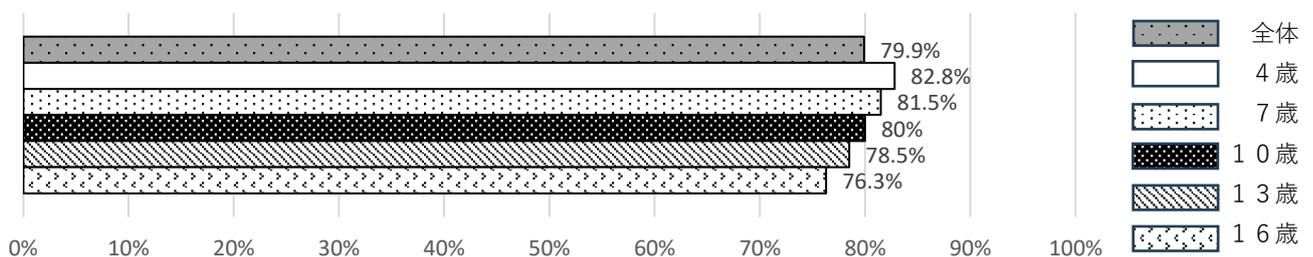
1)家族そろっての食事



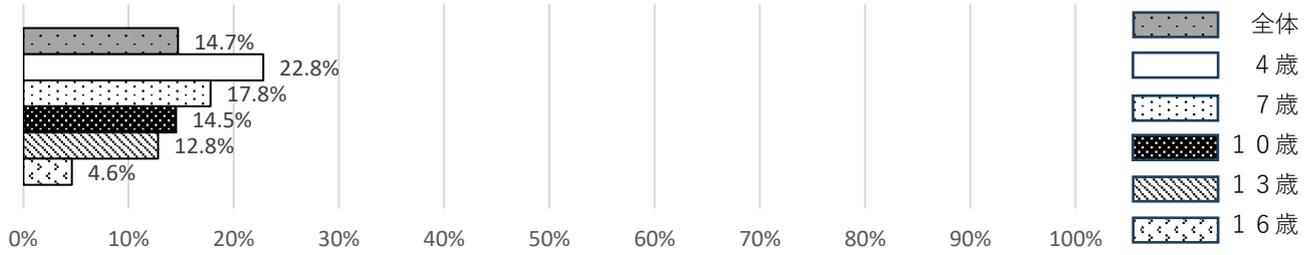
2)家事を一緒にする



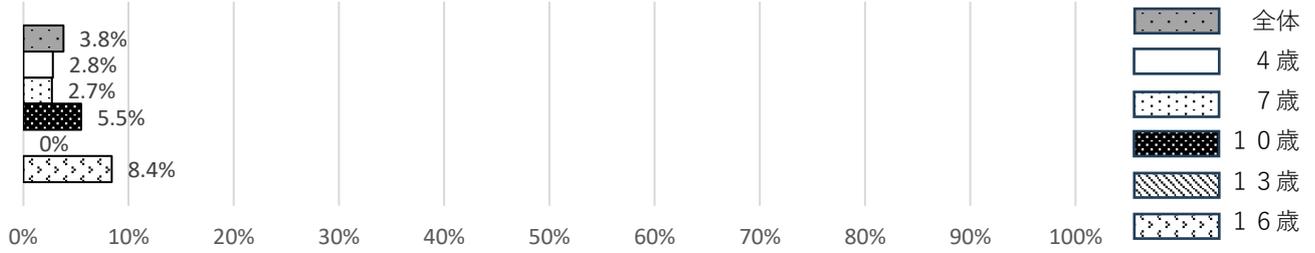
3)家族で出かける



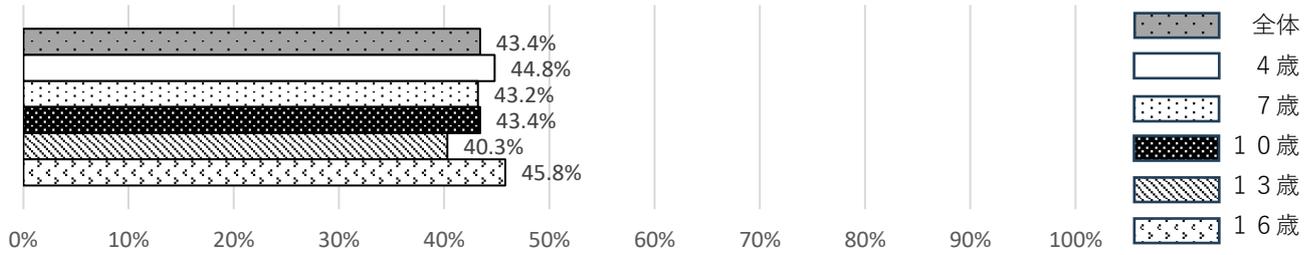
4)ゲームを一緒にする



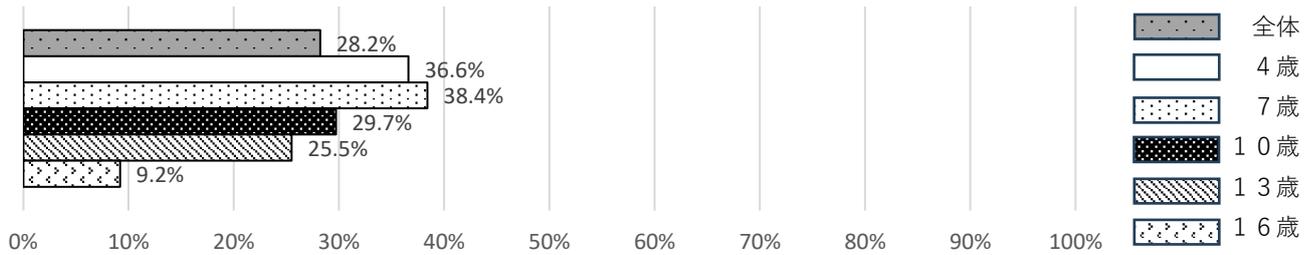
5)携帯・パソコンのメール利用



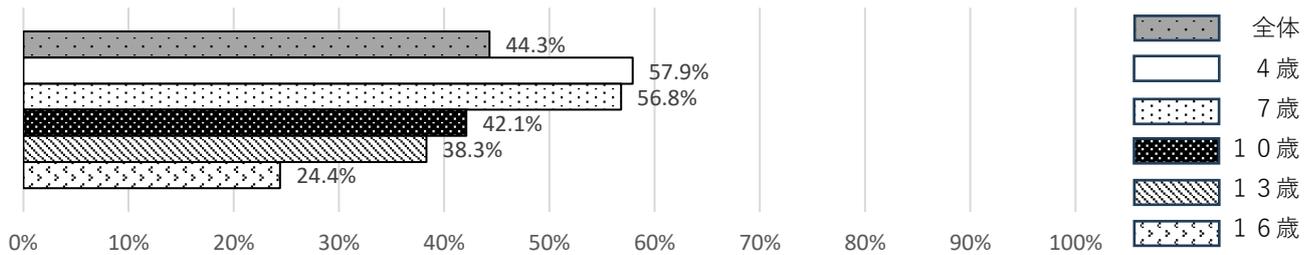
6)テレビ等を一緒に見る



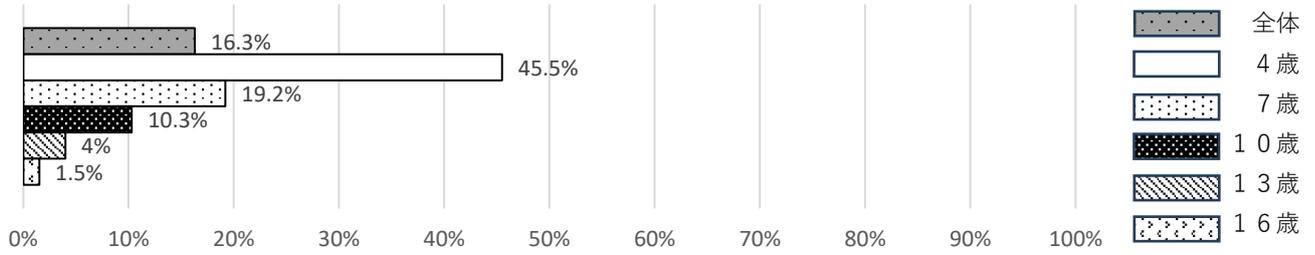
7)勉強を見る



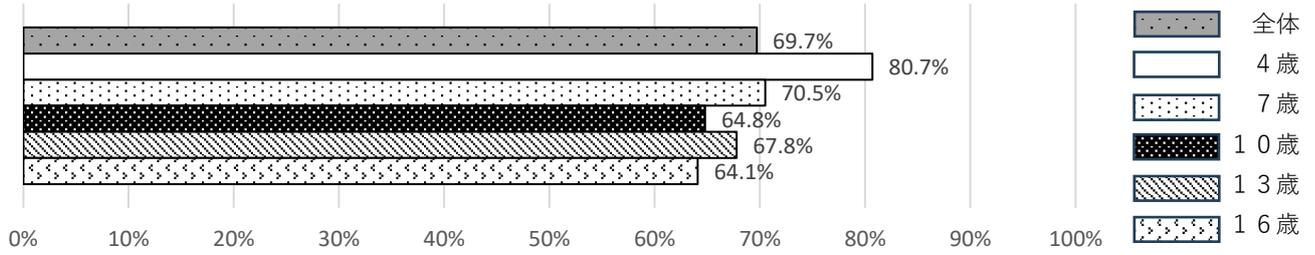
8)家族でスポーツ、散歩



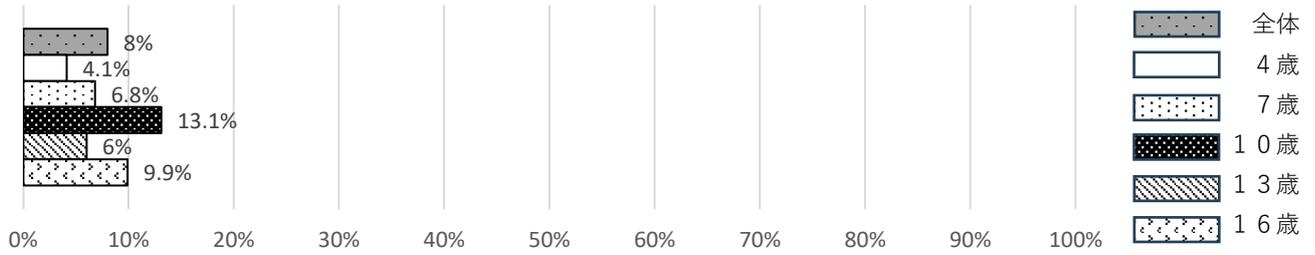
9)一緒に本を読む



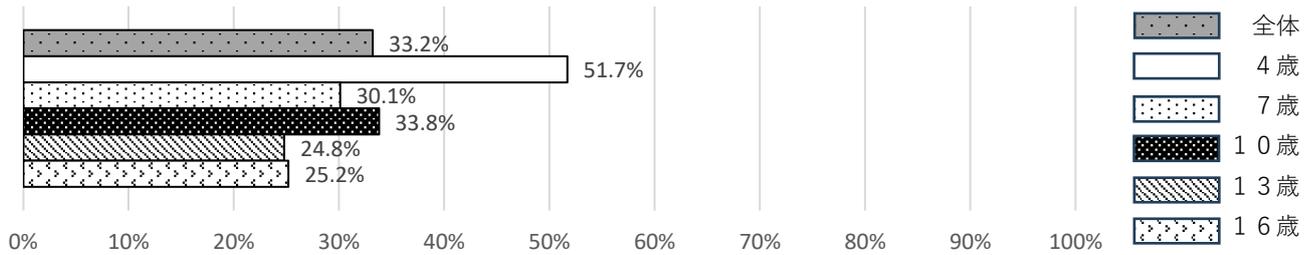
10)家族団らんの時間



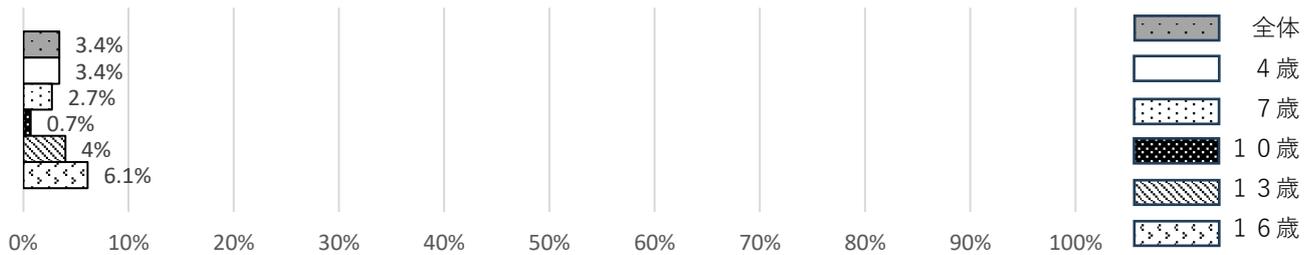
11)ペットの世話



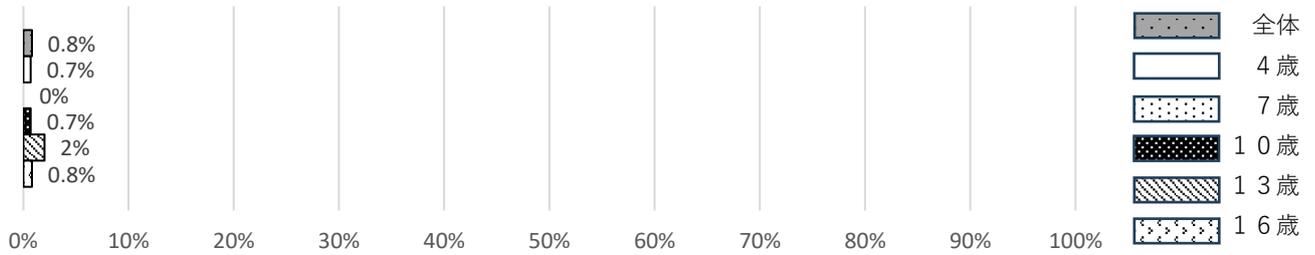
12)家族共通の趣味を楽しむ



13)インターネットの閲覧



14)その他



【その他】（記述）

- ・お風呂に一緒に入る。
- ・トランプ・かるた・しりとりなど言葉を交わしたり、勝負したりする遊び。
- ・一緒に働く（農業）
- ・子どもの取り組みを応援すること。
- ・旅行。
- ・一緒にお風呂に入る。
- ・会話。
- ・部活動の応援。
- ・子どもたちも大きくなってきたので、個々が自分をしっかりと組み立てていけるような子どもであればいいと望んでいる。
- ・勉強、進路、恋愛などの相談や話し合い等
- ・1日の出来事を話す。

回答から見える特徴

質問項目	問9	問10
2) 家事を一緒にする	9.2%	38.8%
3) 家族で出かける	28.1%	79.9%
4) 家族でスポーツ・散歩	10.6%	44.3%
12) 家族共通の趣味を楽しむ	6.0%	27.2%

平日ではなかなか子どもと一緒にできないこと（家事を一緒にする・出かける・スポーツする・共通の趣味を楽しむなど）を通じて、コミュニケーションを取ることを望む保護者の割合が高いと考えられる。

☆あなたが家庭教育について日頃感じていることや、PTA・地域団体等、学校教育、行政に対する要望、考えていることや感じていることなど、ご自由にお書きください。

【 原則として、回答原文のまま掲載しています 】

- ・私は介護職で（正規雇用）土日祝日関係なく働いています。子どもと一緒に過ごす時間は大切ですが、毎日ヘトヘトです。1日の労働時間がもう少し短ければ、自分の気持ちにも体力にも少し余裕が出るのにな…と。学校の部活動も全て親の負担、昔とは違うのだな…と。子どもに制限させてしまうのが現実です。
- ・どうしても土曜日は保育園に預けにくい感じがしてしまい、遠慮しているけど、疲れている時は土日1人なので辛く感じることもある。でも仕事は休みなので家で面倒を見るべきだろうし、どうしていいかわからない。もう少し土日の保育施設を充実させてほしい。親もたまには休みたい！
- ・今の時代、便利なツールがたくさんあるので活用しているが、すぐに答えが出てくるので物事を考える力が弱くなっていると感じます。親も同じで、わからないとすぐに答えを求めているので、子どもにも影響しているのをものすごく実感しています。
- ・共働きで子どもたちと一緒にいる時間帯が平日は少ないので、子どもたちが園でたくさん学んできてくれることが嬉しい。家庭で教育する時間も大切だけど園や外の社会で実際に体験して成長することも重要だと感じる。通っている園だけでなく、5歳ステップの時のように市で強制的に他の園の子どもたちと交流できるのは子どもたちの刺激になると思う。
- ・何十年も変わらない学区、小学校までの通学路が歩道がない等現状に合わせたものに全くなっていないと感じる。必ず祖父母がいて必ず送迎ができるわけでもないのに、通学路の安全面が見直されていない事や学区外への指定校変更が困難な事に疑問を感じる。
- ・虐待のニュースを見るたびつらい。地域で子どもを守っていけないものかと思う。どうにか救ってあげたい。
- ・学校等でルールやマナーを守れない子どもが多く、その対応を学校まかせにしている親が多い。学校で対応できず、学びたい子どもの権利が害されている。教育の妨げになる子は別途対応が必要。行政で強く対応して学びたい子どもを守ってほしい。
- ・ひとり親では家庭教育を充実させようとしても、時間、経済、体力的に限界もあると感じる。将来の子どもの成長に影響が少なからずともあるのではないかと思う。家庭教育を行う側の健康も大事なので親のメンタルヘルス、収入など、安定するような国や地域の政策がうまく転じて初めて家庭教育にも力が入れるのではと思う。

- ・少子高齢化が進むとさわぐ一方で、生活は厳しくなるため心のゆとりがもてない家庭が多いはずだ
と思う。若いパパ、ママも多くなっている今の時代で、若いからこそ働かなければ生活ができないし、
それでも子どもの出費、休みもお出かけに行かなければならない。苦しすぎると思う。仕事で手一杯
になる理由は、働かなければ何も買えないし、何も食べさせてあげられないし、親も心が貧しくなる。
するとそれが子どもにも影響すると思う。負の連鎖ですね。何もかも子育て世帯には厳しいです。
すごく。
- ・PTA等の役員が面倒なイメージが強く、正直あまりやりたくないなど。休日遊ばせる場所にいつも悩
みます。子ども向けのイベントをもっとやってほしいです。
- ・共働きが増えている中で、部活動が始まる年齢になると確実に土日等、親が送り迎えをする必要が出
てくるが、その時の事を考えると正直働いていられない。みんなが土日休みの仕事をしている訳では
ないが、親同士のつきあいも希薄になっている気がする。小学校に入っても、1クラスだけの学校に
行く意味が…クラス替えもしない6年間の後がこわいと感じる。
- ・子どもの話をもっと聞くべき。悪い事をしたと決めつけ、なぜやったのかを聞かない。問題を起こし
たみんなに話を聞く。すぐ決めつけないでほしい。家庭で話をして学校側の対応が決めつけだと子
どもの気持ちが素直になってくれない。問題が大きくなってから言われても困る。
- ・PTAへの加入時、申込書の提出を義務付けてほしい。(いつのまにか加入したことになる。)
- ・子どもが遊べる遊具(小中学生なども含め)を他の市町村のように充実させてほしい。公園など郊外
にあっても行きづらい。安全に遊べるように整備してほしい。明るく人通りの多い場所をもっと活用
して、子どもが安心して遊べる場所を確保してほしい。大館駅も高校生が安心して利用できるよう
もう少し工夫があってもいいと思う。
- ・子育ては大変だということを少しでも理解して親になればいい。産まれてすぐに誰かに預けるのではな
く、共に過ごす環境ができたらいいなと思う。子どもは親が思う以上に親を求めている。
- ・子どもの学校の先生が教師としてふさわしくないような事を言っていると子どもが言っていて、すご
く不満を感じた。
- ・特別支援学級を担当している教師が発達の特徴を全く理解していないように思われる。勉強している
ようにも見えない。教える側にもある程度の教育が必要だと思う。ただの教員免許では務まらない。
- ・共働きだと子どもがスポ少に参加したくても送迎などが出来ずに我慢をさせている。送迎などを担っ
てくれるサービスがあるとよい。

- ・宿題、家庭学習、夏休み等の課題が多く、子ども1人では難しい事が多いため、親の手助けが必要で、仕事をしながらだと負担が大きく、気持ちに余裕がなく、イライラするため子どもにきつく当たってしまうことがある。特に発達障害がある子に対しては、学校でもその子に合った対応をしてほしい。
- ・給食費、保育料などでかなり毎月かかっている。子ども4人で、4人目は保育料無償だと思っていたが、上の子たちが小学生のため保育料は4人目なのに1人目扱いでかなりかかっている。上の子たちにも毎月かかるのになぜ保育園と小学生で子どものカウントを別にするのか意味不明です。
- ・他校より送り迎えが当たり前になっているようなので、できない家庭には負担を感じる。一緒に学校へ行ったり帰ったりする友達がいないため。
- ・日々子どもたちの安全・安心のため、ご協力いただき本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。
- ・メディアコントロール習慣として、時折学校で取り組んでいますが、メディアコントロールできるような遊び場がないので、そちらに目を向けてあげることができません。天候が悪くても遊べる場所、高学年でも遊べる場所が必要だと思いますし、何年も前からそのような要望があちこちから、そして多数出ているはずなのですが、形に現れないのが残念でなりません。
- ・各学校単位でのスポ少活動を部活動に戻してほしい。
- ・学校で約8時間勉強した後に宿題も出され、子どもはいつ遊んだりやりたいことをやったら良いのでしょうか？また、休日も宿題があるので家族の時間で旅行に行った時も宿題を持って行き、思い切り遊ばせん。子どもは遊ぶこともとても大切な経験だと思うので、どうか休日など宿題は出さないでほしいです。
- ・小学校の時バス通学だったのですが、子ども同士のトラブルでクラスメイトの祖母がバスの運転手さんの許可をもらったのかわかりませんが、突然バスに乗り込んできて、自分の子どもに注意をされて以来、バスに乗れなくなったことがありました。学校と家族で話し合い、スクールバスには乗せないと決めたのですが、どうしても乗って帰らなければいけなくなって乗って帰ってきたら、運転手は「社会に出るといろんなことがある」と言いたかったようですが、ただ一言その時は「逃げるな」と言われたそうです。運転手さんも人なので仕方ありませんが、これからは学校などのスクールバスに乗ってくる子どもたちが安心して乗れる運転手さんたちにしてほしいです。子どもにとっては凄くショックな言葉だったなと思います。これからはスクールバスを利用する親御さんも子どもたちもいろんな環境で育てるので、バスの運転手さんも子どもへの配慮が必要だと思います。一番はスクールバスで通う子どもたちの気持ちを考えてほしいです。
- ・学校祭のお弁当、親もほしいです。

- ・両親が共働きで、帰宅時間が遅いと子どもだけで家にいる時間が長く、その間スマホやタブレットを使っている。勉強は声をかけないとしないし、近くに塾もないため、親がいない間は SNS やアプリなどをしていて心配。低学年だと児童クラブがあるが、小学校高学年～中学生くらいが夕方集まれる？ いられる場所がほしい。
- ・学区が広いが地区ごとの子どもの人数は少なくなっているため、子どもどうして遊んだりすることが少なくなってきたので、「自分たちで考えて遊ぶ、何かを試してみる」ことをできていることが少なくなってきたと思う。PTA も参加人数が少なくなってきた、人数を集めるのが大変になってきているように思います。毎日その日にあった楽しかったこと、嫌だったこと等を話して子どもの気持ちを理解しようとしています。実際学校内であった出来事で辛かったことなど家庭内だけでの対応が難しい時たくさんあると思う。子ども一人一人の個性を子どもたち同士も認め合える学校や生活を送れるようになるとういなどと思います。
- ・ひとり親だとハンデを感じないようにできる限りのことはしているが、どうしてもできない事、やってあげられない事がでてきており、周囲の力も借りてはいるが、現状足りないと感じている。相談しやすい環境ではあるが、相談するだけで先が見えない。
- ・子育て世帯の増加している地域では、道の整備、子育て環境、学習状況の充実化が求められていると思います。交通量や徒歩、軽車両の行き交いも多く、非常に危険な箇所が多々あります。危険運転の取り締まりなども強化してほしいです。部活帰りの中高生など帰宅時間の遅くなる生徒も多いので明るい帰路（街灯設置など）も希望します。
- ・本当はもう少し学校の復習を家でみたいのだけど、ADHD なのもありなかなかうまくいかず。
- ・PTA は無くしてほしい。野球、サッカーなど部活動がほしい(学校での)。
- ・子育て世帯に経済的な支援。低所得世帯だけでなく支援が必要だと感じています。
- ・学校でのことは学校で解決してもらいたい。部活動はできるだけ入ってもらいたいと言うのはやめてほしい。公園には子どもに自由に遊ばせてあげるようにしてもらいたい。
- ・学校も幼稚園も地域全体にアンケート(コンビニに置く等)を取る等してはどうか？
- ・仕事が不規則で土日祝日も休みが十分ではないが子どもに時間が使える限りやってあげたいと思っている。PTA に関しては、いつも同じ人たちが係になっているように感じるので、きちんと交代でやっていくべきかと思う。

- ・学校教育において、子どもの体験や主張の表現力が乏しく思う。作文や感想文などの書く機会や指導が少ないと思う。
- ・学校での事は学校を通して解決してほしい。部活は個人の自由だと思うので、入った方が良いとの話は学校では出さないでほしい。
- ・教育委員会とは遠い関係に感じます。要望として、子どもたちの校外学習や修学旅行など、何十年も同じ場所なので、もっと広い世界を体験するためにも東北などに限らず、アンケートなどとり、子どもや保護者の希望を取り世の中を見て感じてほしい。特に修学旅行の仙台は祖父母の頃から同じなので変更したいです。将来子どもたちの選択肢が増えるように、高校、大学への1日体験があると具体的に考えるようになると思うので、お願いしたいです。勉強、スポーツなど刺激を与えることが出来ると思います。子どもたちが秋田大好き！秋田に住みたいと思うことに取り組むべきと考えます。
- ・個々に合うサポート、そのような情報の提供。
- ・PTAの解散を希望します。ボランティアでも十分学校行事はできると思います。
- ・個々に合うサポート、そのような情報の提供。子どもがいるからと言って「日中しか働くことができない」や「病気や怪我をした時に必ず迎えに行く」などの考えが時々負担になる世の中だと思う。人間の数だけ様々な考えや感情、事情があるので、サポートや情報の提供などがあれば少しずつ変わっていきえると思う。
- ・学校で必要だからと言って何でも購入を促すのはどうかと思います。物価高や部活動費など収入が少ない人はとても苦しいです。昔とは状況が違うことを理解していただきたいです。
- ・小学生だけでなく、中学生も通学にスクールバスを利用できるようにしてもらいたい。
- ・物価高で家計も苦しくあまり料金がかからず、英語やプログラミングなど、これからの時代に必要なることを学べる場を用意してほしい。自然豊かな秋田だからこそ出来るような体験が出来る機会を設けてほしい。宿泊研修など。また、あまり高すぎない料金で。伝統体験（樺細工や川連塗りなど）が出来ると助かる。1つの場所で体験させたいことはたくさんあるが、現地まで行く時間の余裕がない。以前なかいちで行われたイベントに参加したが、とても楽しかった。「あきた伝統文化親子体験フェスタ」
- ・子どもたちが安心して遊べる場所が近くにあればいいなと思います。いつも遠くの集会所まで行っている。熊の対策も必要かと思います。バス停の工夫など。

- ・PTA 役員の推薦、選抜、アンケート、毎年気が重い。得意な方は良いと思うが、苦手な方もいる。大変でなんとかならないかと悩む。
- ・部活動に入りたいが、希望するのが町内になかったり、また共働き等もあって送り迎えが難しく入らせることが出来ない。昔みたいに学校終わりそのまま部活動に参加できる環境が出来たらいいのにと強く感じる。
- ・家での学習がだらだら時間をかけてやっているのをやめさせたいが、うまくいきません。
- ・今、私の一番の悩みは子どもが好きなゲーム、YouTube の閲覧や読書に没頭し、自学に取り組もうとしないことです。全く話を聞きたくない子どもへの接し方がわからない状態です。
- ・親の負担が多過ぎる。それなのに、PTA 等昔のまま続ける事が更に負担になっている。もっと一人一人の負担が少なくなる様、今の世に適した変化が必要だと思う。
- ・一緒にテレビを見る、遊びに付き合うことも何かをしながらになってしまうことが多い。反省するが、そうしないと時間がない。もちろん自分の趣味に使う時間などはないのですが。
- ・子育ては、日本の未来を担う人を育てる大切な役割をもつ。でも世の中は核家族化で、子育ての中心となる母親は孤独と不安の中にある。妊娠中は産後の赤ちゃんの世話などある程度の知識を得られるが、親としての心が整っていない中、産後は休み無しの手さぐりの日々。そんな母親たちの精神的負担をフォローする仕組みができればいいと思う。例えば経験者の産後生活の体験や子育ての心構えや信念、名言集を結婚後に学ぶ機会があったり、産後は同じ不安を抱える母同士の交流の場（託児あり）があるなど、社会全体で母親たちを助けてほしい。
- ・うちの場合は、部活動（卓球部）を通じて応援や日常的に球拾いで練習の手伝いをしているので、成長を見守ることができています。部活では地域の人も多く指導等で関わってくれるので、教育の場としてとても良いと思っています。
- ・全体を通してコミュニケーション不足を感じられる。情報や他愛のない話をするなどお互いの気持ちを共有し共感をもつべきだと思う。
- ・私たちが住んでいる地域には放課後等デイサービスや発達障害の子どもたちが勉強するところがありません。一般的な親ですと、教えることは難しいです。役場にも相談しましたが、「隣町にあるので調べてください。」と言われました。しかし、小さい子（小学生）向けで時間も早く終わってしまいます。中学生や高校生向けもあれば良いなと思います。（送り迎えは可能ですが、隣町までも時間がかかるので遅くまであいていれば利用できます。）

- ・20～30 歳代の父親は子育ての意識、家事協力の意識があると感じるが、40～50 歳代の父親について、その意識が希薄である。共働き世帯で子育て、家事の負担を母親が背負っている家庭も多いのではないかと。40～50 歳代の父親の意識改革も必要。
- ・家庭教育については今まで悩む事もありました。学校での相談、家族に話すなどいろいろ利用しました。ここに相談すればいいというところがすぐに探すことができれば良いと思います。
- ・子どもたちも先生たちも忙しすぎるのではないのでしょうか。
- ・上（行政）から降りてきた事を、そのまま現場の小学校、中学校に押しつけるような事はやめてもらいたい。
- ・東京都や千葉県など不合理な校則が廃止されています。その中で、刈り上げや奇抜でなくともツーブロック（清潔感のある範囲）、前髪を結ぶこと、三つ編み、編み込み、お団子までが本校では禁止されています。あまりに厳しすぎて清潔に過ごせません。思春期の中学生は、ニキビや汗も、顔の汗湿疹を防ぐために、ショートヘアまたは前髪を結ぶ必要がある生徒もたくさんいます。受験時の服装に合わせてとご指導いただくようですが、普段からの行動、所作、中学生らしく清潔感があれば問題ないと思います。秋田県各地で同じような校則があるようです。都心では不合理な校則について、見直しが1年以上前から始まっています。
- ・子供を遊ばせられる無料の施設をもっとたくさんつくってほしい。
- ・共働き、核家族化により、小学校入学時の学童保育が必須となっている。しかし定員もあり、入るのがなかなか難しいと聞く。学童保育以外でも子供を見守ることができるような施設、機関があれば良い。地域のシルバー人材等をうまく活用していけないかと思う。
- ・先日、山形県天童市にある「げんキッズ」へ行きました。秋田にも室内で思いきり体を動かせる場があるといいなと思いました。
- ・共働きで毎日母がワンオペだと家庭内の子供の教育には限界がある。保育園（子ども園）でもっと教育のところにも力を入れてもらいたい。他の園はひらがなの勉強をしているのに、自分の園ではまだやっていないなどある。それだと小学校に入ってから差がつくのは当たり前だと思う。園での教育の統一化希望します。
- ・児童館だけでなく、学童保育をもっと充実させてほしい。せめて希望者は全員学童保育を利用できるようにしないと、安心して仕事ができない。PTA は仕事をしている親にとって負担でしかない。なくてもいい。

- ・今の時代、共働きの家庭が多い反面、その家庭が核家族化であることが多い。また、定年の年齢が上がっていることで、祖父母の協力を得られないことが多い。子どもの急な発熱のときなどで有休を使い果たすことが多い。病時保育をもっと増やす&もっと容易に預けやすいシステムにしてほしい。とくに、医療職・介護職・教育職（保育）の職業など、人手不足で地域の困るような職業の人たちの待遇を改善してほしい。
- ・子どもとゆっくり過ごせる時間が平日も取れると嬉しい。でもフルで働かないと家計も苦しいので難しい。時間とお金に余裕のある働き方ができればいいと思う。
- ・働き方改革には大いに賛同するが学校の先生の学習指導が外部に依存している傾向があるようにも感じられる。塾に通えない子供は置き去りになってしまわないか教育格差が経済格差に比例しているように感じることもある。受験競争に偏重するのは歓迎できないが、勉強のみならず学校や家庭でもっと子供自身が幸福に生きる力や他者とのコミュニケーションをするなど自立して協調できるスキルを身に付ける環境づくりをしていけないのか考えさせられる昨今である。
- ・最近では教育やしつけに無関心な親が多くなっているように感じる。
- ・アルバイトを自由にできるようにしてもらいたい。
- ・基本的な生活習慣や社会的なマナーなどを教えてはいるが自分の子供時代と現在の常識では違うこともあるのでこれでいいのか不安になることがある。
- ・秋田市内の高校の学力レベルが極端だと思う。中間くらいの普通高校があったらよかったです。
- ・PTA（役員の強制）がなければ子育てしてもよい。
- ・部活動や学校行事、PTA 活動が時間と労力を割かれるものが、結果として子供やその他の方々とコミュニケーションを深める機会となった。大変だと尻込みしている保護者も多いと思うがぜひお勧めしたい。
- ・社会勉強が少しでも多くできる環境を作って欲しい。大人と何かを取り組むことで大人も学び、子供も自信へとつながると思います。
- ・子育てに正解がないので合っているのか間違っているのか不安になります。子供たちはきちんと育てられているので、大丈夫と安心する時もありますが、受験など進路が問われる時はどの程度親の意見を言うべきか関わるべきかすごく悩みます。先生方も一生懸命やってくれていますが、なかなか相談しにくい時も多いので、何か気軽に相談できる場があれば良いと思います。

- ・一人親（男）に対しては何も無い（国、市からの支援等）
- ・子どもの数は減少しているが、大人も子供も忙しすぎて、地域とのコミュニケーションや子供会がなくなったり見かけた子供に挨拶等をして通報されたり、とても生きづらい世の中になってると思います。
- ・高校生以上への行政の支援が増えれば良いと思います。
- ・他県から嫁いできました。親、友人、知人がいなく頼れるのは夫だけという状況で、未就学児の子育ては孤独になりがちです。行政からの何かしらのサポートあれば嬉しいです。親子遠足や絵本クーポンなど利用したことはありましたが、もっともっと充実させてほしいです。情報も少ないと感じます。小学生以上になると学校関係者からの情報が多くを占めます。これもまた情報が偏り良くないと感じています。※家庭教育は家庭だけではできないと考えています。
- ・しつけやマナーが出来ていない子供にたいして、学校側も向き合ってほしい。周りにそういう人がいると成績も落ちていくし、学校にもいけなくなる。
- ・子供の進学について、学校でどの程度関わってくれているのか？大学受験勉強について、本人の勉強理解度を知った上での指導に親身に向き合ってくれているのか心配している。
- ・県や市がもっと柔軟に対応していただかないと相談する気すら出ません。学校教育・保育がいつまでも昭和で止まっています。令和の教育を作って欲しいです。
- ・昔より子供がさまざまな体験や学びができる機会が増えていると思います。ですが上の子がスポ少やクラブに入っていると、下の子との時間がとれなかったり、物価上昇により仕事（共働き）を頑張らなければいけないため、子供との時間を十分にとれていないなと思います。結局メディアの使用に頼ってしまうこともあり、ゲームが一番楽しいと思っているのではないかと心配しています。
- ・子供の“声”を聞くことを心がけています。核家族化や、地域のつながりが薄くなってきていることで、悩みなど相談しにくい環境の家族が増えている感じを受ける。子育て中の親が孤立しないように、必要な所に必要な時、支援の手が届く社会になるとよいと思います。困っている人はどこに相談したらよいかわからない状態だと思うので、アンテナを高くして行政の機関から積極的に支援の手をさしのべることでできる仕組みができれば子育てしやすい社会になると思います。
- ・休日、天気が悪くても充実してあそべる施設がほしい。冬場など遊べる所がなくいつも悩んでしまう。
- ・日頃よりありがとうございます。子供が大きくなるにつれ悩みは増えていきますが、各種施設をうまく利用して前向きに取り組んでいきたいです。

- ・鳥海町から進学で本荘市内の高校へ通学する際の不便さ。高校進学のタイミングで鳥海町を離れ本荘市内へ引越す家も少なくない状況。はっきりとした対策は難しいと思いますが、行政として行動して欲しいです。
- ・親だけががんばっても子供にひびかないと意味がない。何を言ってもやっても何もかわらない。もうなようにしかならないと思っている。学校でいい子ならいいかという感じ。正直、仕事・仕事でこういう長いアンケートはつらい。マル福のように学校関係もすべて無料になればいいのに。(給食費も)最近、元教育者が自分の孫がさわいでも、たしなめない場面を見てしまい、教育ってなんだろうと思ってしまった。
- ・イベント等を企画してくれるのはありがたいが、友達同士で参加する時など、送迎がほしいので大変。交通の便が悪いと思う。
- ・少子化による人口の少なさにより、家のまわりで遊ぶ友達が少ないのと、団体でおこなうスポーツがあまりできないので、人が多くいる地域よりも体験が少なくなっているのが残念。人が少ないので、きめ細やかにみてもらえるのは良い点。
- ・PTA 役員のつながりについて会合の機会が少なく顔見知りが少なくなっている。役員等を決めづらい。
- ・インターネットが進み、自分がわからないことや興味がないことも子供が自分でユーチューブなどで知識を得て、すごく進んでいて自分の能力では対応できないくらい世の中のことを子供が知っているときがあり、子育ての大変さを感じる。常に子供についていかなければいけないような子育て。子供がまわりにいない。遊び相手も親がやらなければいけないのが大変です。
- ・下校時一人で歩いている女の子を目にしました。不審者、クマ、サル、イノシシ等、危険はいっぱいです。何かがあってからでは遅いと思います。対策をお願いします。
- ・子どもには色々な経験をさせ、小さいうちから教養をつけさせたいが、都会に比べて地方は不利だと感じる。地方で育っても将来世界で活躍できるような人材を育てることができる仕組みを作ってほしい。
- ・子供の進路について。いろいろと選択肢があるのだと思うのですが、それを知る術がないのが困ります。聞かないと教えてもらえないというのは、その選択肢がある事を知らない人には、選択できない事です。役所系になると土日休みになったりするのでネットやパンフレットなどで子供の進路等に関する情報をもっとほしいです。
- ・所得に応じた支援ではなく、平等に支援してほしい。進学に関しては学費が高額で子供の学びたい気持ちにストップをかけてしまうことになる。

- ・住む地域によって教育格差・体験格差がある。ここで子どもをゆっくり育てるのもよいが、それだけでは将来子どもの就ける職業に限られる。であれば自分の子どもが、その子どもを育てる場所にここは今のままではあまり勧めることができない。子どものころの教育格差・体験格差をなくすことで、自分になりたい職業を見つけ、その仕事に就けるよう努力できるのではと思います。対策をお願いしたいです。
- ・親の負担が年々増えてきていると思う。スポ少活動等をもっと支援してもらいたい。スポ少を親中心に、もっと金銭的な支援、指導者の優先等してもらいたい。年々、スポ少活動をする人数も減っているが、資金の割り当てはスポ少活動に反映されていない。政治と一緒にこの先希望が持てません。
- ・小学校や保育園も一つに統合したら良いと思う。先生方には大変良くしていただいて感謝しています。
- ・平日は仕事が終わってから家事などをしなくてはならないので一緒に宿題を見たり教えたりする時間がない。
- ・家庭での学習について。子どもに教える際、学校と同じ教え方をした方がいいと思っている。だが、親はその内容を知らない。学習はくり返しするのが良いと思っているので、家でするならそこを踏まえて行きたい。そのこの所のツールを良くする方法はないのですか？
- ・親が多忙で子供との時間をなかなか作れていない。
- ・家庭から学校側へのクレーム、諸連絡等に対してフィードバックがほとんどなく信頼関係を築きにくい。
- ・子育てに集中できる余裕のある社会になってほしい。
- ・いろいろな経験をつませたいが、それにかかる時間や費用等課題があり、経験できることが限られている気がする。
- ・スクールバス利用についてもっと対象者範囲を拡大してほしい。特に帰りはガラガラなので、、、昔と違い熱中症や熊、吹雪、私の学校は国道7号線沿いでずっと国道を歩いてくるので安全面でもとても心配です。スクールバスが無理なら有料でもいいので登下校に合わせたバスを出してほしい。特に夏、冬。
- ・就学援助制度の認定基準が厳しいと思います。

- ・日頃より学校の先生方には子どものよりよい成長のために、教育以外の事もお力添えを頂いて感謝しかありません。しつけや家庭教育の内容・質（能力？）が各家庭で差が大きく、すり合わせが難しいと感じる。授業参観の内容など、子どもの励みになるのは十分分かるが、保護者が来る前提の内容だと、どうしても仕事（業務もだが従業員が少ないのに同じ学校に在学していることが多く、一斉に休みを取れない人的環境もある。）が休めない日などは子どもへの申し訳なさが増してしまう。
- ・大型ショッピングモールを作ってほしい。子どものおこづかいで遊べるゲームセンターを作ってほしい。とにかく子どもが遊べる場所が少なすぎる。
- ・近所に一緒にあそべる友達がいないことです。車で移動しないとそういった環境がなく、時間が合わないとその環境にふれることもできません。遊ぶ場所があっても遊具が修理中なので使用できなかったりと、なんだか楽しくない場所が増えてきていると感じています。
- ・核家族化が進んでいることにより、子どもたちが様々な大人とふれ合う時間が減り（機会が減り）心の成長やしつけのあり方が変わってきていると思います。自分の周りにいる人や目上の人への対応（接し方）は親がお手本となると思うので意識していきたいと思っています。
- ・このアンケートが配付されたのは第二子が通うこども園からですが、第一子の小学生の娘は、私たちが子供の頃のように放課後友だちと待ち合わせて遊ぶなどの時間が少なくなったように思える。
- ・夫婦共働きをしないと、家庭を維持させることが難しく、子どもとの時間を削ることで、ようやく食べて生活しています。そんな世の中のせいで、さみしい思いをさせている気がします。社会がいかに貧しいか、それによって子供に影響がどのように及ぶのか、行政がもっと考えてほしいです。頑張っても働かないと生活できないことは子にとって幸せではありません。
- ・何か問題があって学校などに行きそれでもダメだと思い教育委員会に行っても結局同じ仲間であんなあ意識を感じる。学校でも問題行動のある生徒がいて先生方が対応をしてくれているが、なにも先生に問題をおしつけている訳ではなく、皆で解決していける、話し合える場や交流する時間を作ってほしい。
- ・雪や雨が降ってもこどもを遊ばせることができる場所がほしい。買い物やゲームセンター、ゲームコーナーに行きたがるが、体を使って遊べるような屋内のアスレチック施設があると良いと思う。
- ・子育てに関して家庭や学校の負担ばかり増えている気がする。
- ・仕事に追われ子どもとの時間がほとんど取れない為、少しでも早く退勤して子どもとの時間を確保できるようにと日々考えています。雪深い地域ですので他県（ex. 山形県）のように屋内遊び場の施設が充実していればと願っています。

- ・将来自分が就く仕事について学校でもっと具体的に考えたりする時間を取っていただきたいです。高校に入ってすぐ将来について考えるのは遅いですし、大学選びに苦勞しています。よろしくお願いします。
- ・今の時代は学校の先生方が丁寧に子ども達に寄りそって接して下さっていて、とてもありがたく感じています。
- ・少子化のため PTA 等の 1 人の負担が大きい。
- ・自分は母子家庭で高齢の曾祖母との 3 人暮らして、ある年から就学支援を受けることができなくなってしまった。世帯全員の収入で決まるのだが古い家の修繕、自家用車の所持などで支出が多く単に収入だけで見られても、、、。もう少し緩和していただきたい。母子家庭には厳しい世の中です。
- ・金銭的な余裕が出来れば子供との時間、家庭教育の時間を持つことが出来、心身余裕をもって子供に接することが出来るかもしれない。教師の方々の余裕の無さも子供たちでさえ感じ取っている気がする。
- ・以前、公民館で家族でスポーツをしようと土日に出かけたら、平日に予約がないとたとえ空きがあっても使えないことになっていると言われた。空きがあれば使わせてもらえる形にしてほしいと感じました。
- ・ケイタイ、ゲームメインになってしまい実際は会話も必要最低限になっている。そのため家庭学習もしっかりやっているのか不明。自分の部屋に入ることが中学生になり多くなっているなのでこの先が不安でしかない。受験のことを考える→親だけが不安になっているのがわかるが、、本人はまったくなところも日々感じているのが本音です。
- ・将来なりたい職業としての情報を子どもにたくさん提供してもらいたい。
- ・学校での親との交流イベントや地域祭等に生徒を参加させるのはとても良いと思うのでずっと続けてほしいと思う。
- ・教育を受ける場がきちんと確保されており、とても助かっております。その学校によって人数が違い、他校への入学希望に関しても、意見が通る人、通らない人の違いがわからず統一されてもらえると助かります。
- ・家庭学習の量が多すぎる。休日はほとんど半日が宿題で終わってしまう。

- ・子供が病気になった時、熱が上がった時、仕事を休めなくて困りました。親に頼れなかったため、大変でした。子供達が小さい時は、産まない方がよかったかも…と思う時もありました。勉強、インターネット、ゲーム…どこまで注意して、どこまで見守ればいいのか。
- ・メディアを上手に使いこなす情報の共有は大人にも必要な課題。テレビ・ゲーム・インターネット等がより身近になり、子どもたちにとってはあって当たり前の生活になっているので、親、周りの大人も使い方を改める必要があると思います。依存症がなぜ危険なのか何がダメなのか家庭と学校が協力して子どもたちに伝える、調べさせることを日々続けていくことが大切だと思います。
- ・子供が学校から帰宅後の安全に遊べる場所が足りないと思います。公園等があると子どもたちが積極的に外に出て遊ぶ機会が増えると思います。
- ・子どもが学校に入ると、子育てのことで悩んでも相談できる人が家族以外あまりいなくて心配事を抱えると不安になることがあります。就学前は検診等があるため定期的に保健師さん等に相談できて安心感がありました。学校に入ってからそのような場があればありがたいなと思います。
- ・インターネットを見る事に依存気味なのが心配。
- ・宿題が多くて、たまにはない日もあってはいいのではないのでしょうか？ない日は家族と話す時間もとれると思います。また、学童保育の先生方には大変お世話になってます。良い先生方がやめないような働きがいのある、若い先生が増えるような賃金などを考えて欲しいです。それぞれ学童の特色があってもいいと思います。
- ・小学校高学年～中・高校生が自由に参加できるイベントや遊び場が少ない。スポーツが自由にできる場の減少、プールやスキー場など昔は子どもだけでも利用しやすかったと思うが今は少ないと感じる。
- ・我が子を中心にしか考えられない親が増えたと感じる。また「子どもはウソをつく」ことを知らない親も増えたと思う。子どもをあずかる園・学校がものすごく気をつけて言葉を選んで対応しなければならぬ風潮がおかしいと思っている。親のワガママを許し通してしまう教育行政もちょっと違うよな…と思う。
- ・子どもが小さくまだ経験していないが、周囲からの情報を聞くと、PTAの活動等が負担のように感じる。
- ・学校での学習理解がどの程度できているのかわからない。学校と家庭での連絡・相談がないため、子供の学校での様子、勉強の様子がわかりにくい。
- ・子どもが抑圧されることなく、自由にのびのびと育ってほしいと思っています。なので、昔くさい考えは捨てて現代らしい多様性を尊重できるような支援を…と思います。

- ・クラブ活動等親が指導する事が増えてきてるが全員がそれを可能かといわれればそうとも言えず、仕事の都合で参加できない事が多い。それをよしとしない風潮がいただけないと思う。
- ・給食が無償化になったが、ボリュームのある日とない日の差が気になる。子どもが苦手なもの（生たまねぎ等）が給食に出るのは給食嫌いにつながると思う。（学校給食）保育園の給食は行事メニューも豊富で毎日給食を楽しみにしている。
- ・発達過程での悩みについて、相談先、講座などの有無や情報のありかがわかりづらい（行政のHPにすら載ってないことも）都会に比べ体験の機会が少ないので機会を作ってほしい（美術・演劇観賞など）
- ・核家族であり、共働きで子どもが関わる場や人が少ない状況で保育園の存在は親子どちらの面でも大きいものである。行政の子育て支援は充実していると思うが、実際子どもをつくり育てるにあたって企業側の協力（金銭面や制度面）が第一となり、秋田の地方の中小企業はまだまだ足りない環境だと実感・経験しているのでそちらの充実がすすめばいいのに…と思う。
- ・平日一緒に過ごす時間を考えたときに、ゆっくり会話している時間がないと感じ、どう時間を有意義に使うか考えようと思った。
- ・自分の子どもが通う小学校だけなのか不明だが、学校の中でのルールが多すぎると感じる。ルールが多すぎると覚えられないと思うし、自分の判断力や考え方が磨かれないのでは？「命を大切にする」等の上位概念の根拠をきちんと説明した上で、その後の行動は本人たちに考えてもらう方が必要だと思う。
- ・子供の遊び場が少ない。公園の遊具も少なく雨の日や夏の暑い日など屋内での活動する場が限られる。閉校になっている学校などを活用できればありがたいと思う。
- ・子供どうしの問題をすぐ親にではなく学校で解決してから報告してほしい。親に丸なげしている感じがする。
- ・学校の先生について、ほめることが少ない。他の学年や小学校と比べる発言がある。注意の仕方が先生の感情に左右されており、方針がすぐ変わるため子供がどうしてよいか分からなくなる。
- ・何でもかんでも簡素化されてきていることで子供達の学びの場が減ってきている。昔は幸せだったな、と感じる。

- ・家庭教育として親とのかかわる時間を行事やイベント、宿題などで設けてもらっていますが、かかわる時間を増やせる反面、一人で何かをやり遂げる機会を奪ってしまっていないでしょうか？どこにいても大人の目があるのは安心安全ですが、「自分でやらなくても、きっと誰かが何とかしてくれる」と思っているのは、”まずは自分でやってみよう！”という気持ちが育ちにくいのではないかと、気になっています。
- ・学校から帰ってきて、遊べる公園がない。誰かの家で集まるとその家に負担がかかるし、ゲームやネットを見るなど、体を動かす事がない。歩いて10分～20分位の所に集まれる公民館や公園がほしい。担任の先生が怖くて、委縮して意見ができなくなっているのが、残念に思う。
- ・共働きで子どもと過ごす時間がゆっくりとれない。物価も上がっており、経済的な不安も大きくなっています。少子化が進んでいますが、もう一人望んでいても産める環境ではありません。安心して子育てができる環境や経済的な対策に力を入れてほしいです。子どもと過ごす時間がとれる職場環境など働きながら子育てできるようにしてほしいです。
- ・子供の宿題を見ているが丸付けまでやって下さいとの事だが、教師の仕事量の軽減かわからないが、宿題を子供がやって学校授業の合間を見て答え合わせ、間違いの直しをやらなければ身に付かないと思う。基本を覚えないと意見がない家庭では教え方は様々なので間違った考え方をしても根本的理解にはならない。
- ・学校での授業時間がないので家庭で教えて下さいとの担任からの発言も理解できない。子供に勉強を教えるプロなんてはないかと私は思う。時間がないと聞くが時間には制限があり、段取りをやっていけばそんな発言はでてこないんでないでしょうか。
- ・昔は学校から帰ると外へ友人と遊びに毎日出かけていた。今は学校から帰り外へ遊びに行く子供はあまりいないように感じています。時代の流れなのかもしれませんが体力低下しているのではないかと少し心配になります。
- ・郊外の在住ですがスポ少等子供がやりたいスポーツが主に市の中心部なので、それだけで送迎が大変。それを理由に通わせてあげられないのが本当に悲しい。それから何度でも言いますが発達障害を抱えている我が家にとって療育やそれを診て下さるセンターの存在は必須です。夏はともかく冬場での療育センター（秋田市）への通院は本当に本当に大変です。各地区の支部という形で作っては頂けないものでしょうか、、、？切に願います。検討して頂きたいです。
- ・悪い事をしたのは分かるが文句を言われた親から学校に連絡があったからと言って子供達の言い分も聞かずに一歩的に頭ごなしに教頭先生に怒られたら子供達は萎縮して何も話せなくなったり、泣けば泣いているだけじゃ分からないと又怒られたら何も言えないのは当たり前！！それが教育だと言うのなら、ちゃんと親も交えて話し合いがあっても良いのではないのでしょうか？

- ・おきてしまった事に対して注意するのはあたり前だと思いますが、どうしてそうなってしまったのか背景の話も聞いてほしいと思います。実はいやな思いをしていて反撃したら、いじめられたと言われ、声をあげたもん勝ちはどうかと思う。早く解決させる為に急いでいるように感じる。子供達の努力に対して親が頑張りましたって冗談でも言ってはいけないと思います。自分より年上の人に対する態度や言葉使いについても気になります。以前は学校側が年上は敬うんだよと指導していましたが、現在はしていないのか？働き方改革でそこまで指導しないようになったのか。
- ・悪い事をしたのは分かるが、それまでの経緯を聞かず一方的におこるのは違うと思う。両方の話を聞く環境を作ってほしい。悪いことをした時は学校から電話が来るが、他の家には連絡がいかないのか。親、子を選んで対応しているのか。
- ・子供が大きくなるにつれ、一緒に過ごす時間がへって行くので、学校行事や地域行事で一緒に時間が増えれば良いなと思ってます。
- ・学校はいじめをもみ消す！！相談しても意味がない。
- ・給食費が無料になれば良いかなと思う。
- ・高校生のテスト期間中の送迎がむずかしすぎる。交通手段が悪すぎる。お金の面でもっと支援してほしい。
- ・高校に入って極端に先生とのつながりが少なくなった。子供の相談などしたいが（進路の事、学校生活の事など）中々できない。高校在学中までは市の家庭相談員に話せるが、学校側から支援の情報が欲しい。
- ・働く傍ら子供の面倒を見ることは負担が大きく困難を極めています。また、進学という私たち夫婦を不安にさせる道を歩もうとする姿勢には、大変困惑しております。早期に就職をし、私達両親を安心させて欲しいです。親に対する敬意の心も育てていただきたいと思います。
- ・物心が付いてくると自分の時間の使い方がわかってきて家族との時間が少なくなるのは仕方ない事だとわかっているが淋しくなる。（各部屋を顔だけ見に行く程度になる）

付 録

令和6年度 「家庭教育に関する調査」

グラフでみる 秋田の家庭教育

令和元年度実施の前回調査と比較しながら

このリーフレットは、秋田県教育委員会が令和6年度に実施した「家庭教育に関する調査」の集計結果について、令和元年度に実施した前回の調査と比較しながら紹介するものです。

近年の家庭環境の多様化に伴い、子育てについての不安や孤立を感じる家庭が増加するなど家庭教育を行う上での課題が指摘されている現状を踏まえ、幼児期から思春期までの家庭教育の状況や、保護者の意識及び実態等について紹介しています。

秋田県教育委員会

1 調査の目的

近年の家庭環境の多様化に伴い、子育てについての不安や孤立を感じる家庭が増加するなど家庭教育を行う上での課題が指摘されている現状を踏まえ、幼児期から思春期までの家庭教育の状況や保護者の意識及び実態を把握する。

2 調査時期

令和6年10月18日（金）から11月8日（金）まで

3 調査の対象および内容

県内の幼稚園・保育所及び認定こども園、小学校、中学校、高等学校の4歳、7歳、10歳、13歳、16歳にあたる幼児・児童・生徒の保護者に対して、家庭教育に関する意識・実態を調査した。

(1) 調査対象者内訳

年齢	調査数	回答者数
4歳	177人	145人
7歳	174人	146人
10歳	185人	145人
13歳	169人	149人
16歳	193人	131人
計	898人	716人

※R元回答者数 845人

(3) 調査回答者の内訳



(4) 調査回答者の年齢



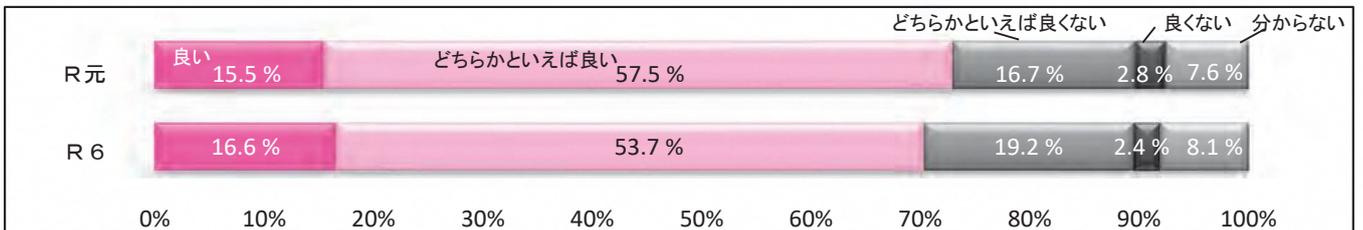
(2) 回答率 **79.7%**

4 主な調査結果とコメント

※ pt = ポイント

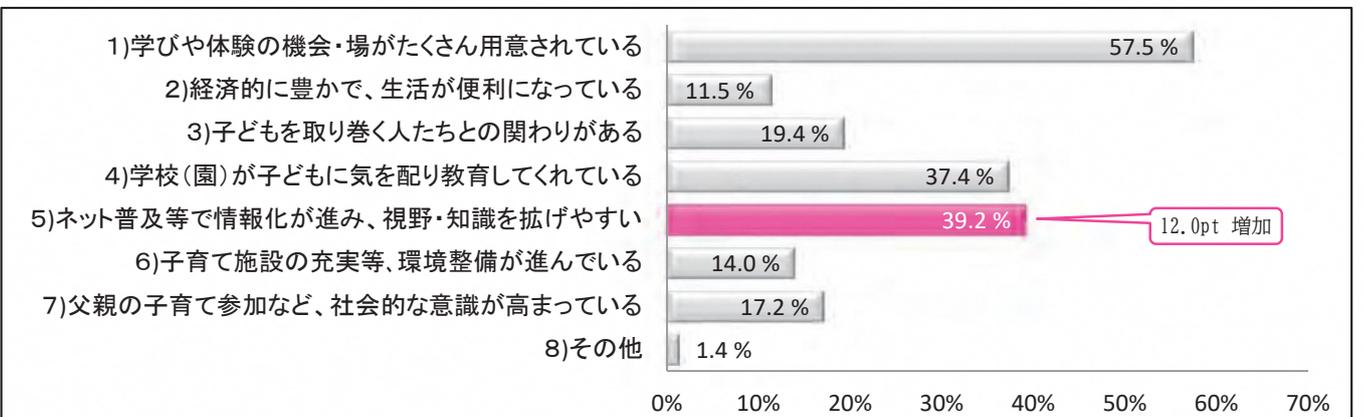
※ 問1-2・問1-3・問3・問4-2・問5-2・問5-3・問6-2の棒グラフの色分けは、前回調査(R元)と比較し増減幅が10.0ptを超えるものについて、増加したものを赤、減少したものを濃い灰色で表した。それ以外は薄い灰色で表した。

問1-1 あなたは現在の子どもを取り巻く環境について、総合的に見てどのように感じますか。



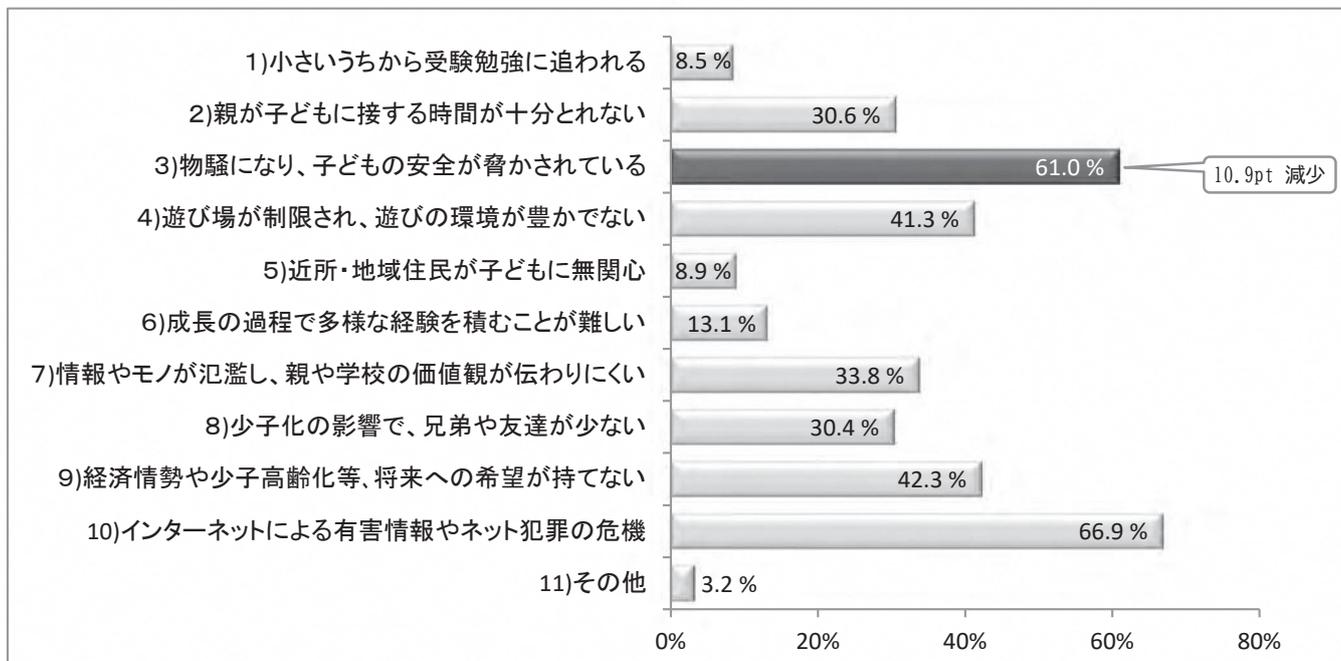
「良い」「どちらかといえば良い」と答えた割合 【R元】73.0% → 【R6】70.3%
 ★「子どもを取り巻く環境」を肯定的に捉える保護者が、依然として70%を超えている。

問1-2 子どもを取り巻く環境が「良い」と感じる点（複数回答）



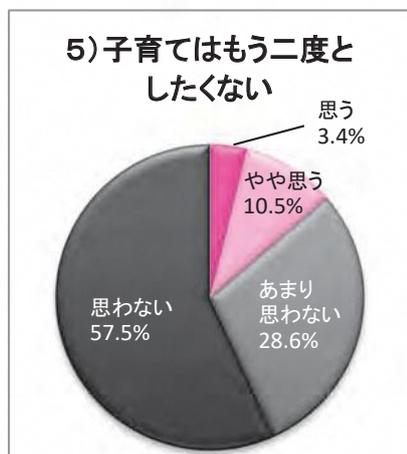
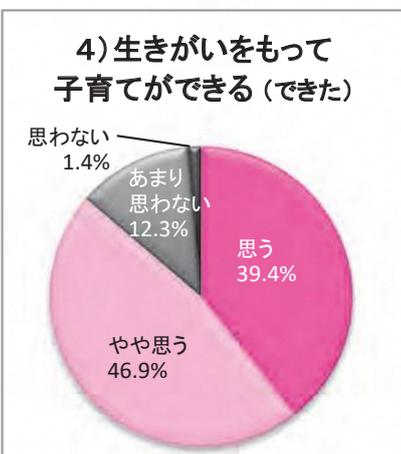
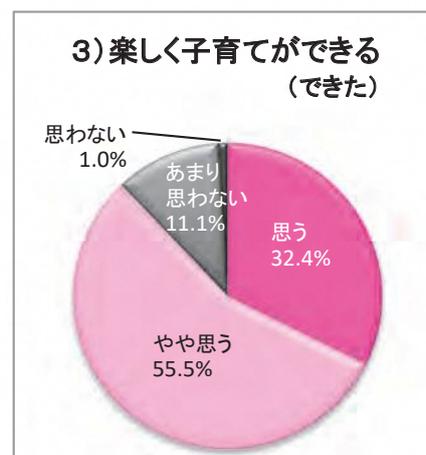
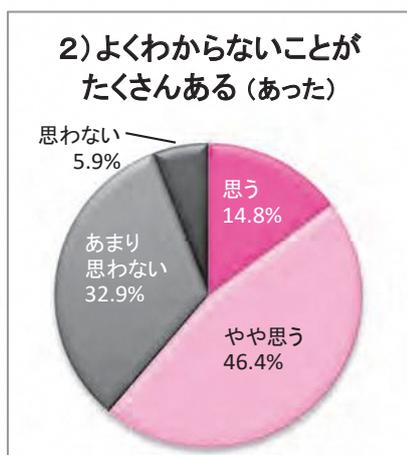
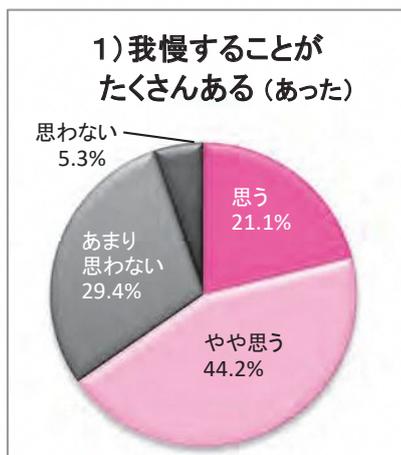
「5) ネット普及等で情報化が進み、視野・知識を上げやすい」【R元】27.2% → 【R6】39.2%
 ★「ネット普及等」を肯定的に捉える保護者が増加している。

問1-3 子どもを取り巻く環境が「良くない」と感じる点（複数回答）



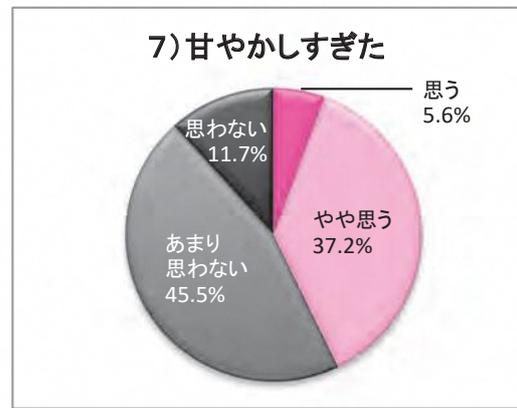
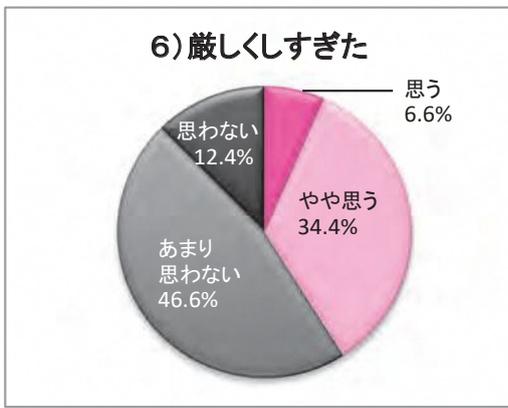
「3)物騒になり、子どもの安全が脅かされている」【R元】71.9% → 【R6】61.0%
 ★「子どもの安全」に不安を感じる保護者が減少してはいるものの、依然として60%を超えている。

問2 あなたご自身の子育てについて、次のように思うことはありますか（ありましたか）。



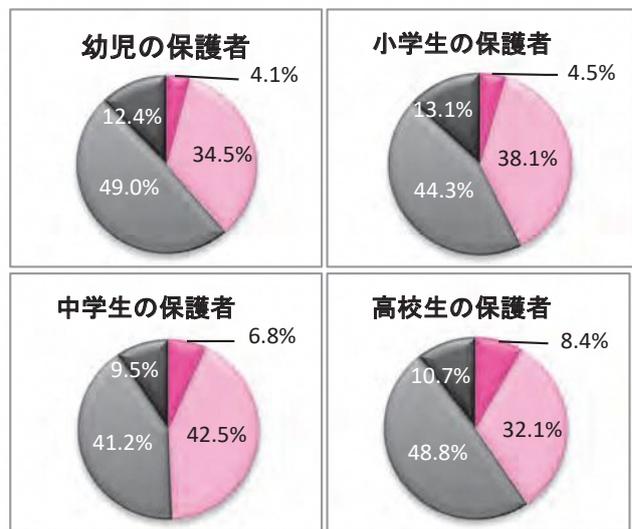
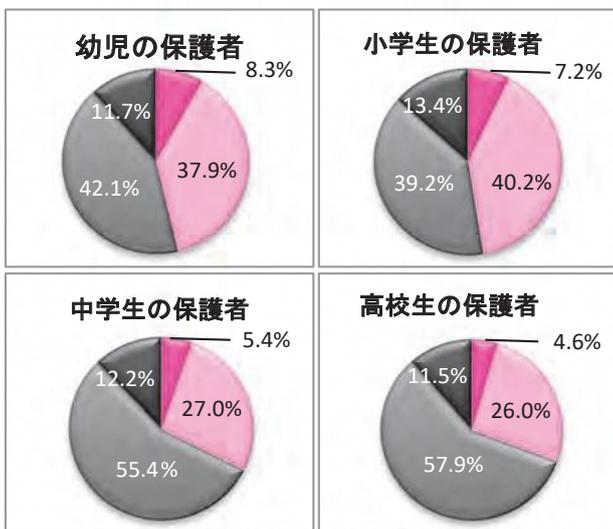
★「思う・やや思う」の割合に、大きな変化はなかった。

1)我慢することがある	【R元】66.0% → 【R6】65.3%
2)よくわからないことがたくさんある	【R元】59.0% → 【R6】61.2%
3)楽しく子育てができる	【R元】87.0% → 【R6】87.9%
4)生きがいをもって子育てができる	【R元】85.0% → 【R6】86.3%
5)子育てはもう二度としたくない	【R元】14.0% → 【R6】13.9%



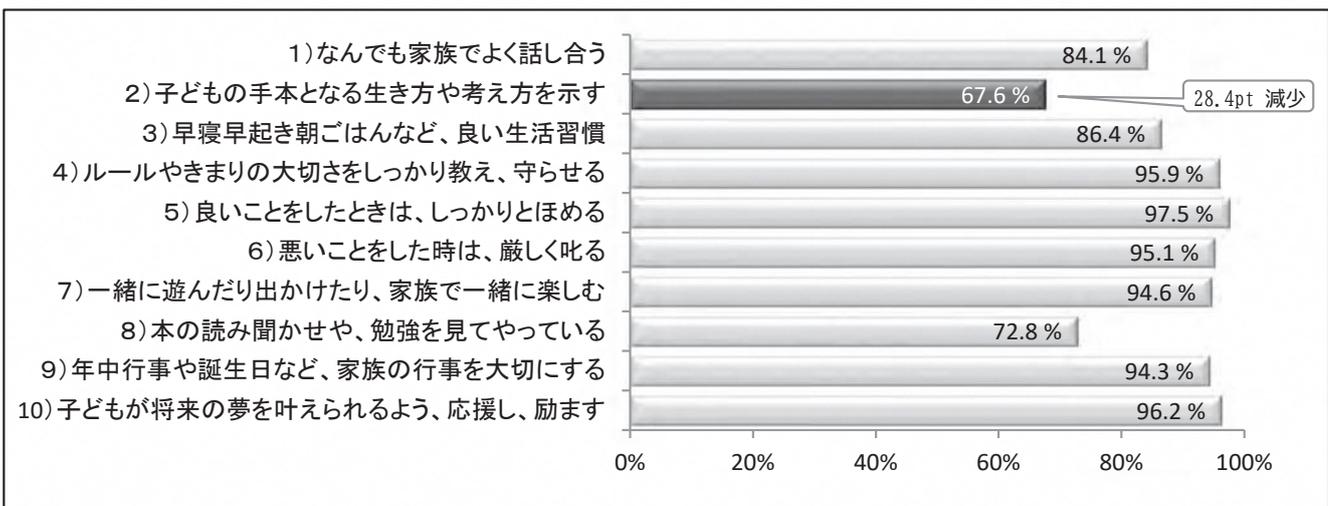
「6) 厳しくしすぎた」について… 「思う」「やや思う」の変化
 【R元】38.0% → 【R6】41.0%
 ★「厳しくしすぎた」と感じている保護者の割合は、小学生で
 前回調査から7.4pt増加して47.4%となった。

「7) 甘やかしすぎた」について… 「思う」「やや思う」の変化
 【R元】38.0% → 【R6】42.8%
 ★「甘やかしすぎた」と感じている保護者の割合は、中学生で
 前回調査から20.3pt増加して49.3%となった。



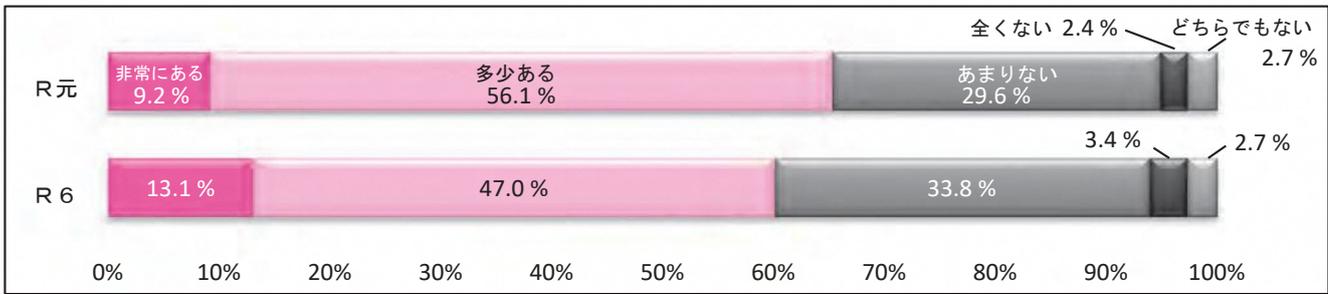
問3 あなたご自身の子育てについて、力を入れている（入れてきた）と思うことがありますか。

★「思う」「やや思う」と答えた保護者の割合



★前回調査と同様、どの項目も概ね高い割合で、自らがやっている（きた）子育てを肯定的に捉えている。
 ★多くの項目においてほぼ変化がなかった中で、「2) 子どもの手本となる生き方や考え方を示す」については、
 96.0%から28.4ptの減少が見られた。

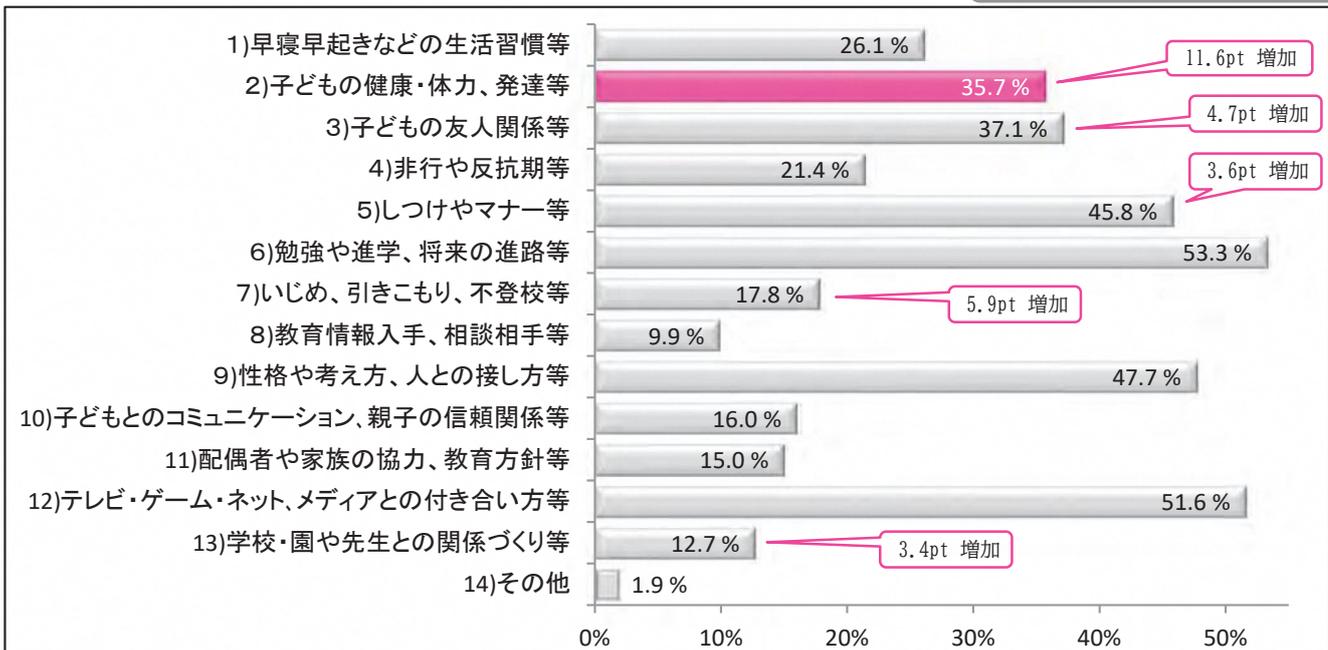
問4-1 あなたは家庭での教育（しつけ等）について、悩みや不安がありますか。



「非常にある」「多少ある」と回答した保護者【R元】65.3% → 【R6】60.1%
 ★減少してはいるものの依然として60%を超える多くの保護者が悩みや不安を抱えていることが分かる。

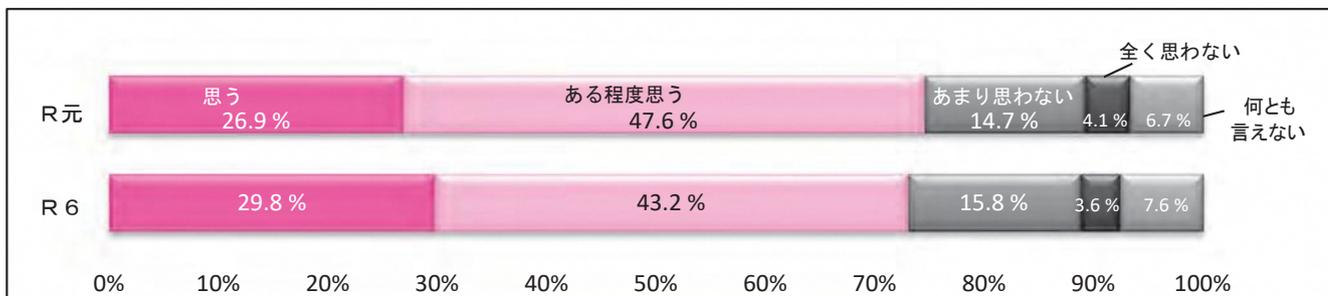
問4-2 どのような悩みや不安がありますか(複数回答)

問4-1で「非常にある」「多少ある」と答えた保護者(全体の60.1%)による回答



★ 前回調査ではほとんどの項目で変化がなかったが、今回調査では 2)3)5)7)13)の5項目において増加が見られた。悩みや不安の内容が多様化する傾向が見られる。
 ★ 「12) テレビ・ゲーム・ネット、メディアとの付き合い方等」に悩みや不安がある保護者は、前回調査において31.0ptの大幅な増加がみられ51.1%となっていたが、今回調査でもその割合は依然高いままである。

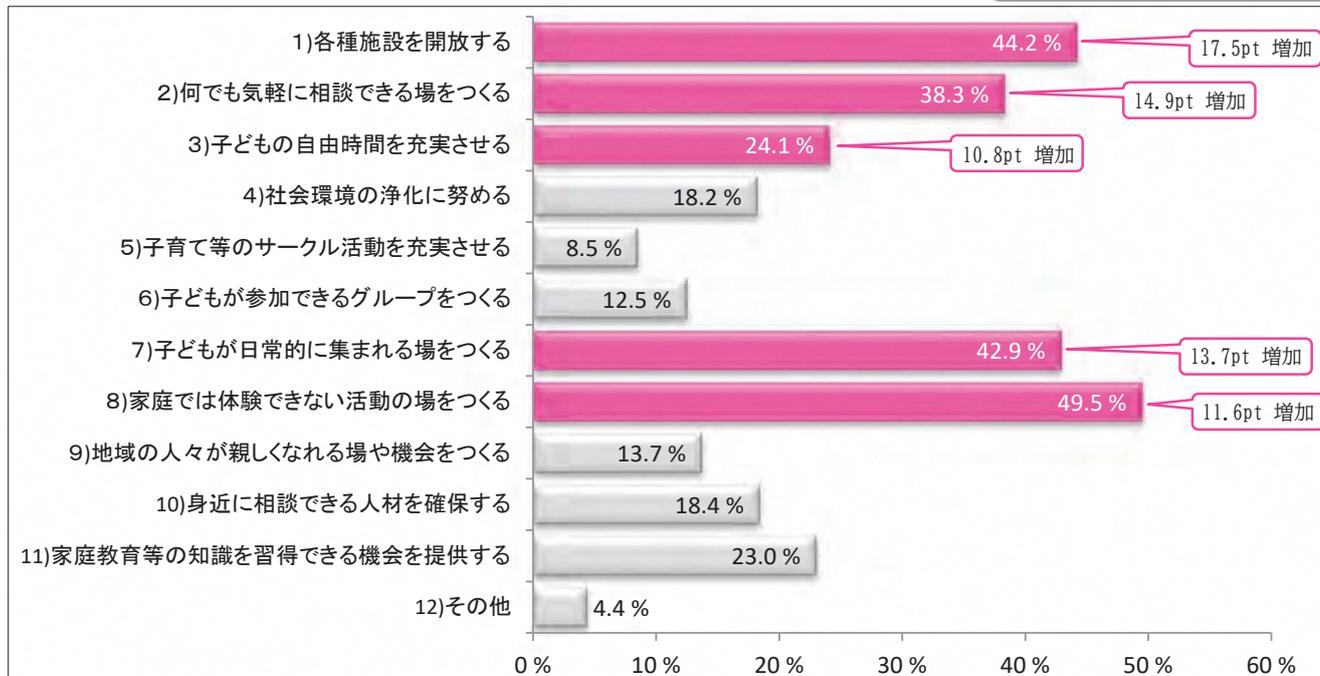
問5-1 家庭教育について行政の支援は必要だと思いますか。



★ 「思う」「ある程度思う」と答えた保護者の割合はほぼ変わらないが、「思う」と答えた保護者の割合が増加しており、行政の支援を強く望む傾向が依然続いている。特に、高校生の保護者においてその傾向は顕著に見られる。
 ★ 「思う」「ある程度思う」の回答は、いずれの校種でも70.0%以上である。
 (幼児77.0% 小学生72.7% 中学生72.7% 高校生70.0%)

問5-2 家庭教育にどのような支援が必要だと思いますか。(複数回答)

問5-1で「思う」「ある程度思う」と答えた保護者(全体の73.0%)による回答



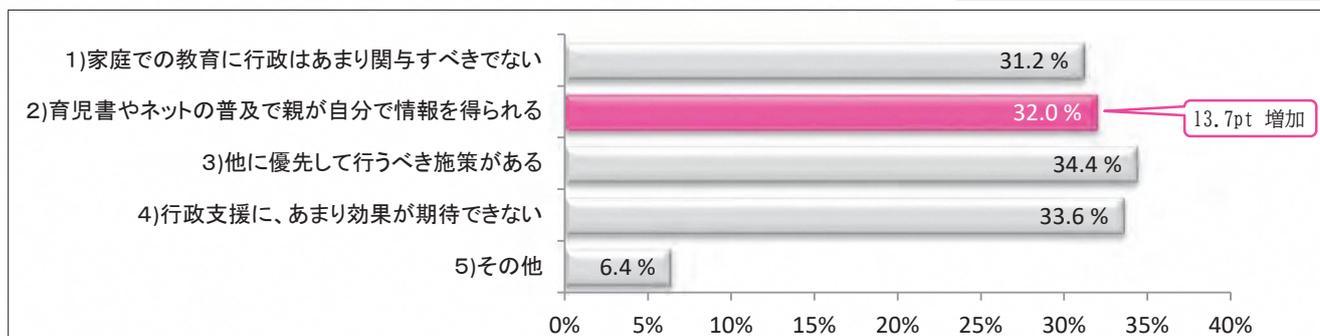
家庭教育に必要な支援について、前回調査では全体的に大きな変化はなく最大でも4.0ptの変動であったが、今回の調査では最大で17.5ptの増加があるなど大きな変動が目立ち、家庭教育支援への期待の高さがうかがえる。

★校種別で変化が目立った項目は次のとおり。

幼児「7)子どもが日常的に集まれる場をつくる」	23.2pt増加	【R元】31.3%	→	【R6】54.5%
小学生「1)各種施設を開放する」	18.9pt増加	【R元】25.9%	→	【R6】44.8%
中学生「2)何でも気軽に相談できる場をつくる」	25.1pt増加	【R元】18.7%	→	【R6】43.8%
高校生「2)何でも気軽に相談できる場をつくる」	22.7pt増加	【R元】21.3%	→	【R6】44.0%

問5-3 家庭教育に支援が必要ないと思う理由(複数回答)

問5-1で「あまり思わない」「全く思わない」と答えた保護者(全体の19.4%)による回答



「家庭教育について支援が必要ないと思う理由」について

★前回調査と比較し変化が目立った項目は次のとおり。

「2)育児書やネットの普及で親が自分で情報を得られる」 【R元】19.9% → **【R6】32.0%**

★「1)家庭での教育に行政はあまり関与すべきでない」は、校種によって違いが見られた。

幼児	5.0pt 増加	【R元】35.0%	→	【R6】40.0%
小学生	2.4pt 減少	【R元】31.2%	→	【R6】28.8%
中学生	5.0pt 増加	【R元】21.9%	→	【R6】26.9%
高校生	2.7pt 減少	【R元】36.0%	→	【R6】33.3%

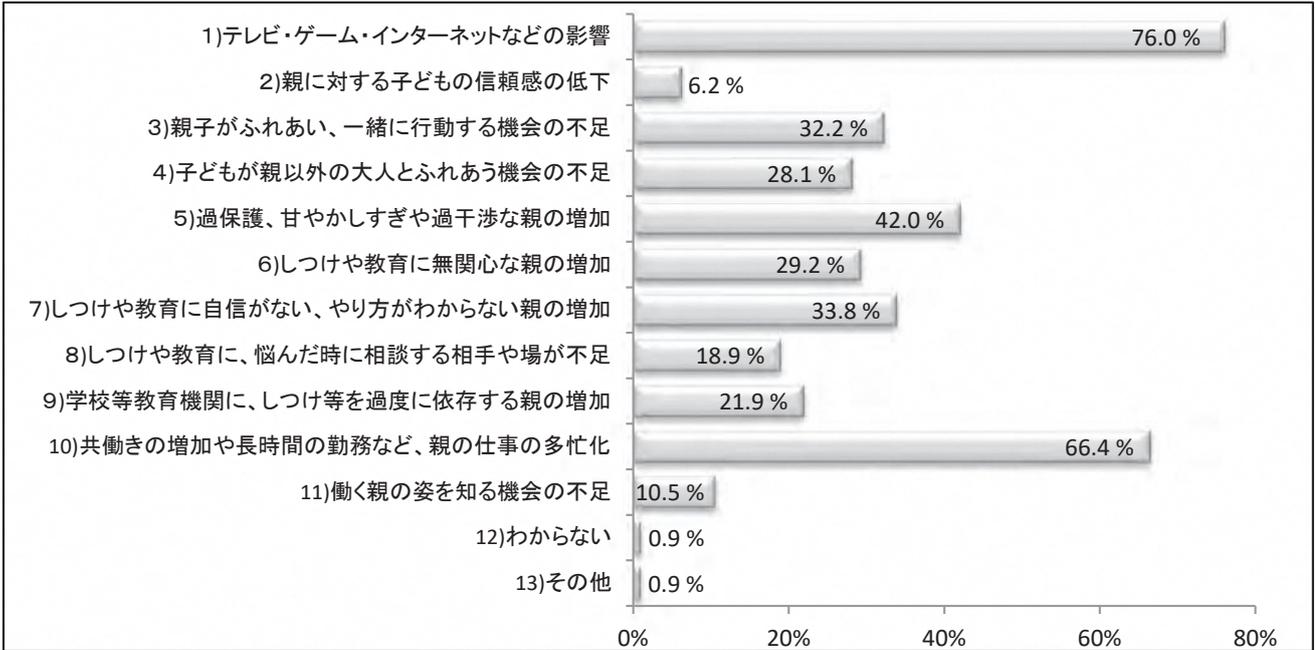
問6-1 「家庭の教育力が低下しているのではないか」という意見を、あなたはどのように思いますか。



★「そう思う」・「ある程度そう思う」と答えた保護者が前回調査から1.8pt増加し、依然として60%を超えている。

問6-2 家庭の教育力低下の理由(複数回答)

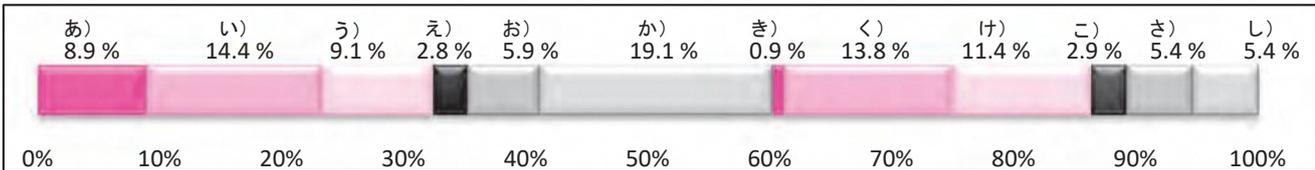
問6-1で「思う」「ある程度思う」と答えた保護者(全体の62.8%)による回答



★ 前回調査と同様「1)インターネットなどの影響」「10)共働き増加・仕事の多忙化」が依然高い割合となっている。
 ★ 「1)インターネットなどの影響」と「10)共働き増加・仕事の多忙化」が30.0ptを超えるなど大きな変化が見られた前回調査に比べて、今回調査では大きな変化は見られず、最も大きな変化でも「1)インターネットなどの影響」の7.7pt増加であった。

問7 あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから(誰から)得ていますか。

- 【情報入手先】
- | | | |
|---------------|----------------|-------------------|
| あ) 夫や妻 | か) インターネット | さ) パンフレットなどの公的発行物 |
| い) 友人、知人 | き) 各種講座、研修会、講演 | し) 情報を得ていない |
| う) 祖父母、親族 | く) 学校(園)、PTA | |
| え) 育児雑誌、書籍 | け) 市町村の広報紙、回覧板 | |
| お) 新聞、テレビ、ラジオ | こ) 役場の窓口 | |

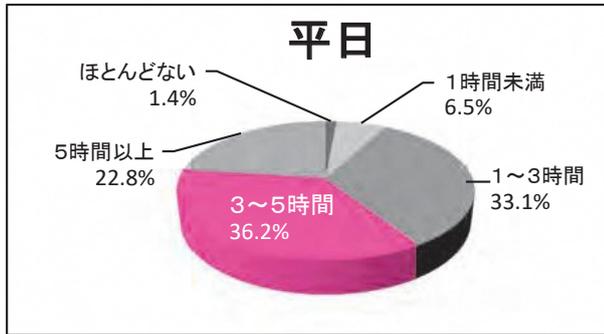


★項目ごとの主な情報入手先 ()内は最上位項目

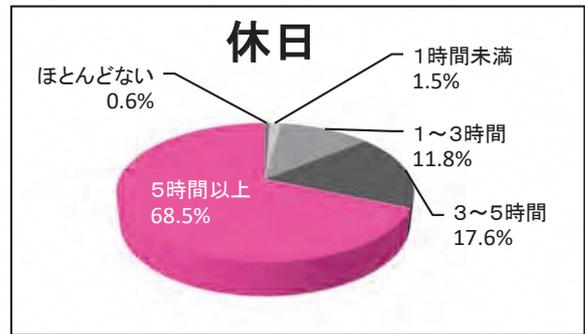
1) 生活習慣 (祖父母・親族 46.6%)	6) 講座等学習機会 (広報紙・回覧板 36.5%)
2) 挨拶・しつけ・マナー(祖父母・親族 57.0%)	7) 勉強・進学 (学校(園) 49.7%)
3) 遊び場・子育て施設等(インターネット 57.7%)	8) 健康・体力・医療 (インターネット 56.6%)
4) 各種行政サービス (広報紙・回覧板 48.9%)	9) コミュニケーション(友人・知人 41.6%)
5) 相談窓口・サークル (広報紙・回覧板 44.3%)	10) 親子参加イベント (インターネット 49.4%)

★情報入手先として「インターネット」以外の全ての入手先において減少傾向が見られた。特に「新聞・テレビ・ラジオ」「各種講座・研修会・講演会」「学校(園)・教職員・PTA」が、全ての項目において減少している。

問8 子どもと一緒に過ごす時間はどれくらいですか。

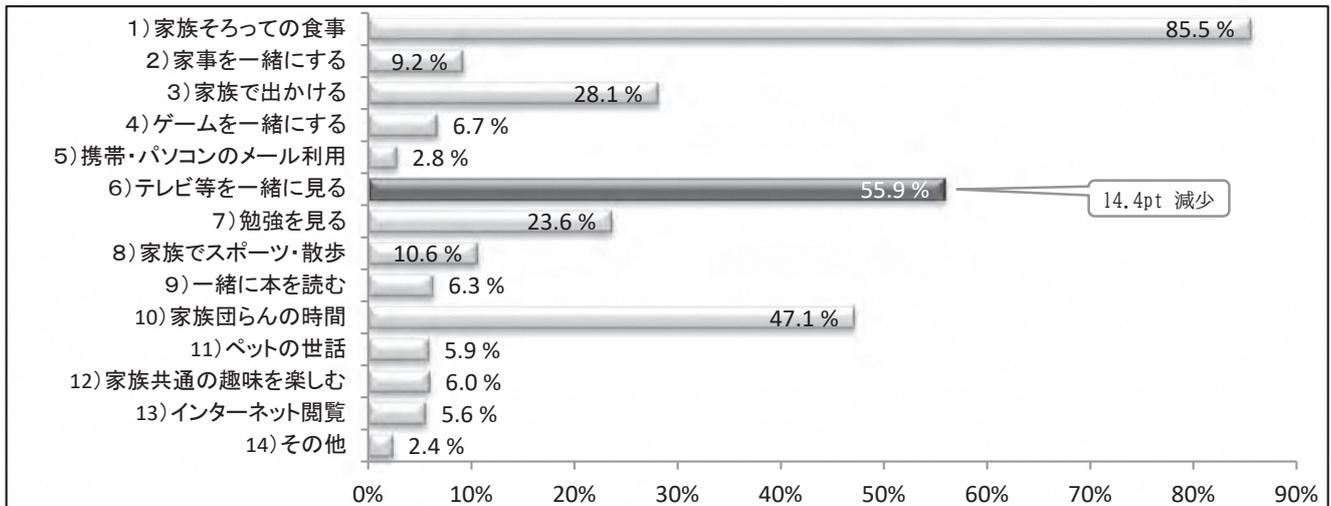


★「1～3時間」が減少し、「3～5時間」が増加していることから、一緒に過ごす時間が長くなっている。



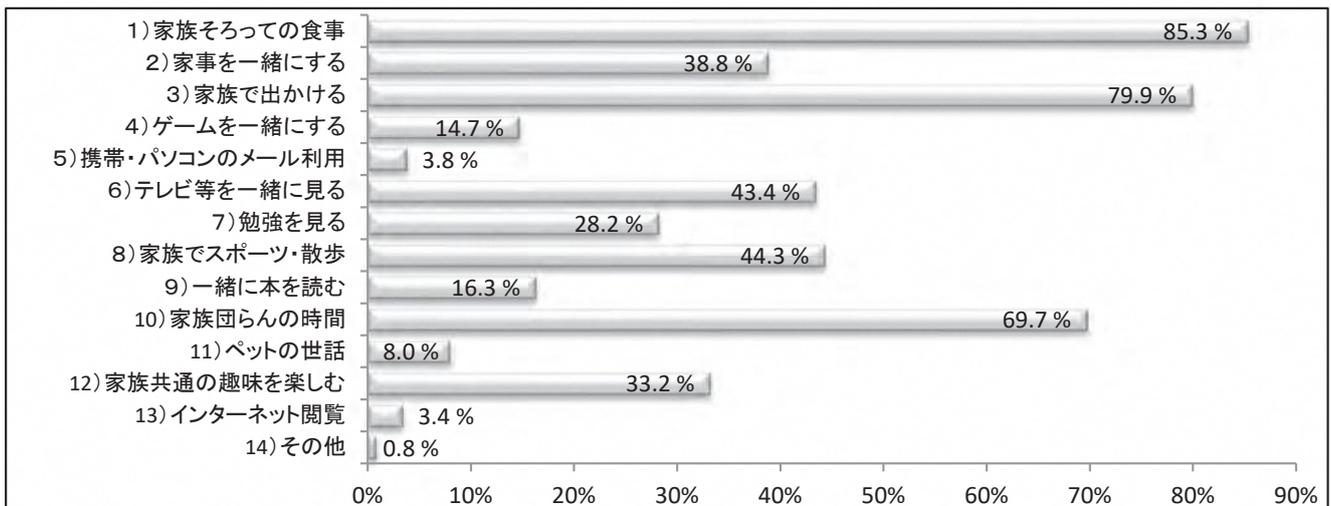
★「5時間以上」の割合が減少していることから、一緒に過ごす時間が短くなっている。

問9 平日、子どもと一緒に過ごしている内容は主にどのようなことですか。（3つまで）



★「6）テレビ等を一緒に見る」が14.4pt減少した他は、前回調査とほぼ変わらなかった。

問10 子どもとのコミュニケーションのため、一緒に過ごしたい内容はどのようなことですか。（複数回答）



★最も大きな変化でも「6）テレビ等を一緒に見る」の9.3pt減少で、すべての項目が前回調査とほぼ変わらなかった。